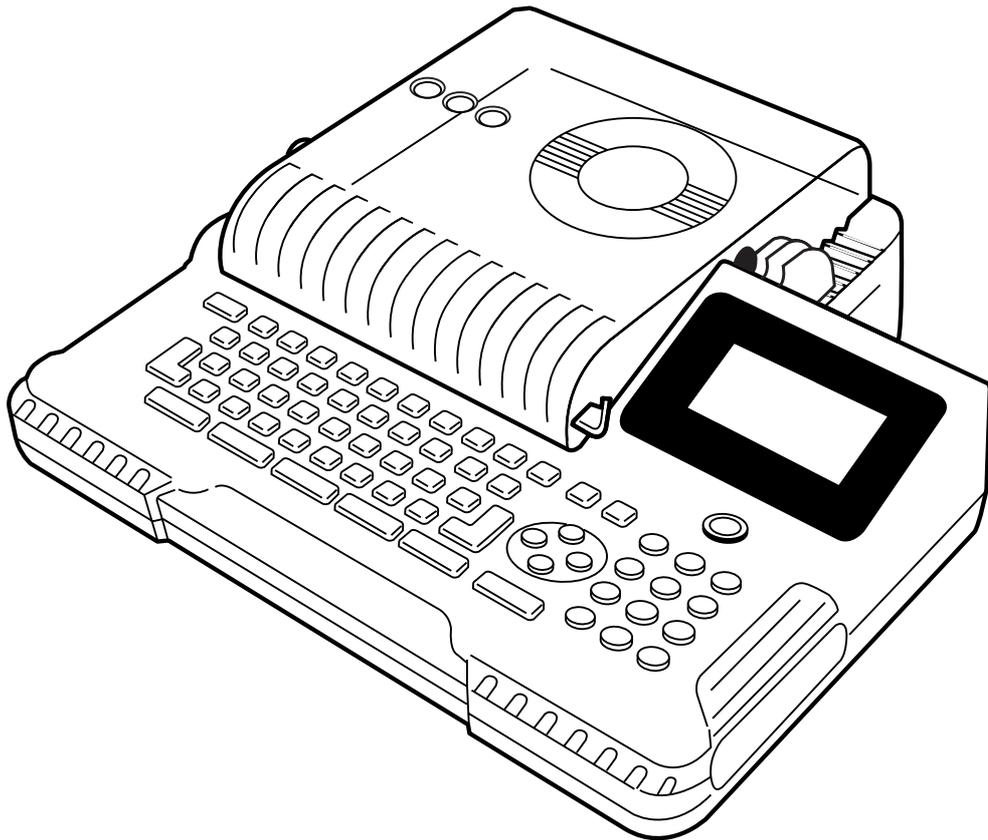


**マックス ライト****LM-380T/PC****LM-380T****LM-330T****取扱説明書**

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

# 第 1 章

## はじめに

---

1-1	はじめに .....	2
1-2	本書の見方 .....	3
1-3	目次 .....	4
1-4	使用上の注意事項 .....	7

# 第1章 はじめに

---

## 1-1 はじめに

この度は、チューブマーカ― “レタツイン” LM-330T/380Tをご購入いただきありがとうございます。レタツインは現場携帯型チューブマーカ―です。電気設備などのケーブルマーキングに最適なチューブへのマーキングと、端子記銘板にあったテープへの印刷を、現場で簡単に行なえるよう設計されています。本書に従ってお取り扱いいただき、未永くご愛用いただけますようお願いいたします。

## 1-2 本書の見方

### 目的別タイトル

目的を示すタイトルです。

### 項目タイトル

項目を示すタイトルです。

### イラスト

手順や操作をイラストで説明しています。

### 目的別タイトル

目的を示すタイトルです。

### 操作キー

操作するキーを現しています。

### ディスプレイ

手順によって表示されるディスプレイを現しています。

### 取扱い事項

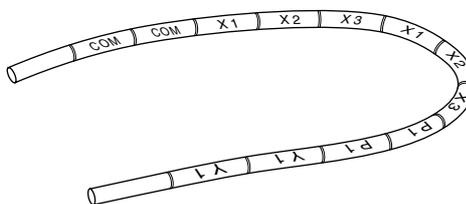
正しくお使いいただくための補足説明をしています。

第4章 基本操作

## 第4章 基本操作

### 4-1 チューブに印刷する

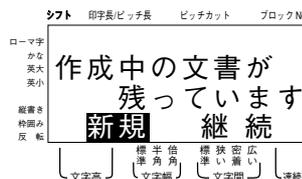
次のようにマークチューブを作ってみましょう。



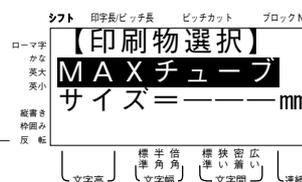
第4章

チューブに印刷する

- ①本機にインクリボンカセットとチューブをセットします。
- ②電源をONにします。
- ③作成中の文書がある場合は、**Ⓚ**(または **Ⓛ**) を押して「新規」を選択し、**確定** を押します。



- ④印刷物を選択します。ここでは「MAXチューブ」を選択し、**Ⓞ** を押します。



#### 参照

- ☆「インクリボンカセットのセット」?ページ、「チューブのセット」?ページ
- ☆「入力モード」?ページ
- ☆「連続印刷」?ページ

#### メモ

☆上段は印刷物の種類を表示しています。**Ⓚ** または **Ⓛ** を押すと、次のように種類の表示が切り替わります。  
MAXチューブ⇄一般チューブ⇄収縮チューブ⇄テープ⇄MAXチューブ

#### お願い

機械が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

#### メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

#### 参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

## 1-3 目次

1	はじめに	1
1-1	はじめに	2
1-2	本書の見かた	3
1-3	目次	4
1-4	使用上の注意事項	7
2	お使いになる前に	13
2-1	主な特徴～この機械でできること	14
2-2	同梱品の確認	16
2-3	各部の名称	17
2-4	キーの名称と役割	18
2-5	画面の見かた	21
2-6	用語の説明	23
3	サプライ品のセットのしかた	25
3-1	インクリボンをセットする	26
3-2	チューブのセットのしかた	28
3-2-1	チューブをセットする	28
3-2-2	チューブのはずしかた	30
3-3	テープカセットのセットのしかた	31
3-3-1	テープをセットする	31
3-3-2	テープのはずしかた	32
3-4	ハーフカッタ交換のしかた	33
3-5	メモリカードのセットのしかた	34
4	基本操作	35
4-1	チューブに印刷する	36
4-2	端子記銘板用にテープ印刷する	42
4-3	デバイスラベル用にテープ印刷する	46
4-4	社名ラベルをテープに印刷する	53
5	文字や記号を入力する	59
5-1	英数字入力のみ	60
5-2	ローマ字入力のみ	62
5-3	かな入力のみ(かなめくり方式)	63
5-4	漢字変換のみ(熟語変換)	65
5-5	単漢字変換のみ	67
5-6	カタカナ変換のみ	69
5-7	JISコード入力のみ	71

5-8	記号入力のしかた	73
6	入力した文字を消去する、設定を初期化する	75
6-1	削除キーの使いかた	76
6-2	BSキーの使いかた	76
6-3	全文削除キーの使いかた	77
6-4	設定初期化キーの使いかた	78
6-5	取消キーの使いかた	79
6-6	入力した文書の複写・貼付のしかた	79
7	機能を使いこなす	81
7-1	文字高さを変える	82
7-1	文字幅を変える	83
7-1	文字間隔や行間隔を変える	84
7-1	文字を枠で囲む	85
7-1	連続印刷枚数を設定する	86
7-1	連番を設定する	87
7-1	ピッチ印刷の設定を変える	88
7-7-1	ピッチ長を変える	88
7-7-2	ピッチカットの設定を変える	89
7-7-3	印刷方向を縦に変える	90
7-8	反転印刷	91
7-9	入力済みデータの一括書式変更	92
7-10	オプションキーで設定できること	93
7-10-1	印字濃度を調整する	93
7-10-2	低温時の印刷モード	94
7-10-3	表示濃度を調整する	95
7-10-4	「6, 9」の印刷文字を変える	96
7-10-5	上下印字位置	97
7-10-6	ハーフカット位置を調整する	98
7-10-7	オートオフ機能を停止する	99
7-10-8	ピッチ長の初期値を設定する	100
7-10-9	連続印刷枚数の初期値を設定する	101
7-10-10	文字配置を変える	102
7-10-11	連番連続の印刷順序を設定する	103
7-10-12	先頭空送り	104
7-10-13	英数書体を選択する	105
7-10-14	チューブウォーマーを使用する設定を行なう(別売品: LM-TW320を使用するとき)	106
7-11	印刷する	107
7-11-1	イメージ表示	107

7-11-2	印刷範囲を選択する	108
7-11-3	印刷物全体の長さを補正し、印刷する	109
7-12	決めた長さで印字する（ピッチ印刷ではない場合）	110
7-13	メモリに保存する/呼び出す	112
7-13-1	内部メモリに保存する	112
7-13-2	内部メモリを呼び出す	113
7-13-3	選択した文書メモリを削除する	115
7-13-4	全ての文書メモリを削除する	116
7-13-5	外部メモリに保存する	116
7-13-6	外部メモリから文書を読み込む	118
7-14	よく使う語句を保存する/呼び出す	120
7-14-1	語句を登録する	120
7-14-2	登録した語句を呼び出す	122
7-14-3	登録した語句を削除する	123
7-14-4	登録してある語句を初期化する	124
8	パソコンデータを活用する	125
8-1	パソコンのデータを読み込む	127
8-2	本体のデータをパソコン上で管理する	130
9	お手入れのしかた	133
10-1	プラテンローラをクリーニングする	134
10-2	プリンタヘッドをクリーニングする	136
10	トラブルシューティング	137
11-1	エラーメッセージ一覧	138
11-2	こんなときは	142
11	索引（あいうえお順にキーワード検索）	145
■	付録	149
付-1	サプライ品一覧	150
付-2	オプション品一覧	150
付-3	製品仕様	151
付-4	ローマ字入力規則表	152
付-5	JISコード一覧表	153
付-6	記号類一覧表	180

## 1-4 使用上の注意事項

### ご使用上の注意

#### ■表示について

この取扱説明書および製品は、製品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

-  **危険** : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定され、絶対行ってはいけないことが書いてあります。
-  **警告** : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対行ってはいけないことが書いてあります。
-  **注意** : 取扱を誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行つてはいけないことや、物的損害のみの発生が想定され、絶対に行つてはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行つてはいけないことが書いてあります。

 **お願い** : 機械が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行つてはいけないことが書いてあります。

 **メモ** : 操作上のポイントおよび知っているとお利便なことが書いてあります。

 **参照** : 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

#### ■絵表示について

-  : 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
-  : 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。
-  : 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

## ⚠ 警告

	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。</li> <li>電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。</li> <li>電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。</li> <li>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。</li> <li>水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐ抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。</li> </ul>

## ⚠ 注意

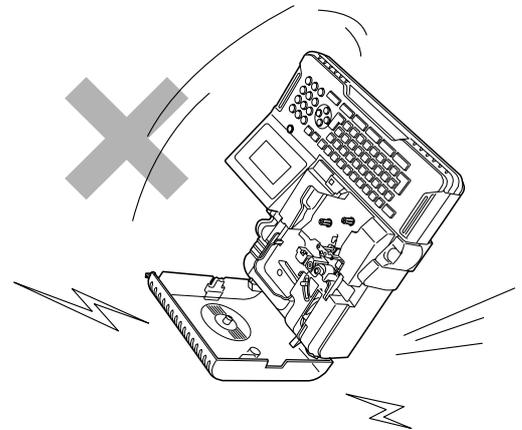
本機で作成した表示物に起因する損害、逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部メモリに保存した文書やメモリーカード（LM-MR320、LM-370TXのみ）に保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。電圧がさがり機械が誤動作する可能性があります。</li> <li>紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。</li> <li>インクリボン・チューブ・テープをなめたりしないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コードの接続、メモリーカードの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行ってください。電源ONのまま接続および装着すると、けがや故障の原因となります。</li> <li>電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にほこりなどがたまり、火災や故障の原因になります。</li> <li>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。</li> <li>本機に付属されている専用のACアダプタをご使用ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用直後のプリンタヘッドにさわらないでください。やけどをする恐れがあります。</li> <li>フルカット刃・ハーフカット刃にふれないでください。けがの原因となります。</li> </ul>

## お願い

本機のトラブルを避け本機の故障を未然に防ぐ為に、下記の事項を必ず守ってください。

1. 本機とACアダプタは精密機械です。落したり、衝撃を与えたり、お取り扱いにはご注意ください。



2. 快適にご使用いただくためにチューブは、マックス純正品をお奨めします。

 純正消耗品はP150参照

市販品チューブは、以下のもので動作確認しています。

三平化学工業（株）製、北港化成（株）製、横山化成（株）製

マークチューブ（内径φ2.5～6.5 肉厚0.4mm品 白色、06.01現在）

熱収縮チューブは、以下のもので動作確認しています。

住友電工ファインポリマー（株）製

スミチューブB2（内径φ2.7～5.2 黒色、06.01現在）

◎上記以外のチューブについては、チューブの硬さ、表面状態で印字品質が変わります。

恐れ入りますがお客様にて印字確認の上ご使用ください。

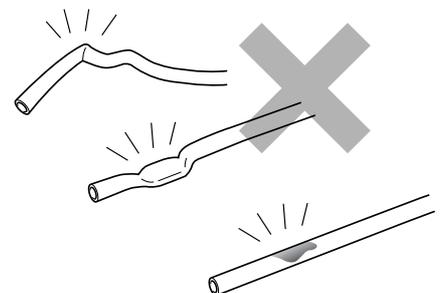
またチューブ内径は**φ2.5～6.5の範囲でご使用ください。**

※上記の動作確認については、正常な印字・動作を保証するものではありません。

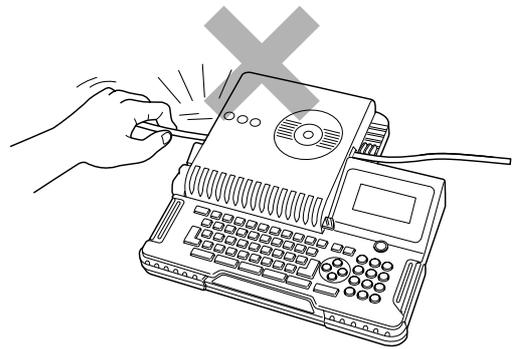
3. チューブ以外の消耗品（テープカセット、インクリボンカセット、記名板、カッター刃）は専用のものでお使いください。その他のものは絶対に使用しないでください。

4. チューブ印字の際は、チューブの曲がりグセ、ツブレた物、ヨゴレのひどい物は、使用出来ません。

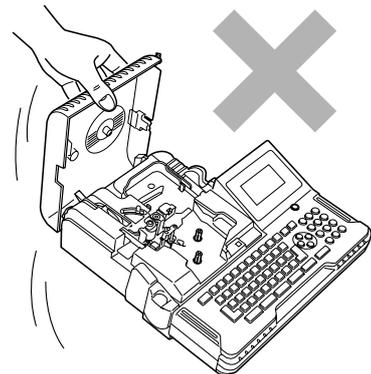
特に、チューブに付着した硬いゴミ等はプリンターヘッドの故障の原因になります。



5. テープチューブ出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。印字中にテープチューブはひっぱらないでください。



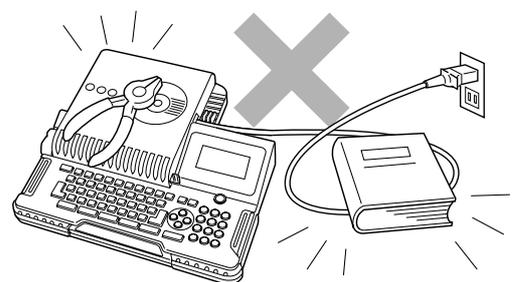
6. カセットカバーをつかんで持ち上げないでください。部品が破損し機械が落下することがあります。



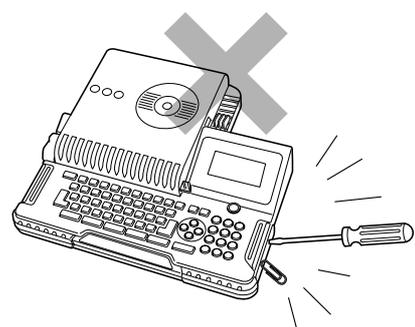
7. ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合、異常表示、メモリの内容が消えることがあります。  
本機は住宅地又は隣接地域で使用する事を想定し、電波障害を防止する処置を行っています。しかし、本機をラジオ・テレビの受信機に近接して使用すると、受信障害の原因になる事がありますので設置場所に注意してください。

8. 本体の電源キーを入れたまま、または電源キーを切った直後に、電源ケーブルを引き抜かないでください。設定やメモリ内容の消去といった誤動作や故障の原因となります。LCD画面の表示が消えてから電源コードを抜いてください。

9. 本機の上や電源コードの上に物を置かないでください。

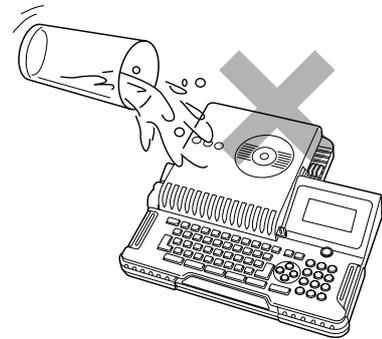


10. カードスロットやUSBポートに金属片等を入れないでください。故障の原因となります。



11. LCD画面を強く押さないでください。割れることがあります。

12. コーヒーやジュースなどの飲み物や水などを本機の上にこぼさないでください。

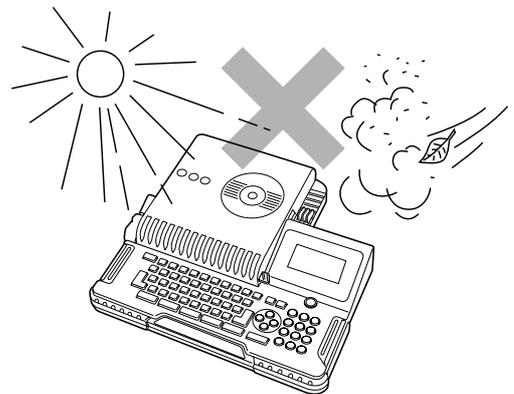


13. 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤や薬品を使わないでください。機械が変形したり、変色する原因になります。

14. 寒い屋外から暖房の効いた室内に持ち込んだ時など、急激な温度変化により本体内部が結露することがあります。この時は室内に30分以上放置して霜が取れたことを確かめてからご使用ください。

15. トラブルの原因になりますので次の様な場所では使用、保管をしないでください。

- ①直射日光の当たる場所や、ヒーター等の熱源に近い場所
- ②ほこりや湿気の多い場所
- ③振動や衝撃の加わる場所
- ④温度が15℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください
  - ・本機を高温（35℃以上）環境に放置するとLCD画面が黒くなり、文字が見えにくくなる事があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。
  - ・本機を低温（5℃以下）環境に放置するとLCD画面の表示が薄くなり、見えにくくなる事があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。
- ⑤温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



16. 保管、輸送する時は、ご購入時の専用キャリングケースまたは包装箱をご使用ください。

---

メ 毛

## 第 2 章

# お使いになる前に

---

2-1	主な特徴 ～ この機械でできること .....	14
2-2	同梱品の確認 .....	16
2-3	各部の名称 .....	17
2-4	キーの名称と役割 .....	18
2-5	画面の見かた .....	21
2-6	用語の説明 .....	23

# 第2章 お使いになる前に

## 2-1 主な特徴 ～ この機械でできること

### 〔チューブ印刷機能〕

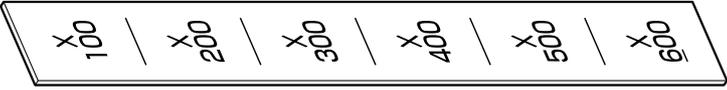
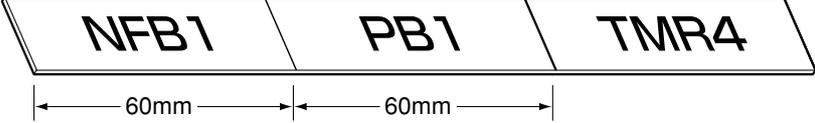
第2章

主な特徴 ～ この機械でできること

	・塩ビチューブ／非塩ビチューブ	・市販チューブ／黒色熱収縮チューブ
1) 使用できるチューブ (36ページ参照)		
2) 連番指定 (87ページ参照)		
3) 文字サイズ (82ページ参照)		
4) 文字幅 (83ページ参照)		
5) 連続印刷 (86ページ参照)		
6) アルファベット連番 (87ページ参照)		
7) 縦書き (90ページ参照)		
8) 文字選択 (6.9/6.9/6.9.) (96ページ参照)		

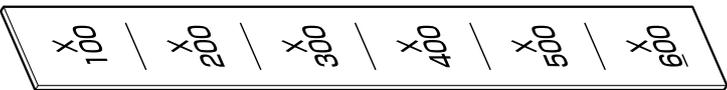
〔テープ印刷機能〕

専用テープカセットを使用します。

<p>1) 連番指定 (87ページ参照)</p>	
<p>2) ハーフカット (98ページ参照)</p>	
<p>3) 縦書き (90ページ参照)</p>	
<p>4) 定長印字 (46ページ参照)</p>	

〔記名板印刷機能〕

LM-380T/PC・LM-380Tのみ。専用記名板・アタッチメントを使用します。

<p>1) 連番指定 (87ページ参照)</p>	
<p>2) 縦書き (90ページ参照)</p>	

・その他のラベル

<p>1) 多ブロック (53ページ参照)</p>	
<p>2) 枠囲み (85ページ参照)</p>	

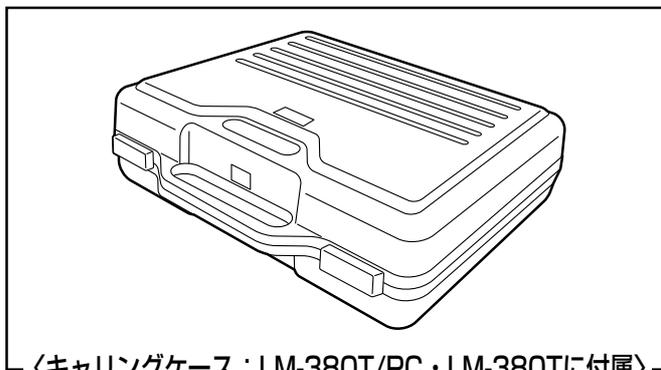
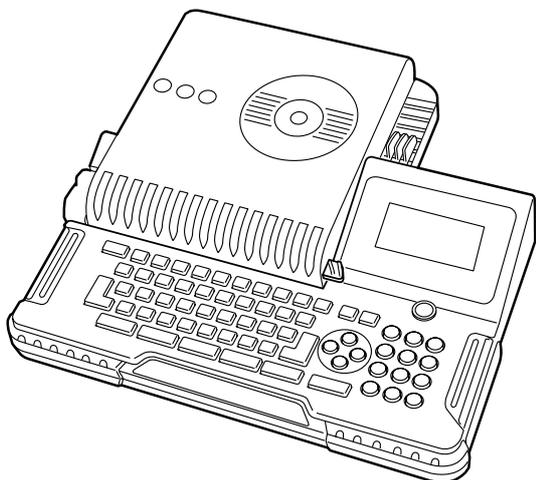
# 第2章 お使いになる前に

## 2-2 同梱品の確認 (LM-380T/PC・LM-380T・LM-330T)

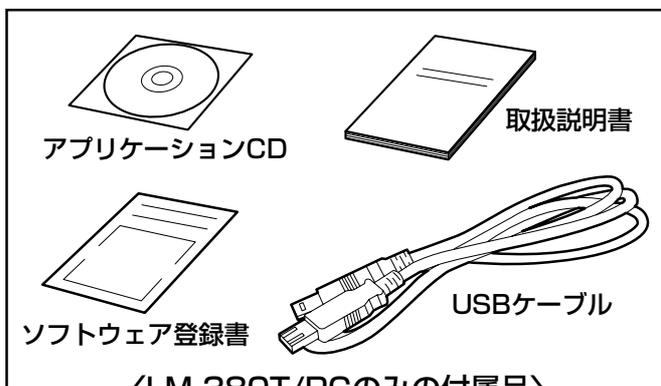
以下の同梱品が揃っているか、ご確認ください。

第2章

同梱品の確認



〈キャリングケース：LM-380T/PC・LM-380Tに付属〉



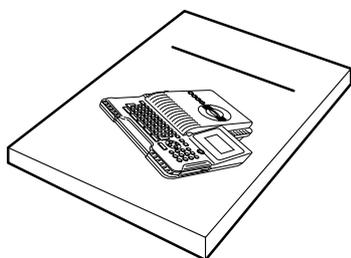
アプリケーションCD

取扱説明書

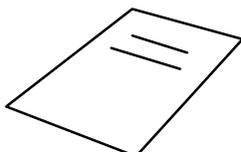
ソフトウェア登録書

USBケーブル

〈LM-380T/PCのみの付属品〉



〈取扱説明書〉  
(本書)



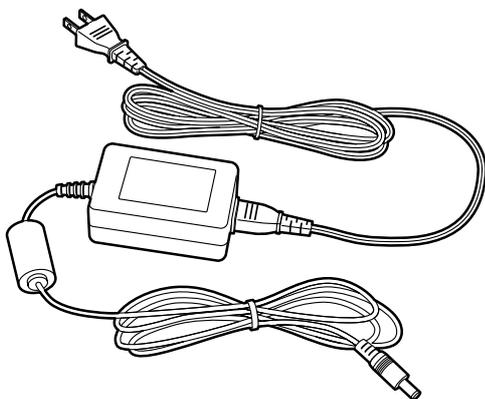
〈保証書〉



〈インクリボン：黒〉



〈テープカセット〉  
(9mm幅・白)

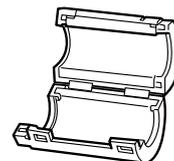


〈ACアダプタ〉



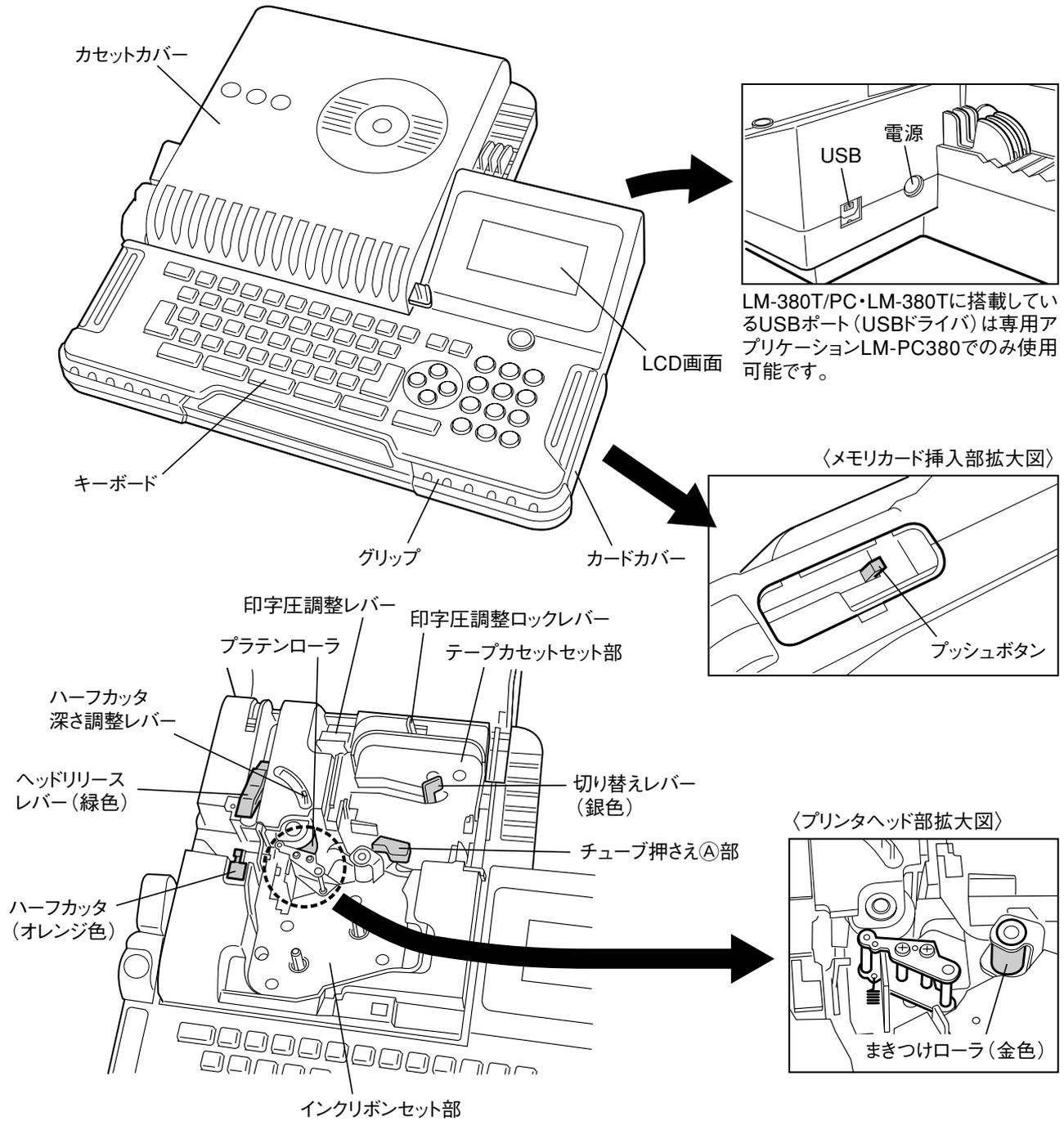
〈ハーフカッタ〉  
(オレンジ)

※本機にセットされています。

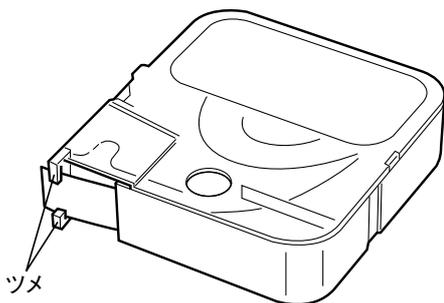


〈リングコア〉

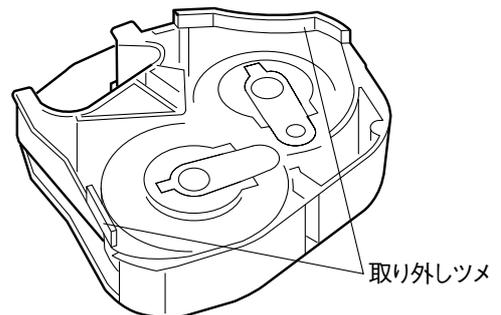
## 2-3 各部の名称



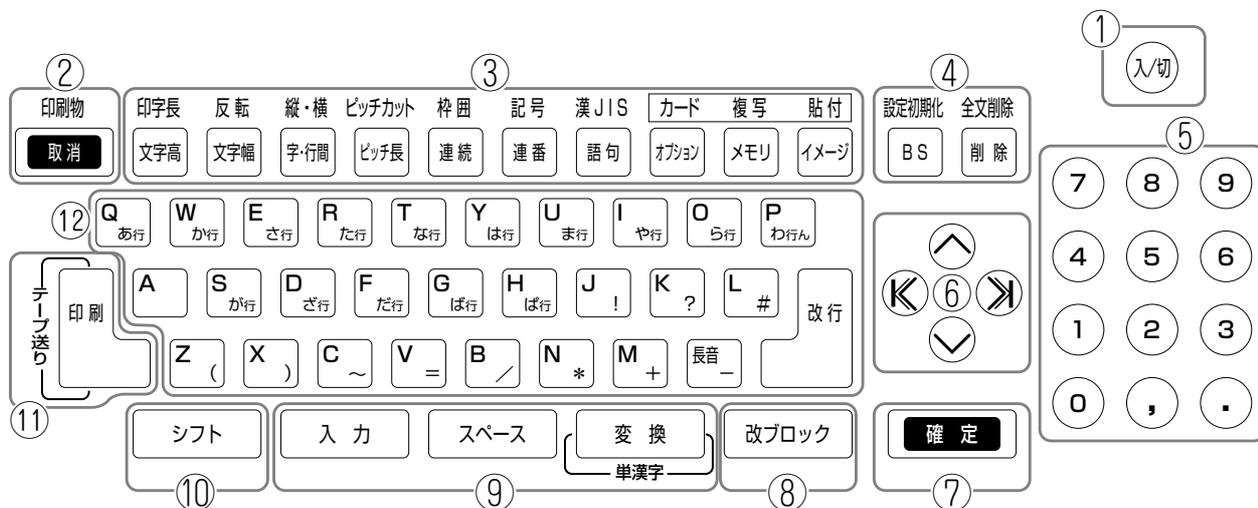
### ●テープカセット



### ●インクリボンカセット

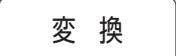
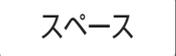
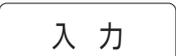


## 2-4 キーの名称と役割



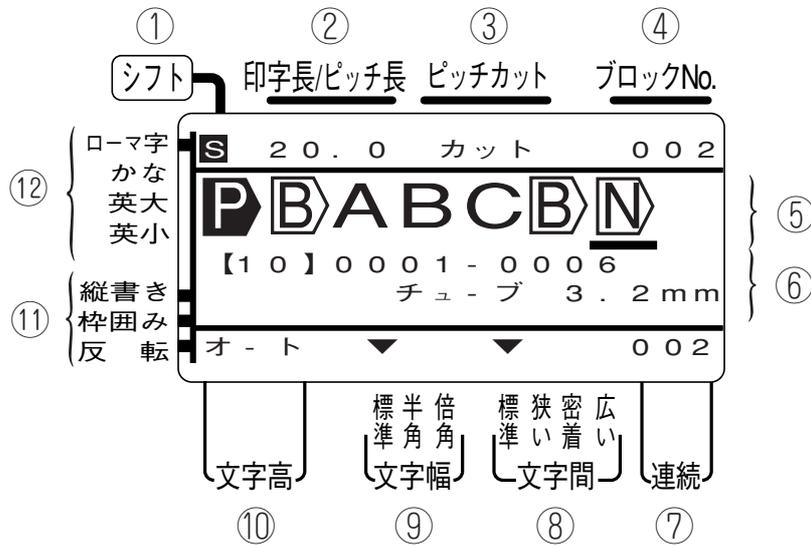
キーの配置	キー名称	使用するキー	はたらき	参照ページ
①	電源	入/切	電源ON・OFFに使います。	37
②	取消	取消	設定途中での取消しや入力中の読みのクリアなどに使います。	79
	印刷物	シフト + 印刷物 取消	チューブやテープのサイズなど印刷する対象物を設定します。	35
③	文字高さ	文字高	カーソル行の文字高さを変更するときに使います。	82
	印字長	シフト + 印字長 文字高	デバイスラベルなどの作成で、予め印字長を設定するときに使います。	110
	文字幅	文字幅	カーソル行の文字幅を変更するときに使います。	84
	反転	シフト + 反転 文字幅	印刷領域内を反転印刷します。(白抜き文字)	91
	文字間隔・ 行間隔	字・行間	文字と文字との間隔や複数行入力時の行間隔を変更するときに使います。	84
	縦・横	シフト + 縦・横 字・行間	縦書きにするときに使います。テープとチューブでは印刷結果が異なります。	90
	ピッチ長	ピッチ長	カーソルを合わせたブロックマーク以降のピッチ長を変更します。	88
ピッチカット	シフト + ピッチカット ピッチ長	ピッチ印刷時にピッチ毎にハーフカット・実線印刷・無しを設定します。初期値はテープ・チューブで異なります。	89	

キーの配置	キー名称	使用するキー	はたらき	参照ページ
③	連続		同じブロックを連続して印刷する枚数を変更するときに使います。	86
	枠囲み		入力した文字を枠囲みするときに使います。	85
	連番		カーソル位置に連番を入力するときに使います。	87
	記号		予め搭載されている記号を入力するときに使います。	73
	語句		よく使うフレーズなどを登録しておくとき、また呼び出すときに使います。	120
	漢JIS		JISコードで漢字やギリシャ文字などを入力するときに使います。	71
	オプション		パソコンからのデータ受信 (LM-380Tのみ)、文字の配置、6/9印字機能、印字濃度調整、ハーフカット位置の調整、表示濃度調整、連続連番設定、低温モード設定など、環境を設定するときに使います。	93
	カード		別売の専用メモリカードのPCデータを読み込むときや入力データを同カードに書き込むときに使います。	117
	メモリ		本体内部に入力したデータを保存・呼び出し・削除するときに使います。文字だけでなく設定もすべて保存できます。	112
	複写		既に入力してあるカーソル位置のブロックをコピーするときに使います。	79
	貼付		複写で一時記憶したブロックをカーソル位置に挿入するときに使います。	79
	イメージ		入力した結果を画面上でイメージ表示するときに使います。	107
④	BS (バックスペース)		入力画面や設定画面でカーソル位置の直前1文字を削除するときに使います。	76
	削除		入力画面や設定画面でカーソル位置の1文字を削除するときに使います。	76
	設定初期化		入力中の文書 (データ) の設定をすべて初期化するときに使います。	78
	全文削除		入力中の文書 (データ) をすべて消去するときに使います。	77
⑤	テンキー		数値やカンマ、ピリオドを入力するときに使います。	60

キーの配置	キー名称	使用するキー	はたらき	参照ページ
⑥	カーソルキー		カーソルを移動したり、選択項目を切り替えるときに使います。	37
	ジャンプ	 + 	入力中の文書の文頭や文末にジャンプするときに使います。	37
⑦	確定		変換中の漢字候補を確定したり、設定画面で選択項目や設定値を確定するときに使います。	37
⑧	改ブロック		改ブロックするときに使います。	23
⑨	変換		入力した文字を漢字に熟語変換するときに使います。	65
	単漢字	 + 	入力した文字を単漢字変換するときに使います。	67
	スペース		空白（スペース）を入力します。	57
	入力		ローマ字、かな、英数大文字、英数小文字の入力モードを切り替えます。キーを押すと、LCD左上部に表示されるインジケータが切り替わります。	60
⑩	シフト		キーの脇（上下）に青く印刷されている機能を使用するときに使います。他のキーと同時に押せません。  押下後、  押下のように入力します。	57
⑪	印刷		入力した文書（データ）を印刷します。	45
	テープ送り	 + 	テープ（チューブ）を空送りします。	—
⑫	文字キー	 ~ 	文字を入力します。かな入力モード時には、かなが表示されているキーのみが有効となります。	—
	改行		カーソル位置で行を改行します。	49

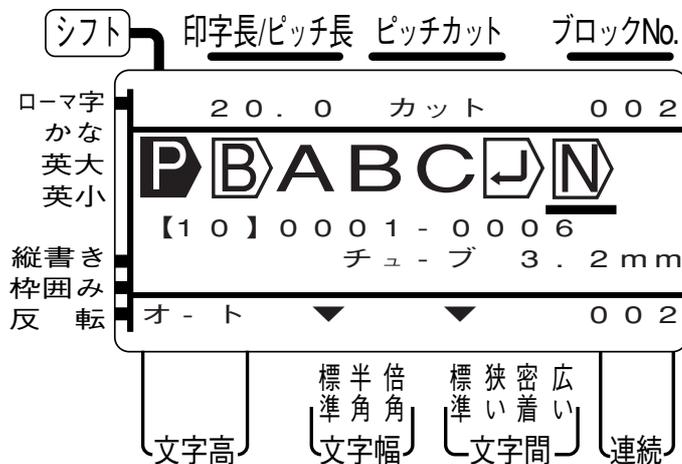
## 2-5 画面の見かた

基本入力画面（入力待機時）でのそれぞれの表示の意味は下図のようになります。



図の番号	表示部	意味
①	シフト・インジケータ	<input type="checkbox"/> シフト が1度押下されると点灯します。再度押すか、他のキーを押すと消えます。
②	印字長/ピッチ長表示	設定されている印字長またはピッチ長が表示されます。
③	ピッチカット	ピッチカット設定の状態が表示されます。
④	ブロックNo.	入力中のブロックが先頭ブロックから何番目かを表示します。
⑤	確定画面	確定入力した文字や編集マークが表示されます。
⑥	状態表示 (1)	上段は連番設定がある場合、設定された連番の状態が表示されます。下段は選択されている印字対象物が表示されます。漢字入力時には、「よみ」が表示されます。
⑦	連続印刷インジケータ	連続印刷の設定値が表示されます。
⑧	文字間隔インジケータ	設定されている文字間隔が表示されます。
⑨	文字幅	カーソル行の文字幅の設定値が表示されます。
⑩	文字高さ	カーソル行の文字高さの設定値が表示されます。オートは自動文字高さ設定です。
⑪	状態表示 (2)	枠囲み・縦書き・反転設定がONになっているとインジケータが点灯します。
⑫	入力モードインジケータ	選択されている入力モードのインジケータが点灯します。 <input type="checkbox"/> 入カ を押下すると順にインジケータが変わります。

画面に表示される編集マークの意味は次の通りです。



編集マーク	名 称	意 味
<b>P</b>	ピッチマーク	このマークが入力されているときは、ピッチ印刷モードになります。
<b>B</b>	ブロックマーク	ブロックの先頭を示します。
<b>↵</b>	改行マーク	改行されていることを示します。
<b>N</b>	連番マーク	連番が設定されていることを示します。

## 2-6 用語の説明

本機をお使いになる上で、次の用語は頻繁に出てきますのでご理解ください。

### 【ブロック】

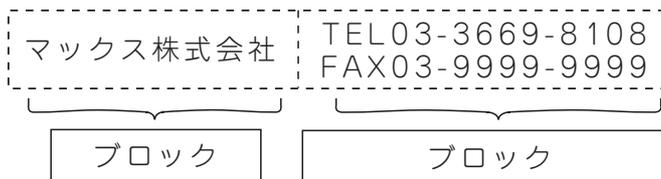
 を押すと  マークが入力され、新しく1行目が発生します。ブロックには2通りあります。

#### 1) ピッチ印刷する場合

下図に示すように、ピッチ印刷する場合は設定したピッチ長さにそれぞれのブロックを割り当てて印刷します。

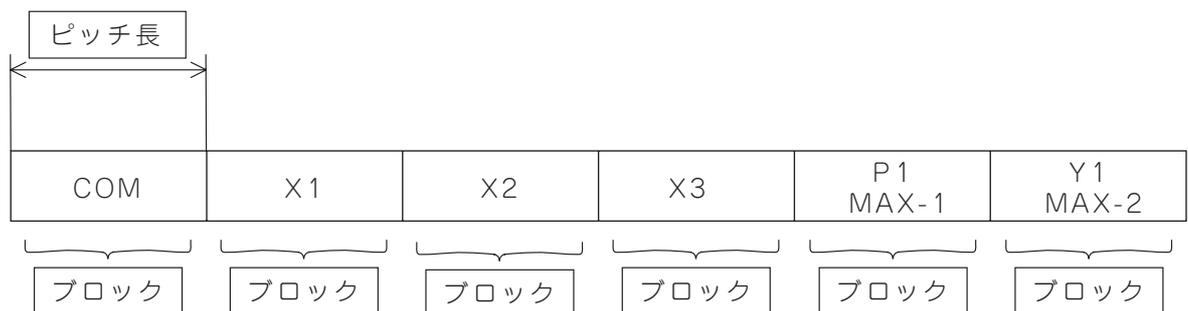
#### 2) ピッチ印刷しない場合

この例のように、それぞれのブロックの文字長さに応じてレイアウトされます。



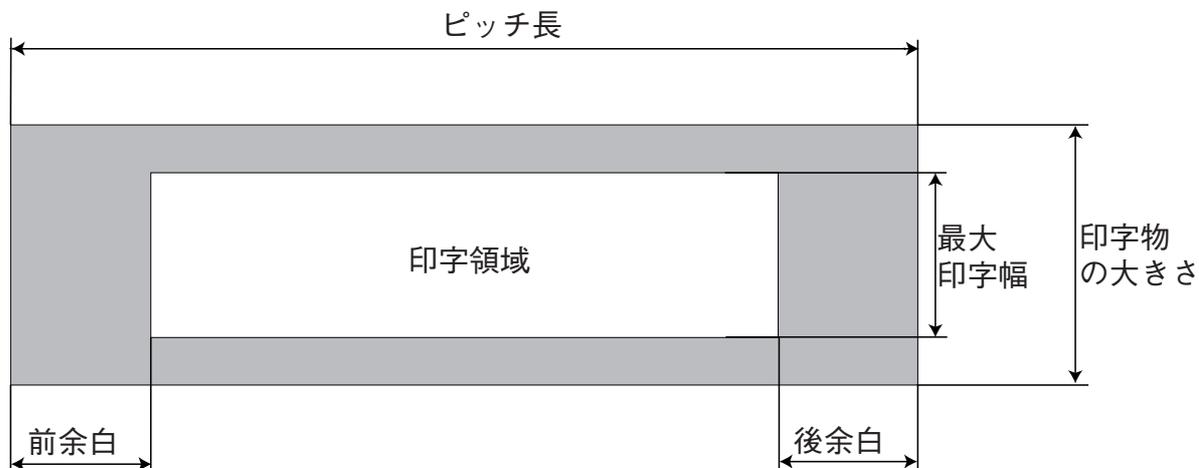
### 【ピッチ】

ピッチ印刷の場合、入力したブロックは、下図のように一定の長さでチューブやテープ、記名板に異なる文字を印刷できます。



【印字領域】

ピッチ長さや印字物サイズと印字領域の関係は次のようになっています。



	前余白	後余白	例) ピッチ長20mmの場合の 最大印字領域長さ
テープ印刷	1mm	1mm	18mm
チューブ印刷	2mm	2mm	16mm
記名板印刷	0.5mm	0.5mm	19mm

印 字 対 象 物		最大印字幅
テープ	5mm	3.0mm
	9mm、12mm	7.4mm
チューブ	Φ2.5	2.0mm
	Φ3.2	3.0mm
	Φ3.6	3.0mm
	Φ4.2	4.0mm
	Φ5.2	4.6mm
	Φ6.5	4.6mm
記名板	8mm	6.5mm
	8.5mm	6.9mm
	9.5mm	7.4mm
	10.0mm	7.4mm

※記名板の印字は、専用記名板および専用アタッチメントを用いて、LM-380T/PC・LM-380Tのみで使用できます。

## 第 3 章

# サプライ品のセットのしかた

---

3-1	インクリボンをセットする	26
3-2	チューブのセットのしかた	28
3-2-1	チューブをセットする	28
3-2-2	チューブのはずしかた	30
3-3	テープカセットのセットのしかた	31
3-3-1	テープをセットする	31
3-3-2	テープのはずしかた	32
3-4	ハーフカッタ交換のしかた	33
3-5	メモリカードのセットのしかた	34

## 第3章 サプライ品のセットのしかた

### 3-1 インクリボンカセットをセットする

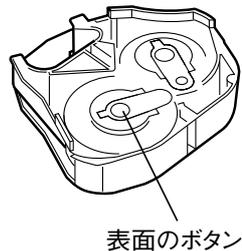
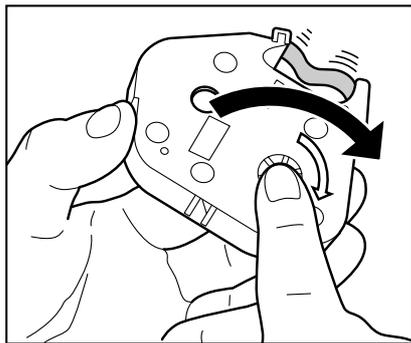
1. インクリボンカセットを用意します。

**お願い**

- インクリボンがたるんでいた時は、右図のようにたるみを取ってください。

**インクリボンのタルミの取りかた**

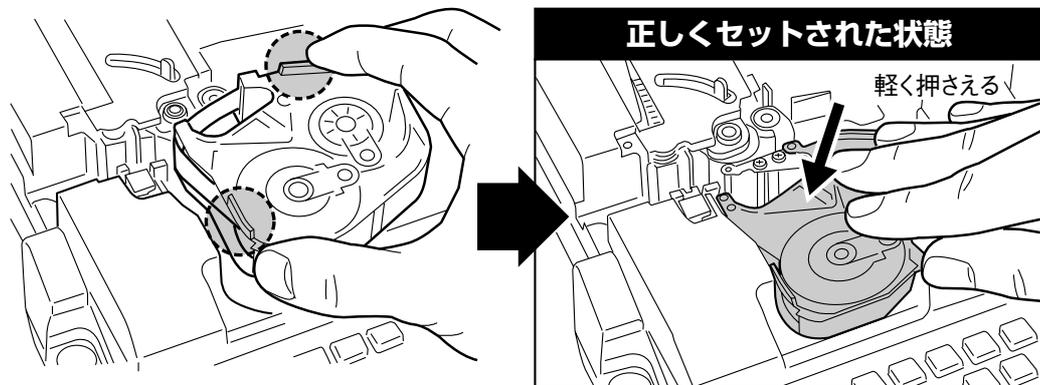
インクリボンカセットを図のように持ち、カセット裏面の矢印方向へ巻き取りコア（黒色）を回転させ、インクリボンのタルミを取ります。その時、表面のボタンには触れないでください。



**お願い**

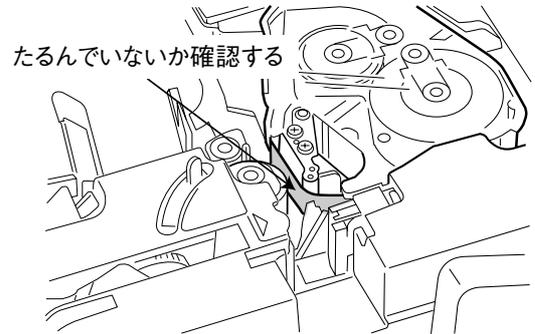
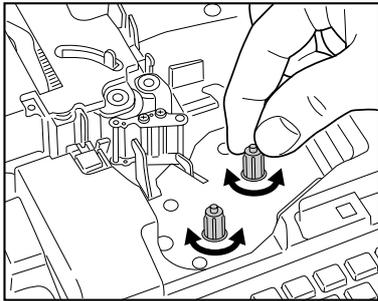
- タルミを取る以上に、巻き取りコアを強く回転させないでください。印字不良の原因になります。

2. 図の様にインクリボンカセットの2つの取り外しツメ部を持ち、本体にセットします。次に浮き防止のため上から軽く押えます。

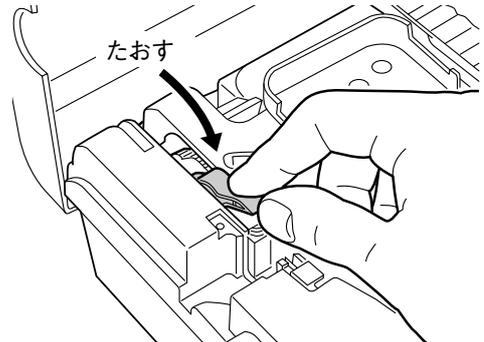


**お願い**

- インクリボンがたるんでいないか確認してください。たるんでいた場合は前項の **インクリボンのタルミの取りかた** の操作を行ってください。
- インクリボンカセットが入りづらい場合は、下図の様に軸を少し回転させてください。



3. (緑色の) ヘッドリリースレバーを手前にたおします。(ヘッドリリースレバーは最後まで手を離さずに手前にたおしてください。)



4. カセットカバーをしっかりと閉じます。



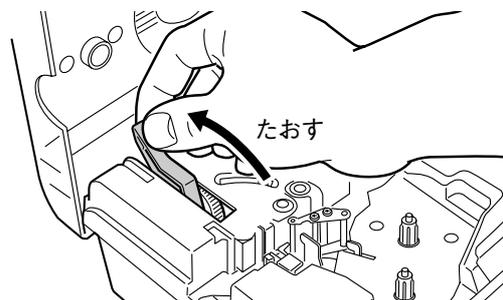
## 3-2 チューブのセットのしかた

### 3-2-1 チューブをセットする

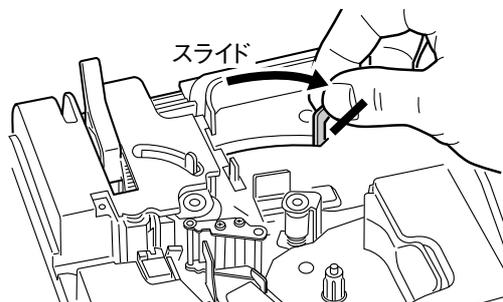
1. 青色のツマミを左側に押しながら、カセットカバーを引き上げます。



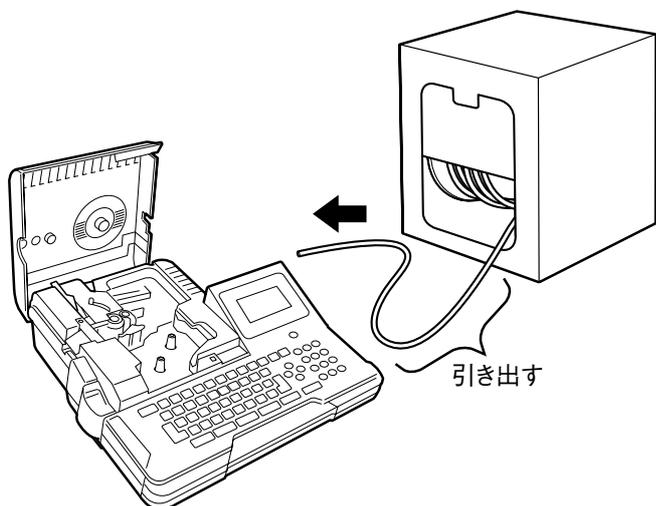
2. (緑色の) ヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



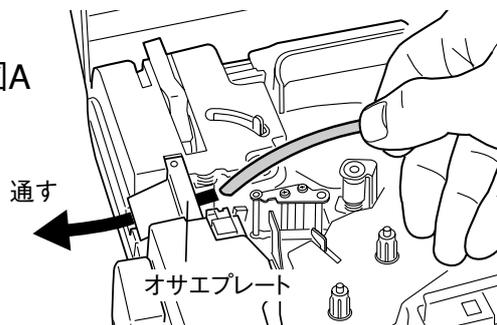
3. (銀色の) 切り替えレバーを図のように止まるまでスライドします。



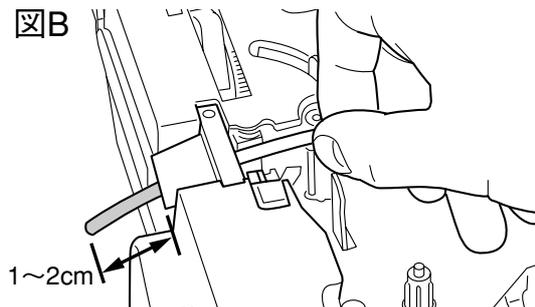
4. チューブを必要な長さに引き出した上でチューブをオサエプレートの下に通し (図A)、先端を本体より1~2cm出します (図B)。



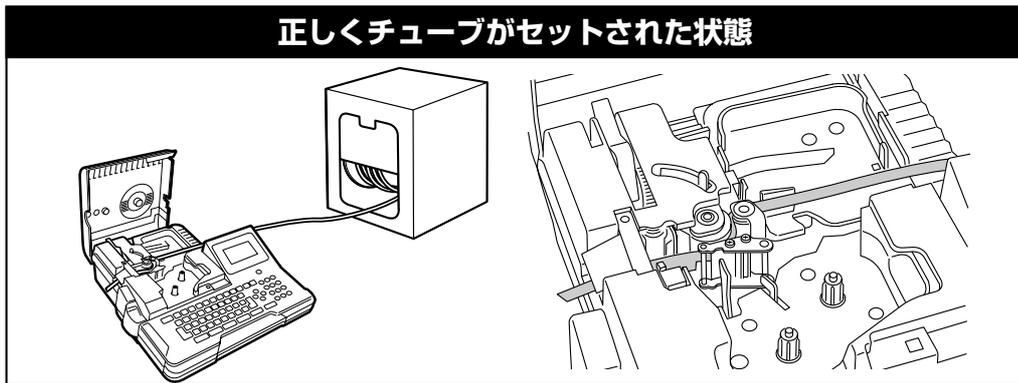
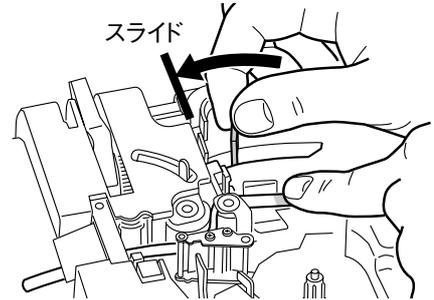
図A



図B



5. チューブが浮かないように、**TUBE** シール付近を軽く押さえながら、チューブ先端をつまんで軽く引っ張り、チューブの途中のたるみを取りのぞいてから銀色の切り替えレバーを図のように止まるまでスライドさせます。



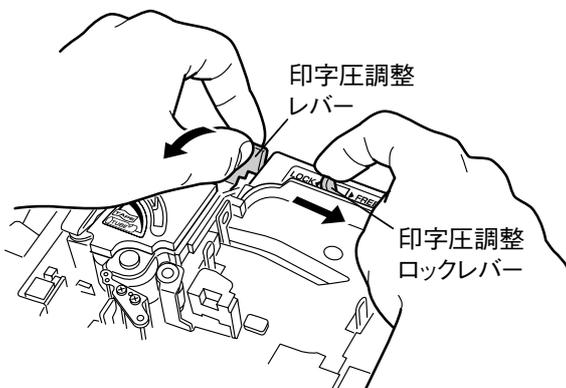
**メモ**

小径のチューブ（φ2.5）に印字する場合、チューブによってはハーフカット時の一時停止時に、インクリボンとのこすれにより汚れがつくことがあります。その時は、本機の印字圧調整レバーを弱にセットして使用してください。

※太径使用時や、低温時に印字圧調整レバーが弱に設定してあると、印字カスレや印字欠けをすることがあります。そのような時には通常に戻して使用してください。

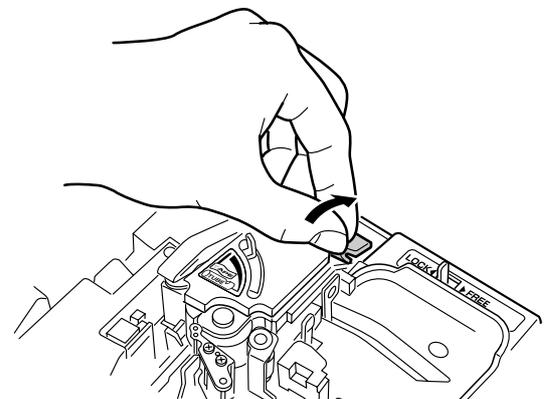
**弱にセットする**

- 印字圧調整ロックレバーをFREE側にスライドしたまま、印字圧調整レバーを起こします。



**通常に戻す**

- 印字圧調整レバーを奥側に押し込みます。この時印字圧調整ロックレバーはLOCKのままでセットできます。



**注意**

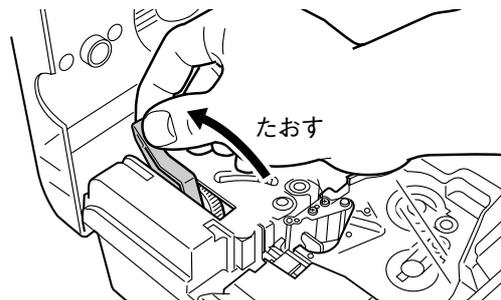
印字圧調整レバーを操作する時には、手をはさまないように注意してください。

### 3-2-2 チューブのはずしかた

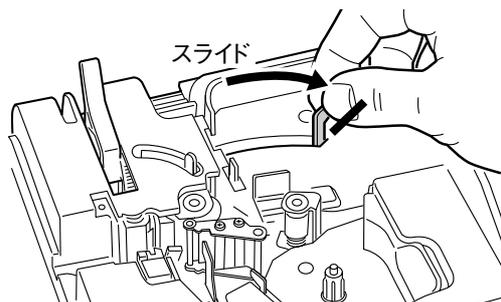
1. 青色のツマミを左側に押しながら、カセットカバーを引き上げます。



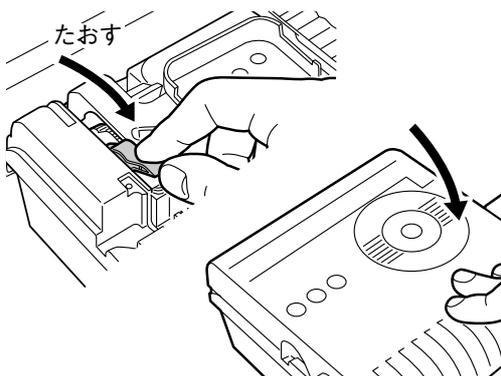
2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



3. 銀色の切り替えレバーを図の位置にスライドさせ、チューブをはずします。



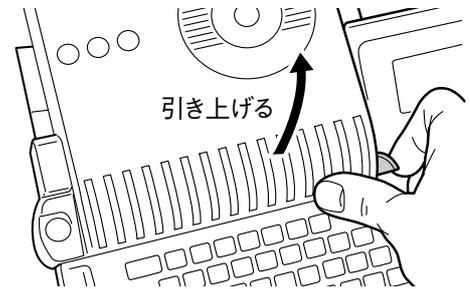
4. 緑色のヘッドリリースレバーを手前にたおした後でカセットカバーをしっかりと閉じます。



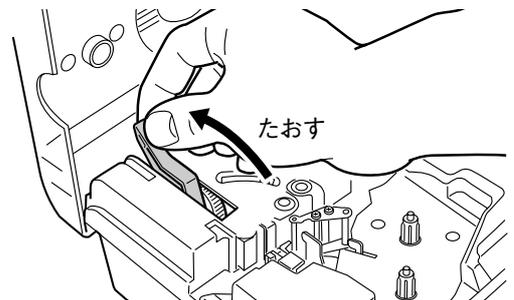
## 3-3 テープカセットのセットのしかた

### 3-3-1 テープカセットをセットする

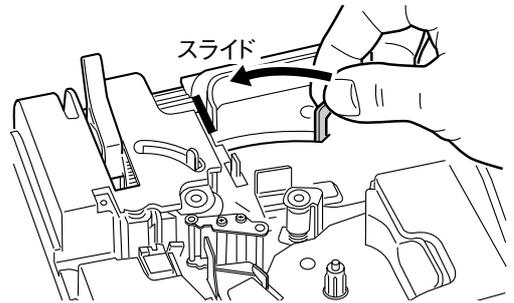
1. 青色のツマミを左側に押しながら、カセットカバーを引き上げます。



2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



3. 銀色の切り替えレバーを図の位置にスライドします。



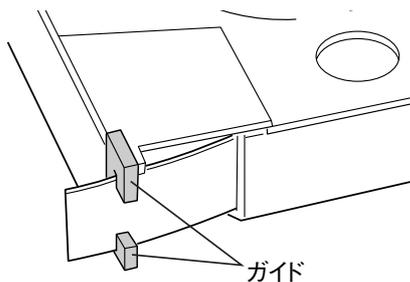
4. テープカセットを用意します。

#### お願い

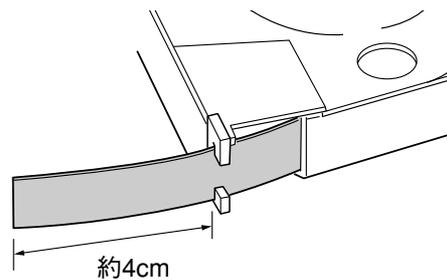
- テープカセットを本機にセットする前に下図の様にテープを準備してください。

#### テープの準備

- a テープ両側がテープガイドの中に入っていることを確認してください。

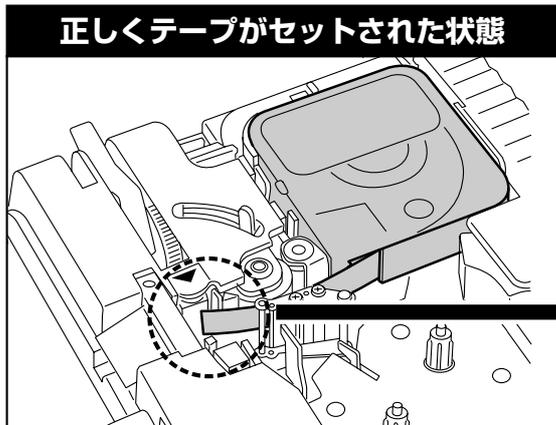


- b テープ先端を約4cm引き出してください。



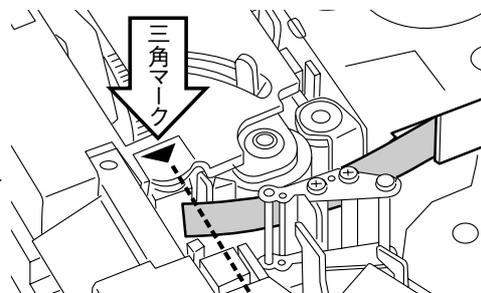
注意：テープ先端が折れているものはハサミなどで切ってからセットしてください。

5. 図の位置にセットします。



**お願い**

●テープ先端が三角マークを超えた位置にあることを確認してください。  
(超えていないと送り不良の原因になります)

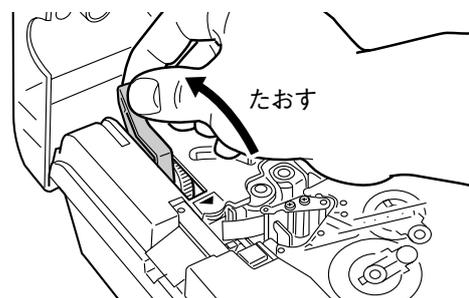


### 3-3-2 テープのはずしかた

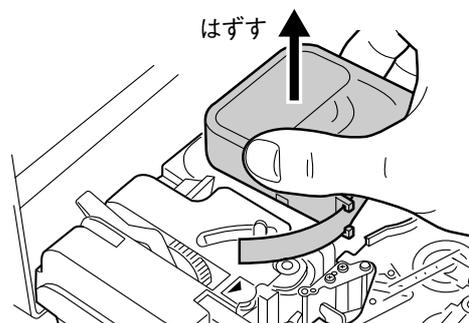
1. 青色のつまみを左側に押しながら、カセットカバーを引き上げます。



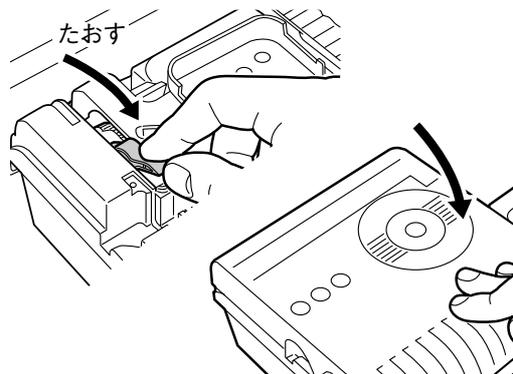
2. 緑色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



3. テープカセットをはずします。



4. 緑色のヘッドリリースレバーを手前にたおした後でカセットカバーをしっかりと閉じます。

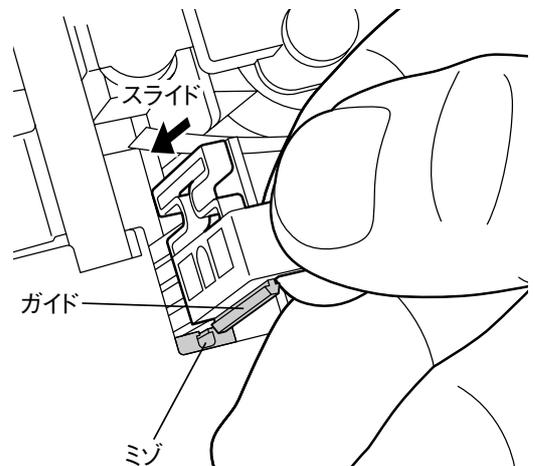
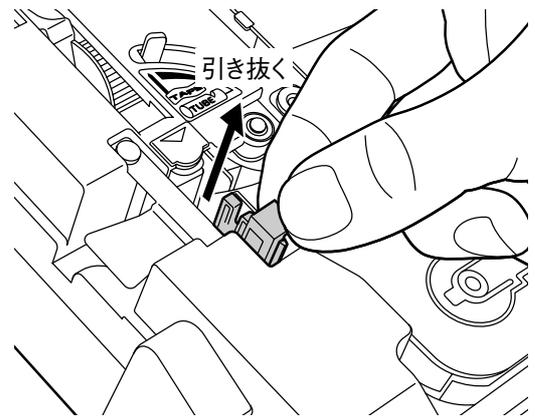


第3章  
テープのはずしかた

### 3-4 ハーフカッタ交換のしかた

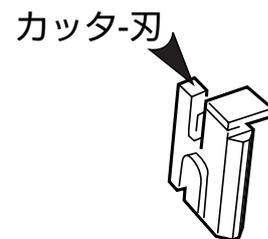
●オレンジ色の標準でセットされているハーフカッタは、テープのハーフカットとチューブのハーフカットの両方に使用できます。チューブの場合気温や材質により切れ過ぎることがあります。そのような時はハーフカッタ深さ調整レバーを操作してカット深さを調整してから使用してください。

1. 青色のツマミを左側に押しながら、カセットカバーを引き上げます。
2. オレンジ色のハーフカッタを上方に引き抜きます。
3. 新しいハーフカッタを用意します。
4. ハーフカッタのガイドと本機のみぞを合わせスライドさせながら、突きあたるまで挿入します。

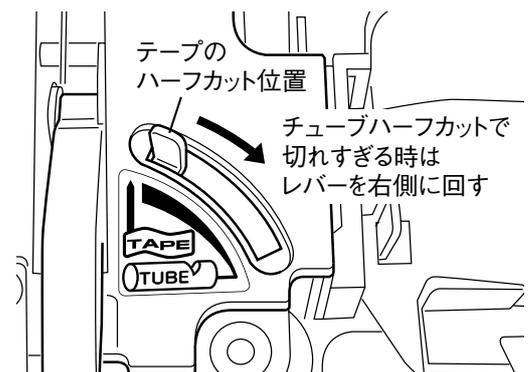


これで交換は完了です

<b>⚠ 注意</b>	
	<p>カッタ-刃には絶対手を触れないで下さい。</p>



※テープのハーフカットを行う場合は、ハーフカッタ深さ調整レバーを必ず **TAPE** 側にセットして使用してください。レバーの位置が途中にあるとハーフカット出来ない場合があります。



## 3-5 メモリカードセットのしかた

1. 本機の電源を必ずOFFにしたうえで、本機右側のカードカバーを開きます。

### ⚠ 注意

カード内のデータを保護するために電源を入れたままカードを差し込むと本体の電源が切れます。

2. メモリカードを突きあたるまで差し込みます。(メモリカードの表裏に注意してください。)

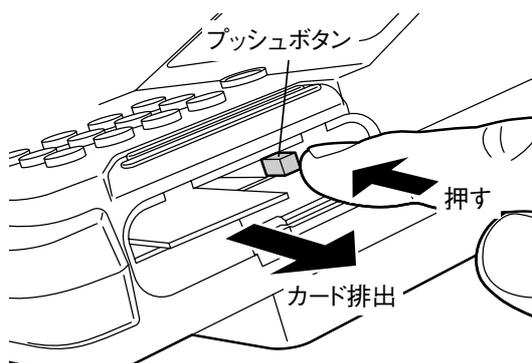
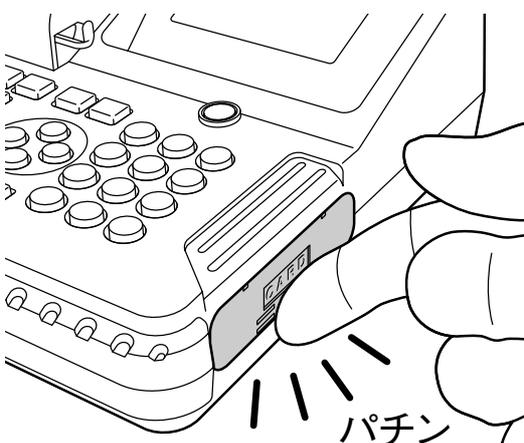
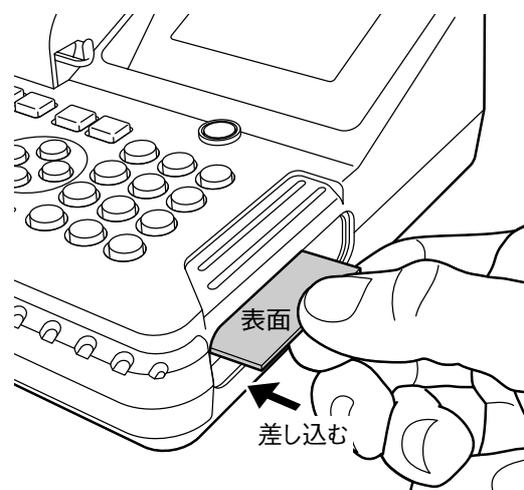
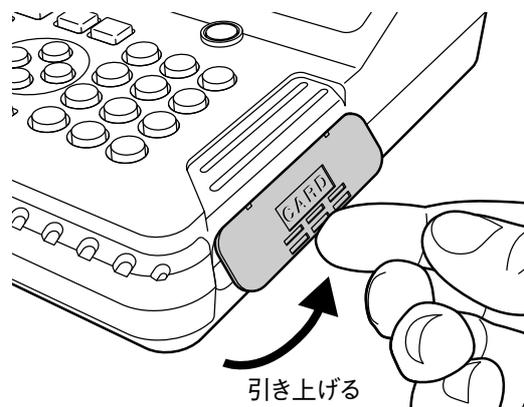
### お願い

- 表裏逆にして無理に差し込むとピンが折れる等、故障の原因となります。

3. (静電気防止のため) カードカバーを閉めます。

### お願い

- メモリカードを本機から外す際は電源がOFFになっていることを確認し、側面のプッシュボタンを押しカードを抜いてください。



# 第 4 章

## 基 本 操 作

---

4-1 チューブに印刷する .....	36
4-2 端子記銘板用にテープ印刷する .....	42
4-3 デバイスラベル用にテープ印刷する .....	46
4-4 社名ラベルをテープ印刷する .....	53

## 第4章 基本操作

### 4-1 チューブに印刷する

#### (ここがポイント)

・本機で印字できる塩ビ製チューブ内径はφ2.5mm～φ6.5mmまでの肉厚0.4mmです。熱収縮チューブを使用する場合は、指定の「スミチューブB2」のサイズはφ2.7、3.5、5.2をご使用ください。

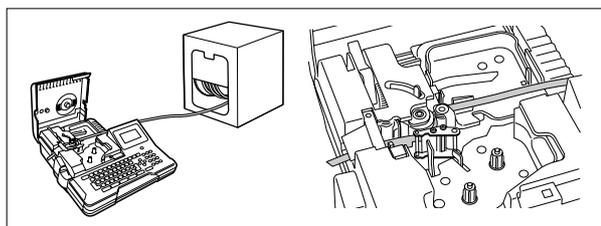
※使用出来るリボンカセットは黒と熱収縮チューブ用の白リボンです。

・使用する場所は15℃以上となるようにしてください。寒い場所では、印字がカスレやすくなります。

・チューブは専用チューブのご使用を推奨しますが、それ以外をご使用の場合は、次の点にご注意ください。

※チューブの引き出しに負荷がかからないよう、本機横にチューブを十分にたるませてください。

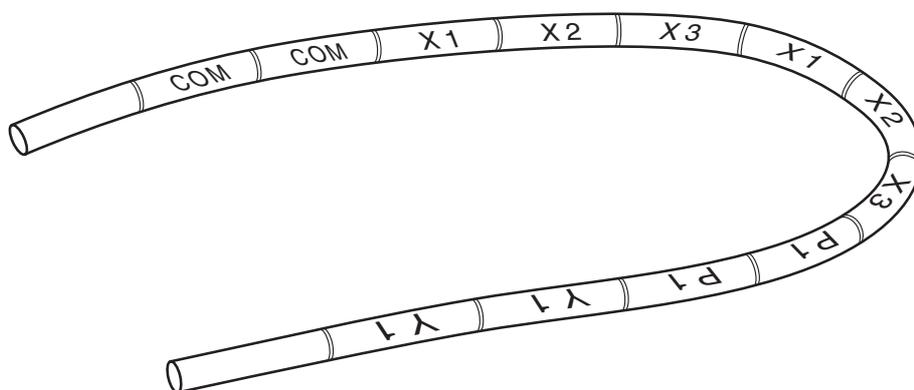
※その際、チューブにねじれが無いようにする。(最適な状態は、リールを使用する、またはある程度の長さでチューブを切ってお使いいただくこととなります。)



・品質には万全を期していますが、ご使用になる場所の気温やチューブの状態、種類によっては印字がカスレる場合があります。

・チューブへの印字は、1ブロックあたりセンター位置から最大左右に1mm程度ずれることがあります。チューブ自体の性質によるもので本機の異常ではありません。

次のようにマークチューブを作ってみましょう。



#### (作成条件)

- ・使用チューブ：内径φ3.6mmチューブ  
この例では、マックス純正チューブ LM-TU436Lを使用した場合とします。
- ・ピッチ長さ（1つ1つのブロックのチューブ長さ）：20mm

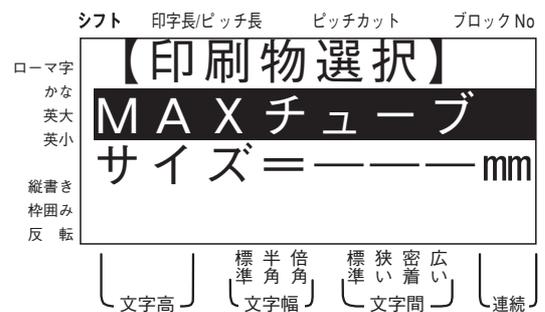
①本機にインクリボンカセットとチューブをセットします。

②電源をONにします。

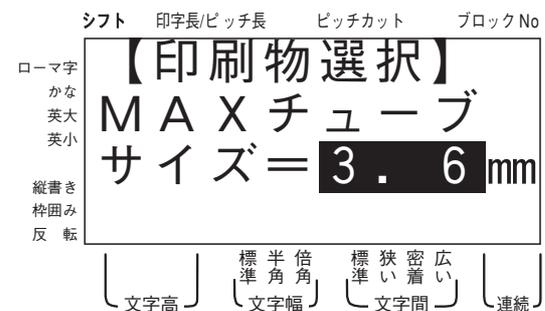
③作成中の文書がある場合は、**Ⓚ**(または **Ⓜ**)  
を押して「新規」を選択し、**確定** を押  
します。



④印刷物を選択します。ここでは「MAXチュー  
ーブ」を選択し、**✓** を押します。



⑤ **Ⓜ** を1回押して、サイズ「3.6mm」を選択  
します。



⑥ **確定** を押して、印刷物を確定します。



☆「インクリボンカセットのセット」26ページ、「チューブのセット」28ページ



☆印刷物選択の上段は印刷物の種類を表示しています。**Ⓚ** または **Ⓜ** を押すと、次のように種類の表示  
が切り替わります。

MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板⇔MAXチューブ

☆収縮チューブを使用するときは、白色のインクリボンをご使用ください。(品番LM-IR330W)

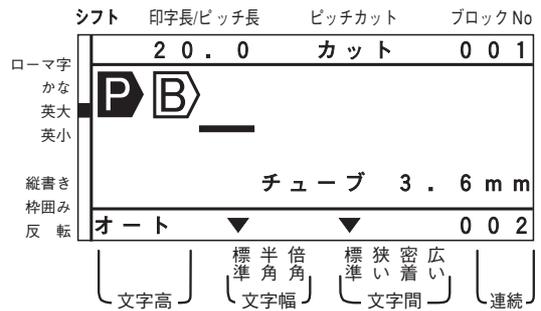
☆記名板はLM-380T/PC・LM-380Tのみで使用できます。

⑦画面左上の入力モードインジケータが「英大文字」になっていることを確認します。

異なる場合は、 を押して切り替えます。

⑧画面右下の「連続印刷」インジケータが「002」になっていることを確認します。

異なる場合は、 を押して、2枚に設定します。



⑨最初のブロックのマーキング内容を入力します。

[C] [O] [M] と押して、 を押します。

右上のブロックNo.が002になります。



⑩次のブロックのマーキング内容を入力します。

[X] を押します。  
次の文字は1~3の連番としたいので、次のように入力します。



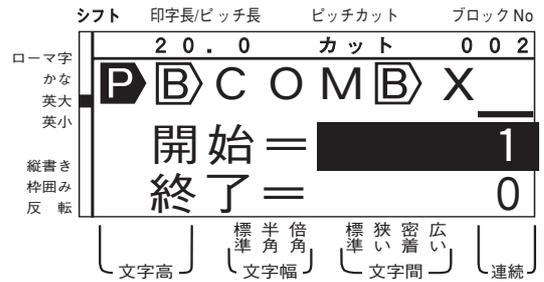
⑪  を押します。

⑫  を押して「10進法」を選択し  を押します。

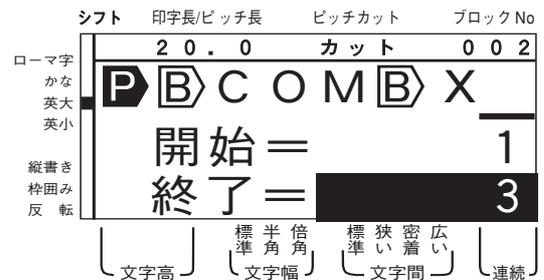


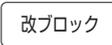
☆印刷物の変更は後からでもできます。  +  +  で変更もできます。

- ⑬ 開始を「1」、 を押してから終了を「3」と入力します。



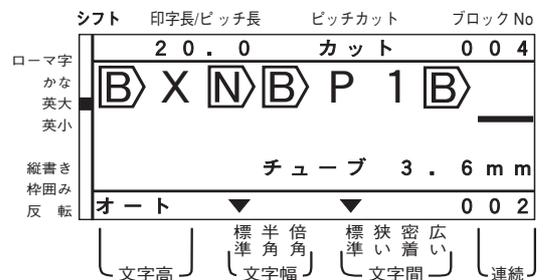
- ⑭  を押します。



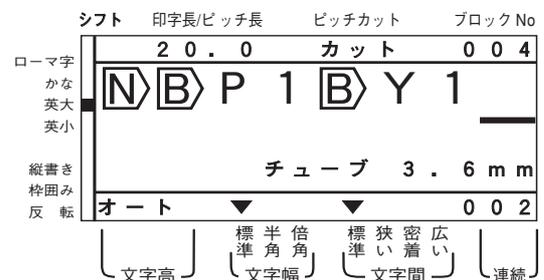
- ⑮  を押して、次のブロックを入力します。



- ⑯ [P]、[1] と入力し、 を押します。



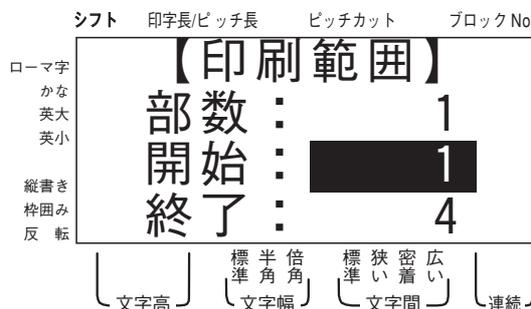
- ⑰ 次のブロックを入力します。  
[Y]、[1] と入力します。



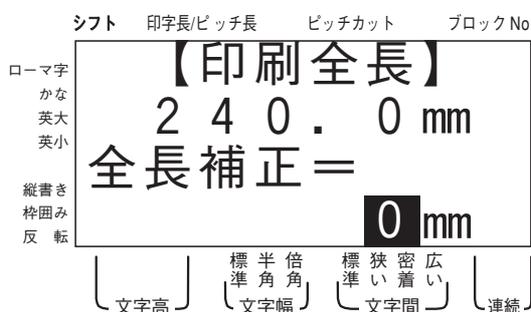
☆入力画面に「」が表示され、ここにカーソルがあるときは入力文字の下に、連番の設定内容「[10] 1-3」が表示されます。この表示の意味は、  
[選択した10進法] (開始数値) - (終了数値)  
です。カーソルが「」の下にある場合のみ表示されます。

以上で入力は終了です。  
 続けて印刷してみましょう。

⑱  を押します。



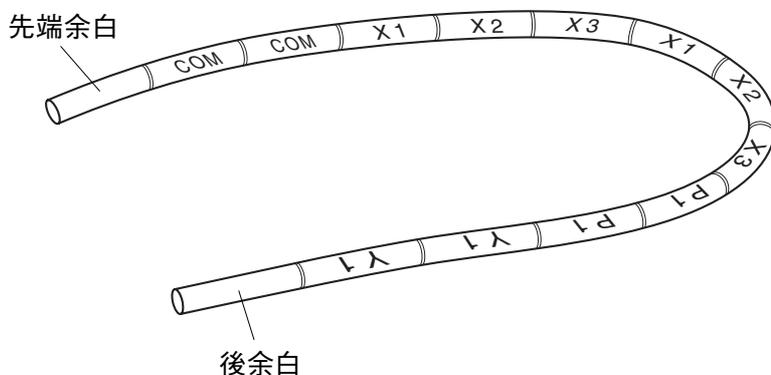
⑲画面を確認し、 を押します。



⑳続けて  を押します。印刷を開始します。

㉑印刷が終了したらカッタボタン  を押し、チューブをカットします。

印刷されたチューブには、下図のような先端余白と後余白がつきます。  
 ※オプション設定の空送りをする設定になっていると先端余白が長くなります。

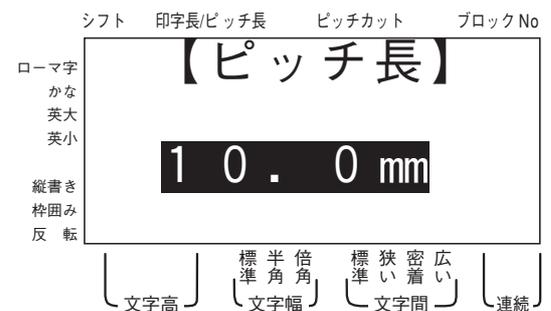
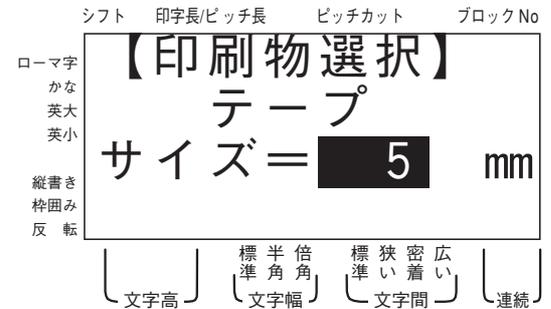


☆途中で印刷を中止したいときは、 を押ししてください。

- ②② チューブ印刷用に入力したデータを、(テープ印刷用)として利用する場合には、**シフト** + **印刷物取消**を押します。

- ②③ 印刷物選択画面で**Ⓚ**または**Ⓛ**キーでテープを表示選択します。**Ⓜ**を押してサイズを選択し、**Ⓚ**または**Ⓛ**キーでテープ幅を選択します。**確定**を押します。

- ②④ チューブ印刷の時にピッチモードで印刷すると、テープ印刷の時もピッチ長の再設定画面が表示されます。ピッチ長を設定し**確定**を押します。



## 4-2 端子記名板用にテープ印刷する

### (ここがポイント)

- ・専用テープに印刷して端子記名板に貼り付けて使います。  
市販されている厚手の端子記名板への直接印刷はできません。
- ・使用できるインクリボンカセットは、LM-IR330Bのみです。
- ・使用できるテープカセットは、LM-TP312W（12mm幅・白）/TP309W（9mm幅・白）/TP305W（5mm幅・白）/TP309T（9mm幅・透明）/TP305T（5mm幅・透明）/TP312Y（12mm幅・黄）/TP309Y（9mm幅・黄）/TP305Y（5mm幅・黄）の8種類のみです。
- ・設定出来るピッチ長は、テープの時4mm～60mm、記名板の時は2.5mm～60mmです。

※LM-380T/PC・LM-380Tでは、専用の記名板に専用アタッチメントを使用して直接印字できます。

このサンプルを作ってみましょう



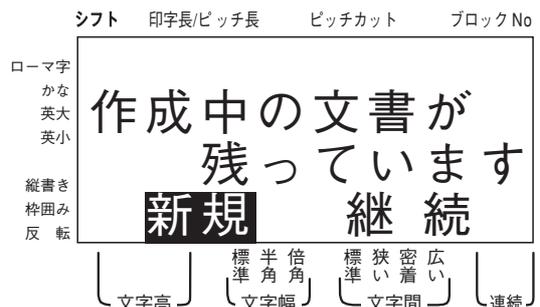
- ・使用するテープ：LM-TP312W（12mm幅）
- ・使用するインクリボンカセット：LM-IR330B
- ・ピッチ長 10mm

①インクリボンカセットとテープカセットをセットします。

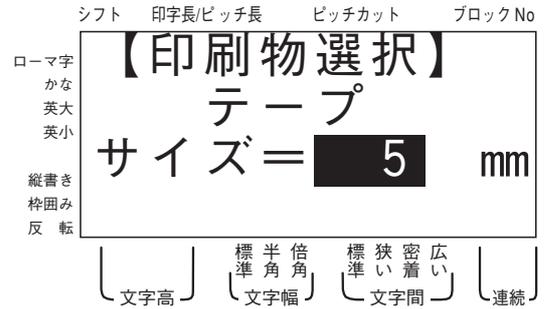
②本体の電源をONにします。

③ **K** を押して「新規」を選択し、 **確定** を押します。

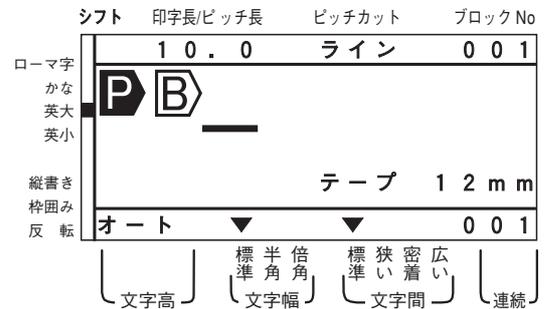
前に操作した時に入力した文書が無い場合は、この画面は表示されません。



- ④ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「テープ」を選択し、**Ⓟ** を押します。



- ⑤ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「12mm」を選択し、**確定** を押します。



- ⑥ 入力画面になります。[C] [O] [M] と入力し、**改ブロック** を押します。



**メモ**

- ☆「印刷物選択」画面では印刷物の種類とそのサイズを選択します。上段が印刷物の種類、下段がサイズです。
- ☆上段・下段の切り替えは、**Ⓜ** (または **Ⓟ**) を押します。
- ☆それぞれ、反転表示している状態で **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押すと次のように切り替わります。  
印刷物：MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板⇔MAXチューブ
- ☆サイズ：(テープが選択されている場合。選択されている印刷物によって表示されるサイズは異なります) 5⇔9⇔12⇔5
- ☆記名板はLM-380T/PC・LM-380Tのみで使用できます。

⑦第2ブロックは連番の入力です。まず、[X]と入力します。

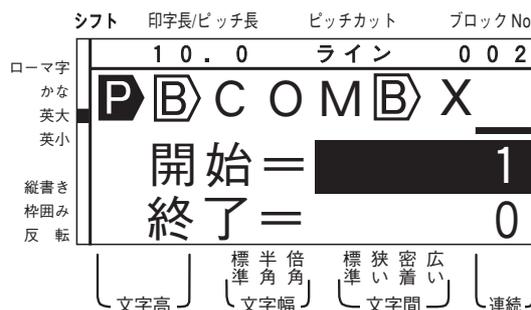


⑧続けて、を押します。

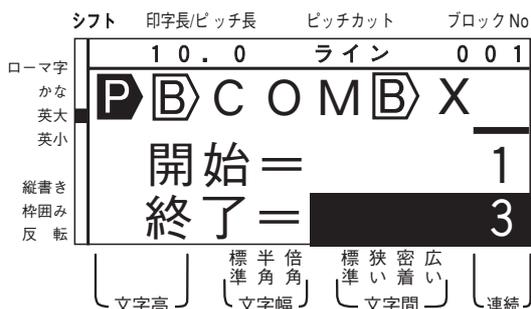


⑨「連番種類」は10進法で良いので  を押します。

⑩1～3までの連番なので、「開始」は[1]と入力し、を押します。



⑪「終了」は[3]と入力し、を押します。



⑫画面には連番設定を示す  が表示されます。を押します。



⑬次のブロックの入力です。[P] [1] と入力し、 を押します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
	10.0	ライン	004
ローマ字	B X N B P 1 B		
かな			
英大			
英小			
縦書き	テープ 12mm		
枠囲み	オート		
反転	▼	▼	001
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 広い 着い
	文字幅	文字間	連続

⑭同様に次のブロックを入力します。[Y] [1] と入力します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
	10.0	ライン	004
ローマ字	N B P 1 B Y 1		
かな			
英大			
英小			
縦書き	テープ 12mm		
枠囲み	オート		
反転	▼	▼	001
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 広い 着い
	文字幅	文字間	連続

⑮以上で入力は終了です。印刷してみましょう。

 を押します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
ローマ字	【印刷範囲】		
かな	部数： 1		
英大	開始： 1		
英小	終了： 4		
縦書き			
枠囲み			
反転			
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 広い 着い
	文字幅	文字間	連続

⑯入力したブロックすべてを印刷するので  を押します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
ローマ字	【印刷全長】		
かな	60.0mm		
英大	全長補正 =		
英小	0mm		
縦書き			
枠囲み			
反転			
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 広い 着い
	文字幅	文字間	連続

⑰そのまま  を押します。印刷を開始します。

⑱印刷が終了したらカッタボタン  を押し、テープをカットします。

**参照**

- ☆ 「2-6 用語の説明」 23ページ
- ☆ 「7-11 印刷する」 107ページ

**メモ**

- ☆ 「印刷範囲」で表示される部数は、同じものを指定された部数で印刷します。
- ☆ 「印刷範囲」で表示される開始・終了番号は入力したブロック番号です。初期値は入力中の最終ブロックまでとなっています。
- ☆ 「印刷全長」画面では全体の印刷長さと、補正したい場合の補正值が表示されます。

## 4-3 デバイスラベル用にテープ印刷する

### (ここがポイント)

- ・専用テープに印刷します。
- ・使用できるインクリボンカセットは、LM-IR330B（黒）のみです。
- ・使用できるテープカセットは、LM-TP312W（12mm幅・白）/TP309W（9mm幅・白）/TP305W（5mm幅・白）/TP309T（9mm幅・透明）/TP305T（5mm幅・透明）/TP312Y（12mm幅・黄）/TP309Y（9mm幅・黄）/TP305Y（5mm幅・黄）の8種類のみです。
- ・設定できるピッチ長は最小4mm～最長60mm（0.1mm単位）です。

このサンプルを作ってみましょう

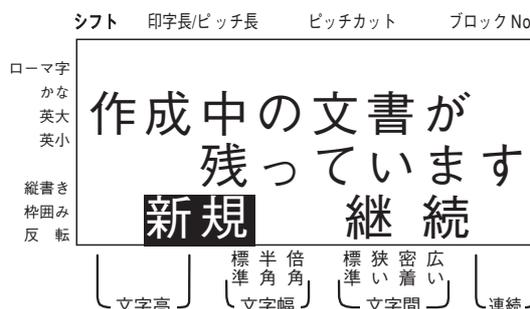
	R1 (A321)	R2 (A321)	R3 (A321)	S1 (A321)	S2 (A321)	
--	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--

- ・使用するテープ：LM-TP312W（12mm幅・白）
- ・使用するインクリボンカセット：LM-IR330B（黒）
- ・ピッチ長 30mm

①インクリボンカセットとテープカセットをセットします。

②本体の電源をONにします。

③ （または ）を押して「新規」を選択し、を押します。



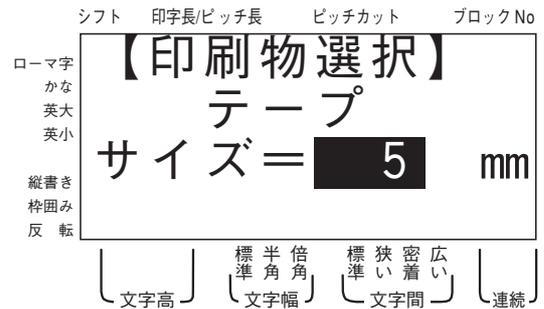
- ☆「3-1 インクリボンカセットのセットのしかた」26ページ
- 「3-3 テープカセットのセットのしかた」31ページ



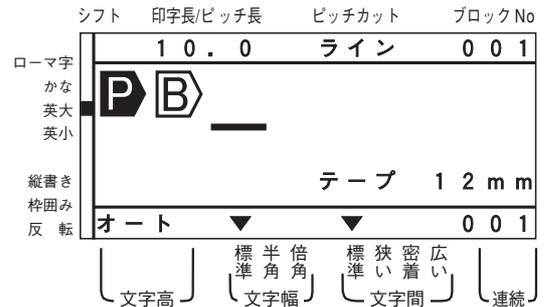
☆前に操作した時に入力した文書が無い場合は、③の画面は表示されません。

④画面が「印刷物選択」に変わります。

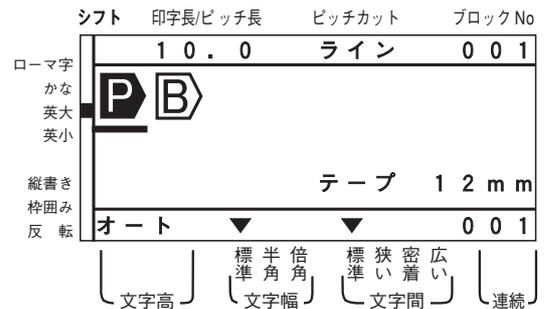
⏪ (または ⏩) を押して「テープ」を選択し、⏴ を押します。



⑤ ⏪ (または ⏩) を押して「12mm」を選択し、**確定** を押します。



⑥ ⏪ を押して、先頭の **P** にカーソルをあわせます。



⑦ **ピッチ長** を押します。[3][0] と押して、「30mm」と表示されているのを確認し、**確定** を押します。

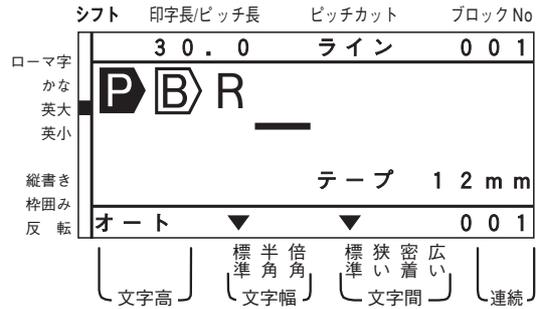
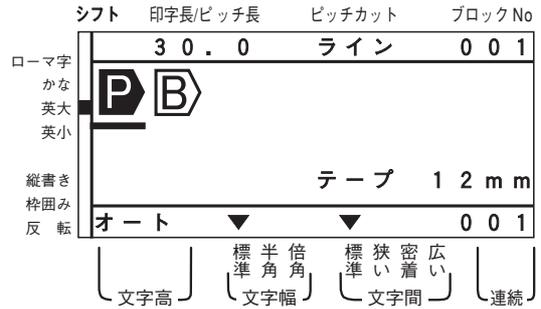


第4章 デバイスラベル用にテープ印刷する

**メモ**

- ☆「印刷物選択」画面では印刷物の種類とそのサイズを選択します。上段が印刷物の種類、下段がサイズです。
- ☆上段・下段の切り替えは、⏶ (または ⏷) を押します。
- ☆それぞれ、反転表示している状態で ⏪ (または ⏩) を押すと次のように切り替わります。  
印刷物：MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板⇔MAXチューブ
- サイズ：(テープが選択されている場合。選択されている印刷物によって表示されるサイズは異なります) 5⇔9⇔12⇔5
- ☆記名板はLM-380T/PC・LM-380Tのみで使用できます。

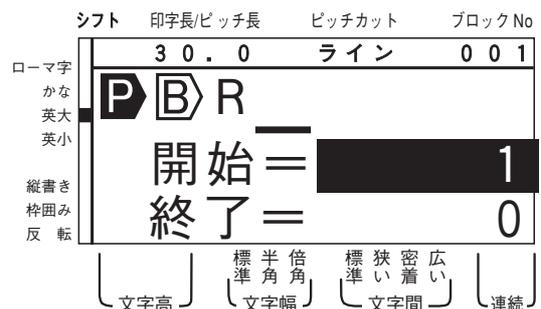
⑧入力画面になります。Ⓜを押してBの直後にカーソルを移動し[R]と入力します。



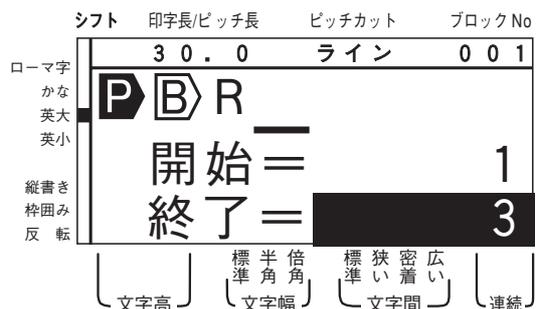
⑨続けて、連番を押します。



⑩「連番種類」は10進数を選択し、確定を押します。

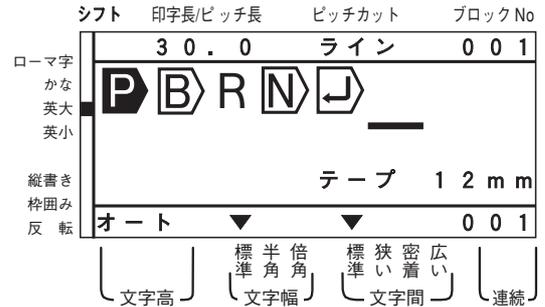


⑪ 1～3 までの連番なので、「開始」は [1] と入力し、Ⓜを押します。



⑫「終了」は [3] と入力し、確定を押します。

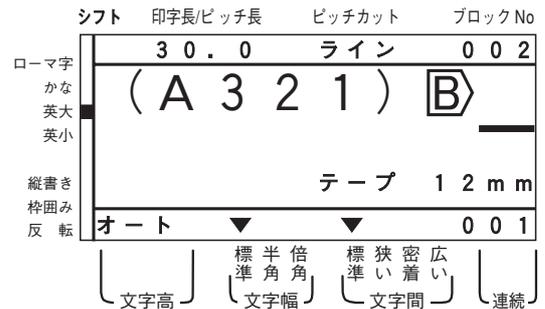
⑬画面には連番設定を示す **N** が表示されま  
す。 **改行** を押します。



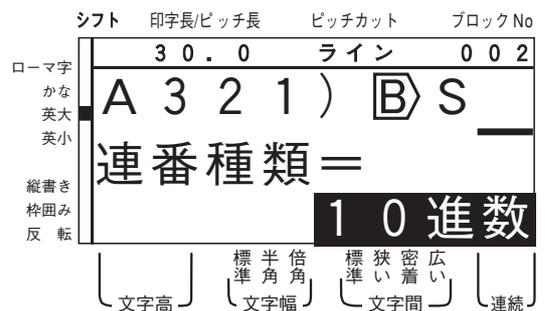
⑭ [( ) [A] [3] [2] [1] [ ) ] と2行目を  
入力し、 **改ブロック** を押します。

「(」は **シフト** を押してから **Z** ( ) を押します。

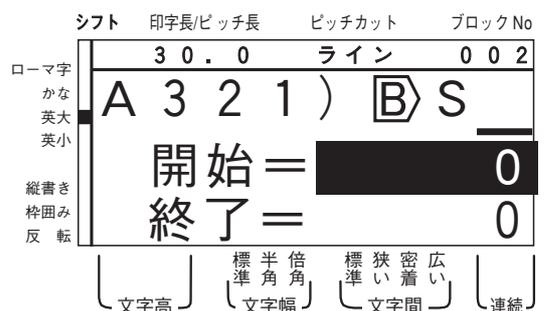
「)」は **シフト** を押してから **X** ( ) を押します。



⑮次のブロックの入力です。同様に [S] と入  
力し、 **連番** を押します。

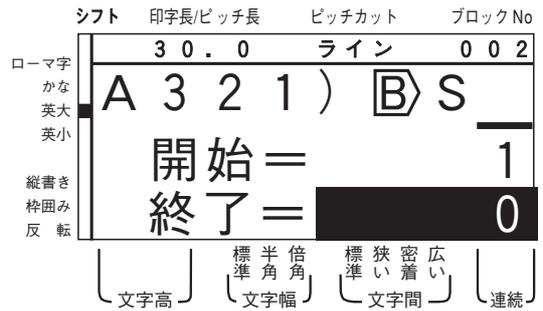


⑯「連番種類」は10進数を選択し、 **確定**  
を押します。

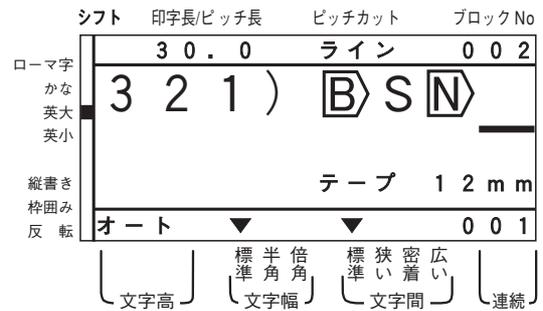
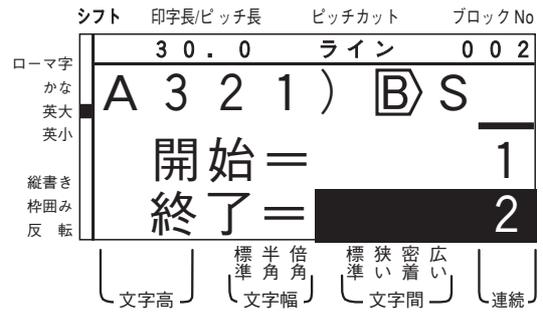


☆改行しての複数行印字は、チューブ印字においても設定できます。但し、チューブ径と文字サイズにより印字できない場合もあります。

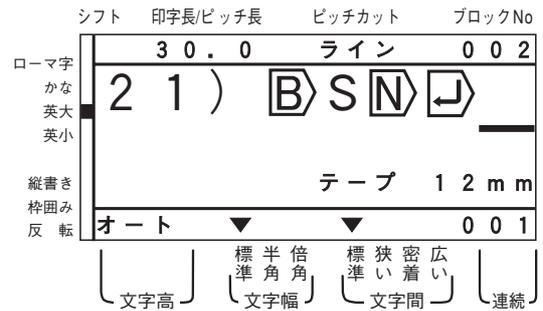
- ⑰ 1～3 までの連番なので、「開始」は [ 1 ] と入力し、 を押します。



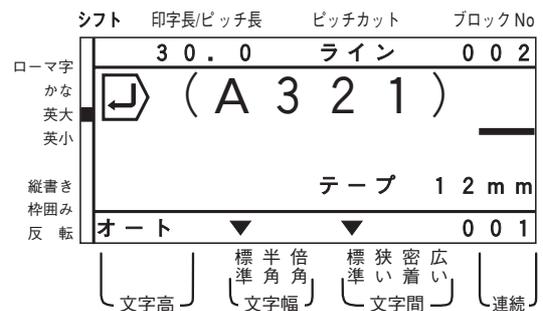
- ⑱ 「終了」は [ 2 ] と入力し、 を押します。



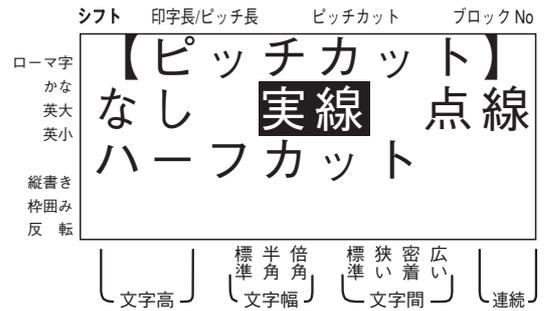
- ⑲ 画面には連番設定を示す  が表示されます。 を押します。



- ⑳ [( ) [A] [3] [2] [1] [ ) ] と 2 行目を 入力します。



- ⑳ 最後にブロック毎に-halfカットを入れる設定をします。 キーを押してから   キーを押します。



- ㉑ 「ピッチカット」設定画面で、 キーを押して「halfカット」を選択します。

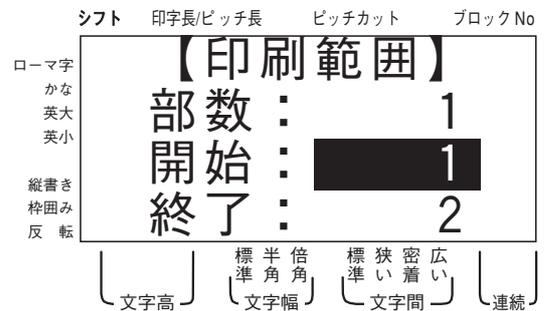


- ㉒  キーを押し、ピッチカットの設定を終了します。

- ㉓ 以上で入力は終了です。

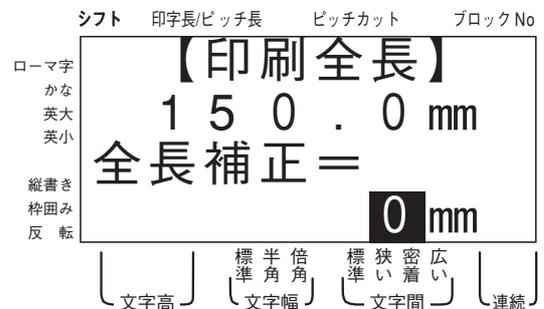
- ㉔ 印刷してみましょう。

を押します。



- ㉕ 入力したブロックすべてを印刷するので

を押します。



☆「印刷範囲」で表示される部数は、入力されたブロック順番をそのままにグループとして指定された部数印刷する機能です。

⑳続けて  を押します。印刷を開始します。

㉑印刷が終了したらカッタボタン  を押し、テープをカットします。



- ☆「2-6 用語の説明」23ページ
- ☆「7-11 印刷をする」107ページ



- ☆「印刷範囲」で表示される開始・終了番号は入力したブロック番号です。初期値は入力中の最終ブロックまでとなっています。
- ☆「印刷全長」画面では全体の印刷長さ、補正したい場合の補正值が表示されます。

## 4-4 社名ラベルをテープ印刷する（ピッチ印刷しない場合）

### （ここがポイント）

- ・専用テープに印刷します。
- ・使用できるインクリボンカセットは、LM-IR320B（黒）のみです。
- ・使用できるテープカセットは、LM-TP312W（12mm幅・白）/TP309W（9mm幅・白）/TP305W（5mm幅・白）/TP309T（9mm幅・透明）/TP305T（5mm幅・透明）/TP312Y（12mm幅・黄）/TP309Y（9mm幅・黄）/TP305Y（5mm幅・黄）/の8種類のみです。

（このサンプルを作ってみましょう）



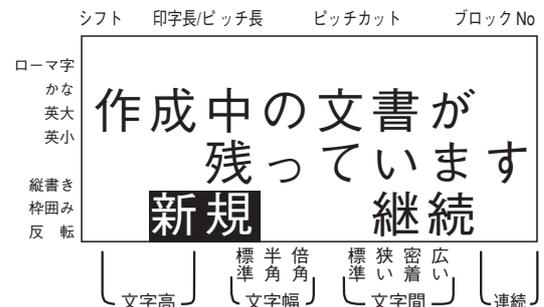
- ・使用するテープ：LM-TP312W（12mm幅・白）
- ・使用するインクリボンカセット：LM-IR330B（黒）

①インクリボンカセットとテープカセットをセットします。

②本体の電源をONにします。

③ を押して「新規」を選択し、

を押します。

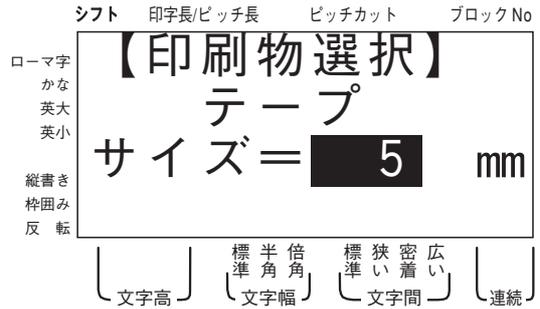


☆「3-1 インクリボンカセットのセット」26ページ、「3-3 テープカセットのセット」31ページ

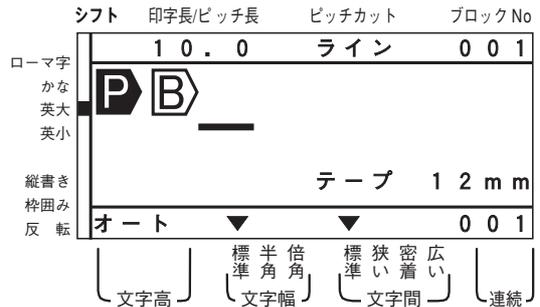


☆前に操作した時に入力した文書が無い場合は、上記③の画面は表示されません。

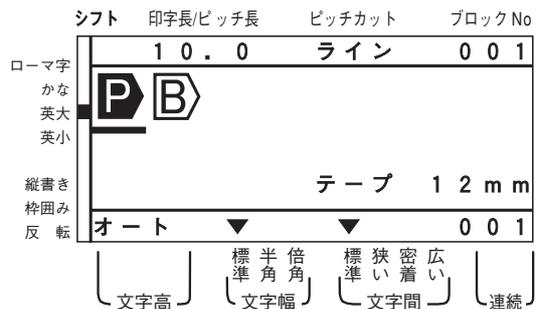
- ④ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「テープ」を選択し、**Ⓟ** を押します。



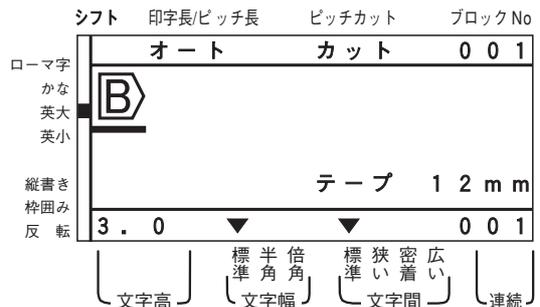
- ⑤ **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押して「12mm」を選択し、**確定** を押します。



- ⑥ 入力画面になります。**Ⓚ** を押して先頭の **P** にカーソルを合わせます。



- ⑦ **削除** を押します。



- ☆「印刷物選択」画面では印刷物の種類とそのサイズを選択します。上段が印刷物の種類、下段がサイズです。
- ☆上段・下段の切り替えは、**Ⓢ** (または **Ⓟ**) を押します。
- ☆それぞれ、反転表示している状態で **Ⓚ** (または **Ⓜ**) を押すと次のように切り替わります。
  - 印刷物：MAXチューブ⇔非塩ビチューブ⇔一般チューブ⇔収縮チューブ⇔テープ⇔記名板⇔MAXチューブ
  - サイズ：(テープが選択されている場合。選択されている印刷物によって表示されるサイズは異なります) 5⇔9⇔12⇔5
- ☆記名板はLM-380T/PC・LM-380Tのみで使用できます。

⑧  を押して **B** の直後にカーソルを移動します。

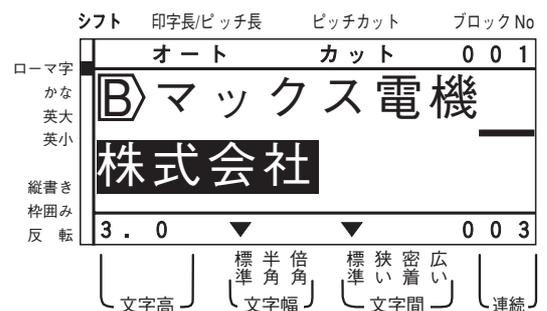
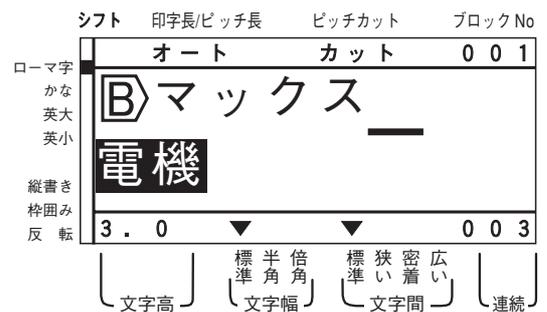
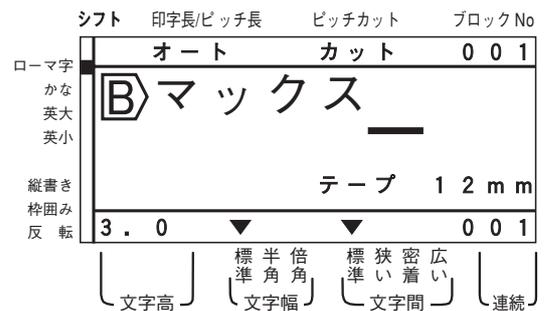
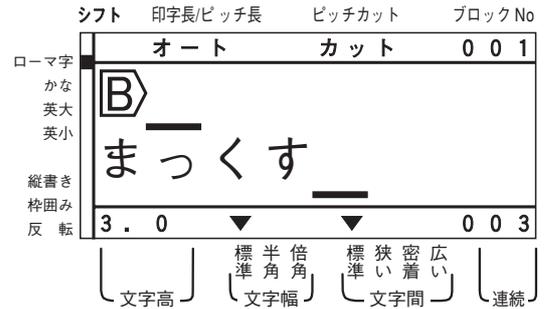
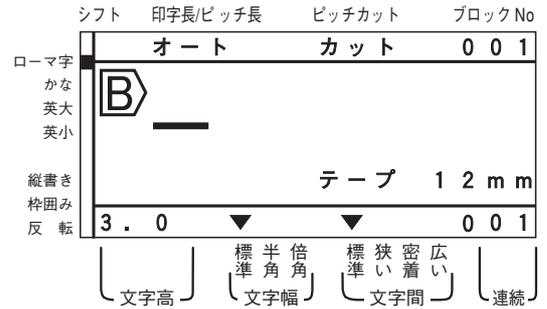
⑨  を押して、入力モードインジケータをローマ字にあわせませす。

⑩ 「まっくす」と入力し、 を押してカタカナに変換し、 を押します。

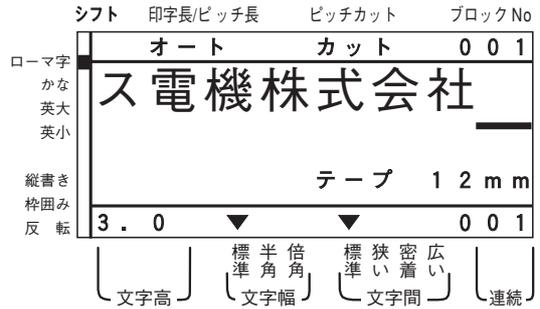
⑪ 「でんき」と入力し、 を数回押して「電機」にします。

⑫  を押します。

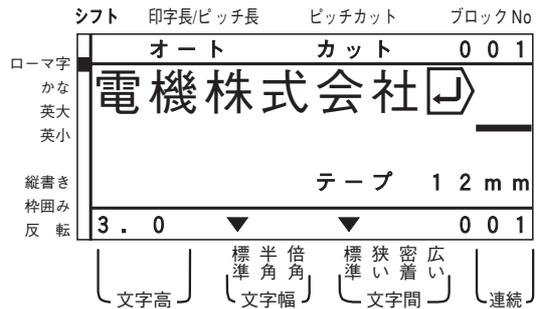
⑬ 「かぶしきがいしゃ」と入力し、 を押します。



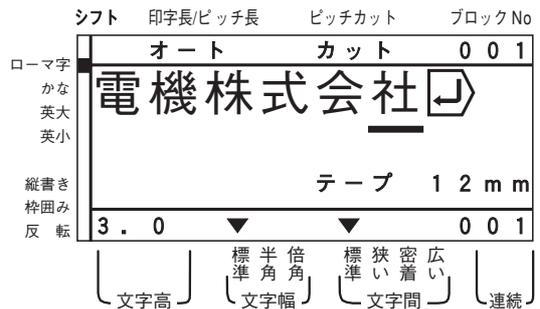
- ⑭ 「株式会社」に変換されたら、**確定** を押します。



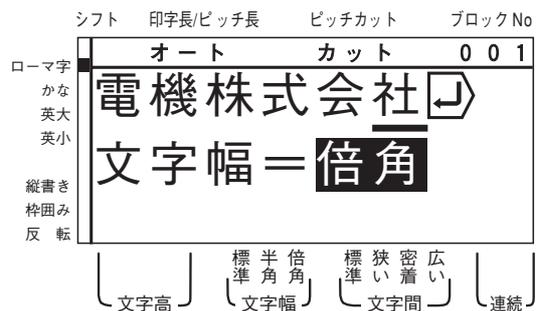
- ⑮ **改行** を押します。



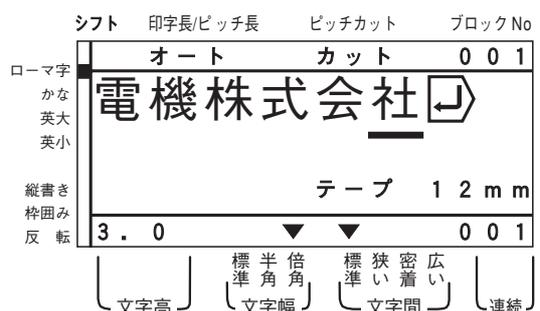
- ⑯ **K** を押して **↵** の前にカーソルを移動し **文字幅** を押します。



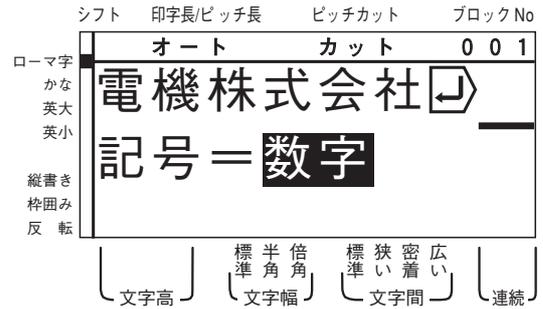
- ⑰ **K** (または **ⓧ**) を押して「倍角」を選択し **確定** を押します。



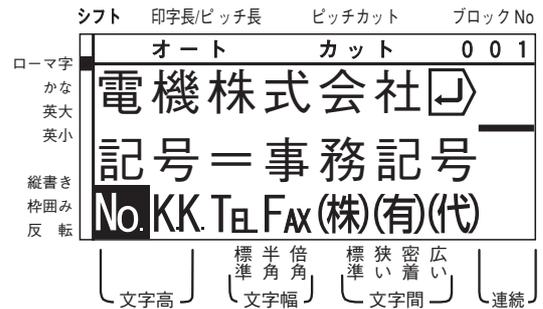
- ⑱ 画面下部の文字幅インジケータが倍角になります。



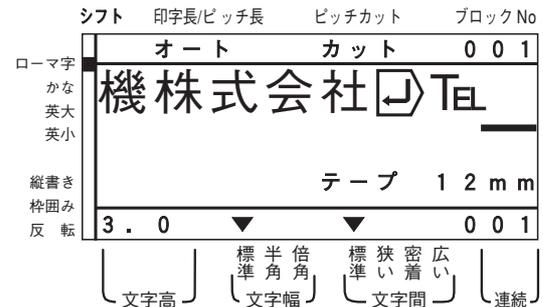
- ⑱ を押して の後ろにカーソルを移動します。  を押してから  を押します。



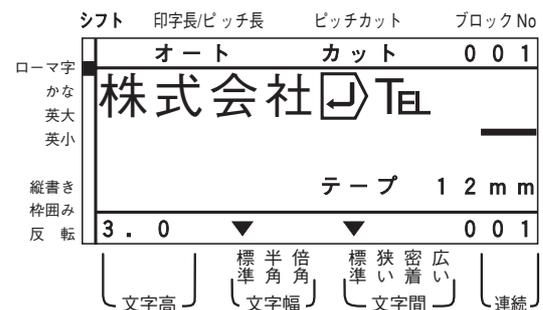
- ⑳ (または ) を押して「事務記号」を選択し、  を押します。



- ㉑ (または ) を押して「TEL」を選択し、  を押します。



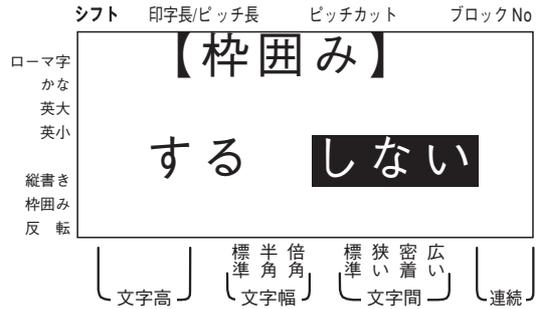
- ㉒ 1文字あけるので  を押します。



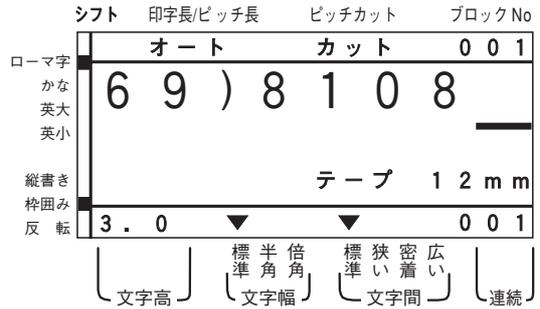
- ㉓ [0] [3] [( )] [3] [6] [6] [9] [ ]]  
[8] [1] [0] [8] と入力し、  
 を押します。



②④ 枠囲みを設定するので、 を押して  
から  を押します。



②⑤  を押して、「する」を選択し  を  
押します。



②⑥ 以上で入力は終了です。印刷してみましょう。

を押します。

②⑦ 印刷が終了したらカタボタン  を押し、テープをカットします。



☆「7-11 印刷する」107ページ



☆数字入力の時、入力モードを英大または英小にして入力しても結構です。この場合、長音は短いハイフンになります。また、直接確定入力となるので  を押す必要はありません。

## 第 5 章

# 文字や記号を入力する

---

5-1	英数字入力のしかた	60
5-2	ローマ字入力のしかた	62
5-3	かな入力のしかた (かなめくり方式)	63
5-4	漢字変換のしかた (熟語変換)	65
5-5	単漢字変換のしかた	67
5-6	カタカナ変換のしかた	69
5-7	JISコード入力のしかた	71
5-8	記号入力のしかた	73

# 第5章 文字や記号を入力する

## 5-1 英数字入力のしかた

アルファベット、数字を入力します。

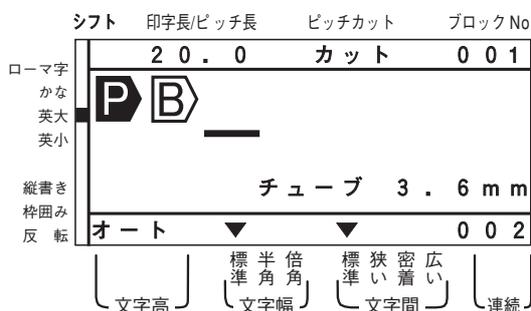
を押すと、画面左の入カインジケータが次のように切り替わります。

英大→英小→ローマ字→かな→英大・・・

「英大」が選ばれているときは、押したアルファベット・キーの大文字が入力されます。  
 「英小」が選ばれているときは、押したアルファベット・キーの小文字が入力されます。

例1. 「SW」と入力してみます。

①  を数回押して、入カインジケータを「英大」にします。



② [S] [W] と入力します。確定画面に直接文字が入力されます。



☆電源をONにした時の初期値は「英大」です。

例2. 「Sw-1」と入力してみます。

①  を数回押して、入力インジケータを「英大」にします。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
	2 0 . 0	カット	0 0 1
ローマ字 かな 英大 英小	<b>P</b> <b>B</b>		
縦書き 枠囲み 反 転		チューブ 3 . 6 m m	
	オート	▼ ▼	0 0 2
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 角角 広い
		文字幅	文字間
			連続

② [S] を入力します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
	2 0 . 0	カット	0 0 1
ローマ字 かな 英大 英小	<b>P</b> <b>B</b> S		
縦書き 枠囲み 反 転		チューブ 3 . 6 m m	
	オート	▼ ▼	0 0 2
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 角角 広い
		文字幅	文字間
			連続

③  を1回押して、入力インジケータを「英小」にします。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
	2 0 . 0	カット	0 0 1
ローマ字 かな 英大 英小	<b>P</b> <b>B</b> S		
縦書き 枠囲み 反 転		チューブ 3 . 6 m m	
	オート	▼ ▼	0 0 2
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 角角 広い
		文字幅	文字間
			連続

④続けて [w] [長音] [1] と入力します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
	2 0 . 0	カット	0 0 1
ローマ字 かな 英大 英小	<b>P</b> <b>B</b> S w - 1		
縦書き 枠囲み 反 転		チューブ 3 . 6 m m	
	オート	▼ ▼	0 0 2
	文字高	標準 半倍 角角	標準 狭密 角角 広い
		文字幅	文字間
			連続

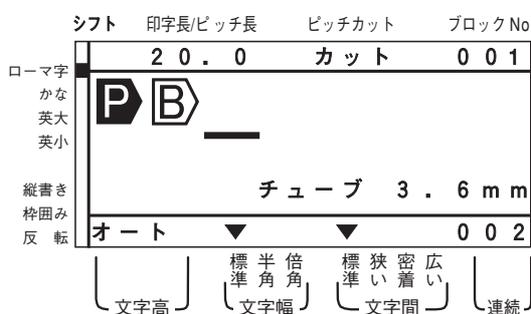
## 5-2 ローマ字入力のかた

アルファベット・キーを使って、ローマ字でひらがなを入力します。

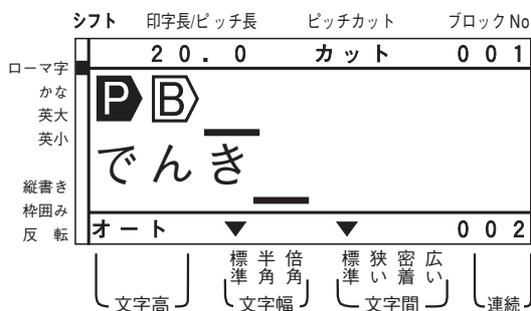
を押すと、画面左の入カインジケータが次のように切り替わります。  
英大→英小→ローマ字→かな→英大・・・

例. 「でんき」と入力してみます。

- ①  を数回押して、入カインジケータを「ローマ字」にします。



- ② [D] [E] [N] [N] [K] [I] と入力します。



- ③よみ候補表示エリアに「でんき」と表示されます。

- ④  を押します。確定画面に文字が入力されます。



☆ 「5-4 漢字変換のかた」65ページ

☆  や  で1文字ずつ入力した文字を削除できます。「6 入力した文字を消去する、設定を初期化する」76ページ

### 5-3 かな入力のしかた（かなめくり方式）

かなめくりキーを使って、ひらがなを入力します。

を押すと、画面左の入力インジケータが次のように切り替わります。  
英大→英小→ローマ字→かな→英大・・・

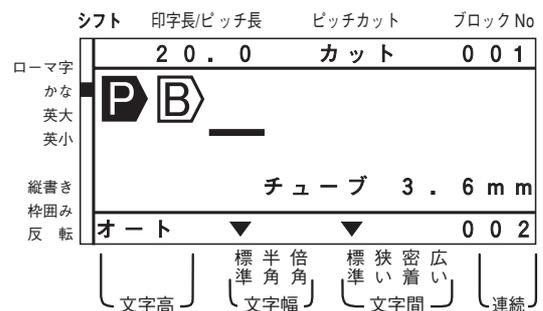
各キーに入っている文字は次の通りです。

（かな入力規則表）

あ行	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→あ
か行	か→き→く→け→こ→カ→ケ→か
さ行	さ→し→す→せ→そ→さ
た行	た→ち→つ→て→と→っ→た
な行	な→に→ぬ→ね→の→な
は行	は→ひ→ふ→へ→ほ→は
ま行	ま→み→む→め→も→ま
や行	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ→や
ら行	ら→り→る→れ→ろ→ら
わ行ん	わ→を→ん→ゐ→ゑ→ヴ→わ→わ
が行	が→ぎ→ぐ→げ→ご→が
ざ行	ざ→じ→ず→ぜ→ぞ→ざ
だ行	だ→ぢ→づ→で→ど→だ
ば行	ば→び→ぶ→べ→ぼ→ば
ぱ行	ぱ→ぴ→ぷ→ぺ→ぽ→ぱ

例1. 「でんき」と入力してみます。

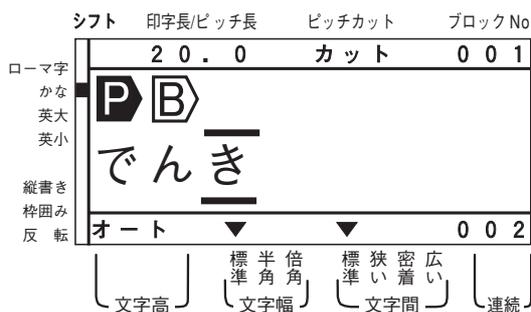
- ①  を数回押して、入力インジケータを「かな」にします。



② [だ行] を4回、[[わ行ん] を3回、[か行] を2回押します。

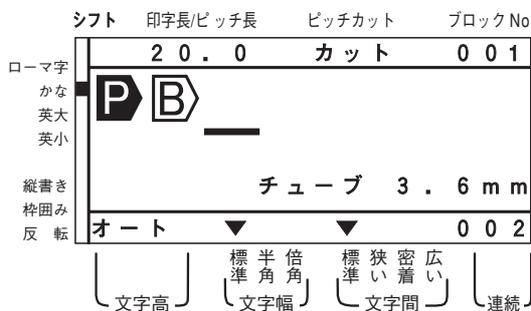
③よみ候補表示エリアに「でんき」と表示されます。

④ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。



例2. 「タッチ」と入力してみます。

① **入力** を数回押して、入力インジケータを「かな」にします。

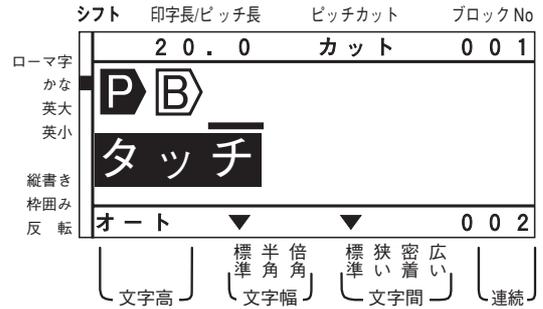


② [た行] を1回、**↘** を1回、[た行] を6回、**↘** を1回、[た行] を2回押します。

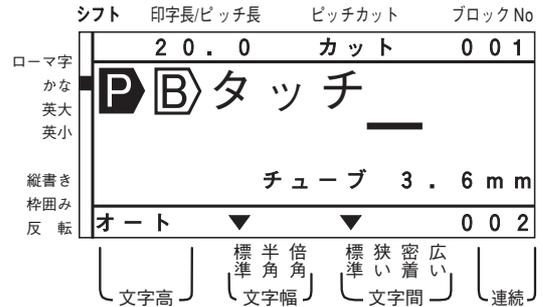
③よみ表示エリアに「たち」と表示されます。



- ④  を押します。よみ候補が「タッチ」に変わります。



- ⑤  を押します。確定画面に文字が入力されます。

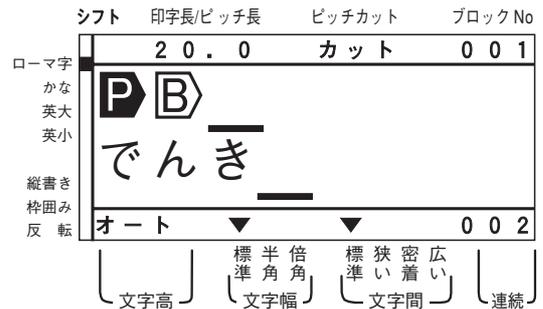


## 5-4 漢字変換のしかた（熟語変換）

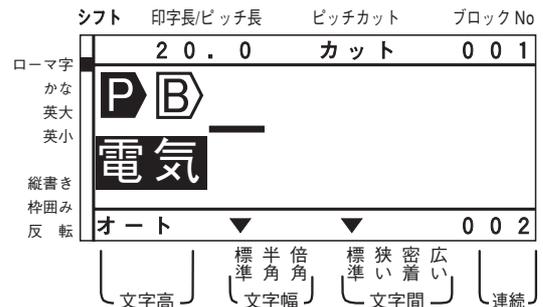
ローマ字入力やかな入力を入力した「よみ」を漢字に変換します。

例. 「電機」と入力してみます。

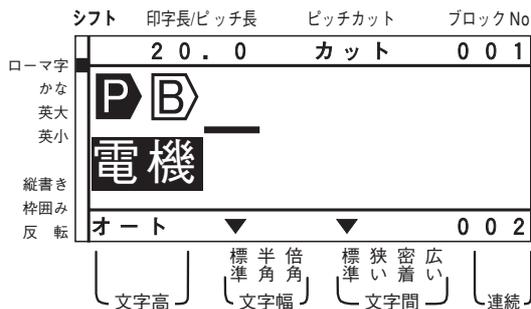
- ① 「でんき」とよみ表示エリアに入力します。



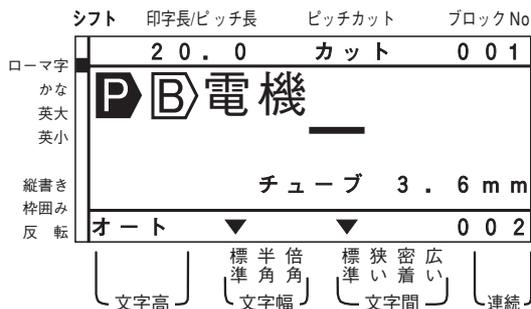
- ②  を押します。



③もう3回 **変換** を押します。



④ **確定** を押します。確定画面に文字が入力されます。



(熟語変換でのキーの役割)

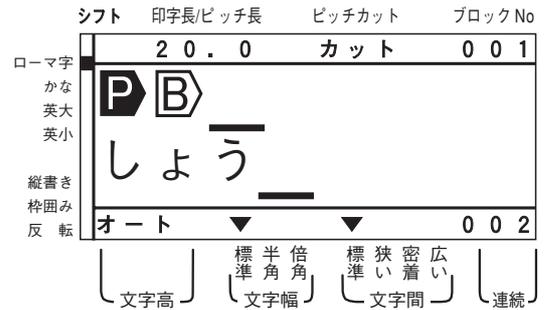
キー	役割
<b>変換</b>	よみを漢字に熟語変換します。(最長一致方式)
<b>取消</b>	漢字変換を中止します。変換前の場合はよみ入力をクリアします。
⏴	次の変換候補を表示します。
⏵	1つ前の変換候補を表示します。
⏪ (⏩)	変換するよみの範囲を短く (長く) します。

## 5-5 単漢字変換のしかた

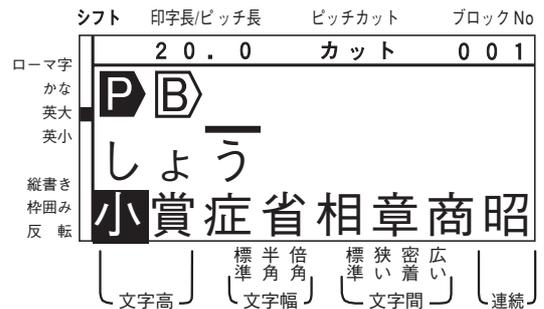
熟語変換で入力したい漢字にうまく変換できない場合は、よみを入力し  を押してから  を押すと漢字の候補を一覧表示します。

例. 「生」と入力してみます。

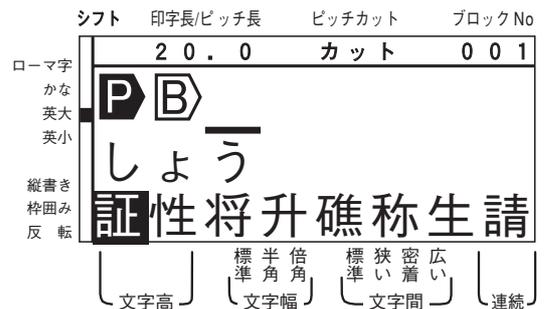
① 「しょう」とよみ表示エリアに入力します。



②  を押してから  を押します。

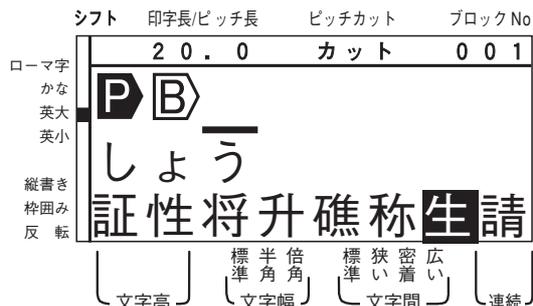


③  を押します。次々に候補が表示されます。

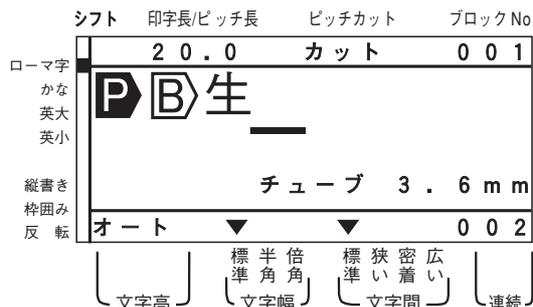


- ☆単漢字変換する場合は、漢字のよみを「音読み」で入力します。
- ☆単漢字変換では、よみに該当する漢字が無い場合はよみのみを表示します。

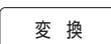
- ④  (または ) を押して、変換候補の「生」の位置にカーソルを移動させます。



- ⑤  を押して、「生」を確定させます。確定画面に文字が入力されます。



(単漢字変換でのキーの役割)

キー	役割
 → 	よみを単漢字変換で漢字に変換します。
	変換中の場合は、変換を中止しよみ入力状態に戻します。 読み入力状態の場合は、よみ入力をクリアします。
 (  )	変換候補のカーソルが移動します。
	次の変換候補群を表示します。
	1つ前の変換候補群を表示します。



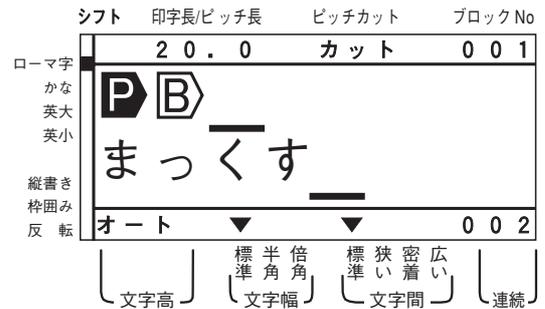
☆よみがわからない場合は、「5-7 JISコード入力のしかた」71ページを参照してください。

## 5-6 カタカナ変換のしかた

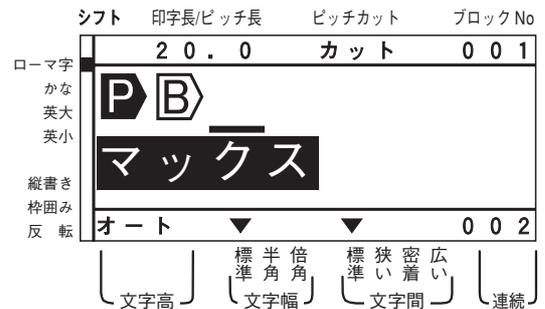
ローマ字入力やかな入力を入力した「よみ」をカタカナに変換します。

例1. 「マックス」と入力してみます。

① 「まっくす」とよみ表示エリアに入力します。



②  を押します。

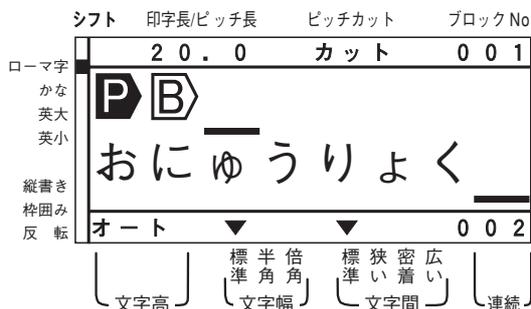


③  を押します。確定画面に文字が入力されます。



例2. 「ビデオ入力」と入力してみます。

- ① 「びでおにゅうりょく」とよみ表示エリアに入ります。



- ②  を押します。



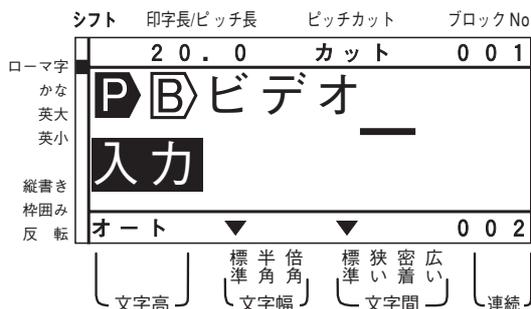
- ③  を押して「ビデオ」だけを反転表示にします。



- ④  を押します。「ビデオ」だけが確定画面に入力されます。



- ⑤  を押し「にゅうりょく」が漢字「入力」に変換され表示されます。



⑤ **確定** を押します。



(カタカナ変換でのキーの役割)

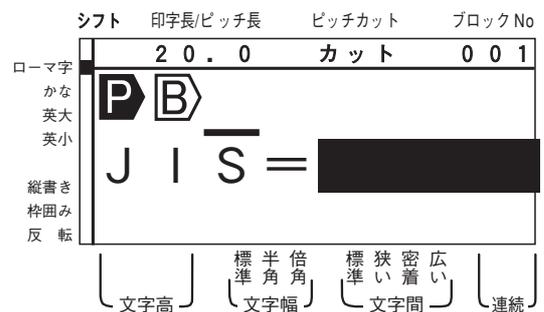
キー	役割
<b>入力</b>	よみをカタカナに変換します。
<b>取消</b>	よみ入力をクリアします。
<b>Ⓚ (Ⓚ)</b>	変換するよみの範囲を短く (長く) します。

## 5-7 JISコード入力のしかた

よみがわからない漢字や記号などは本書巻末の「JISコード一覧表」を参照してJISコードによる入力ができます。

例. 「祥」と入力してみます。

① **シフト** を押してから **漢JIS 語句** を押します。

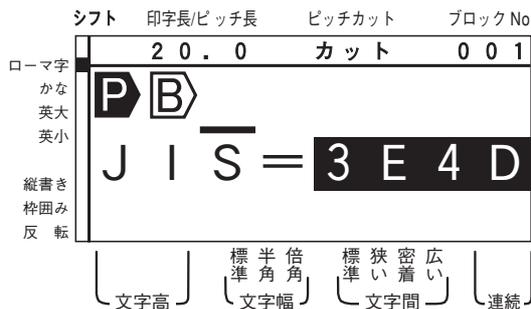


JISコード一覧表の見方  
 ※「祥」の場合、「3E4」+「D」となり、  
 [3] [E] [4] [D] と入力します。

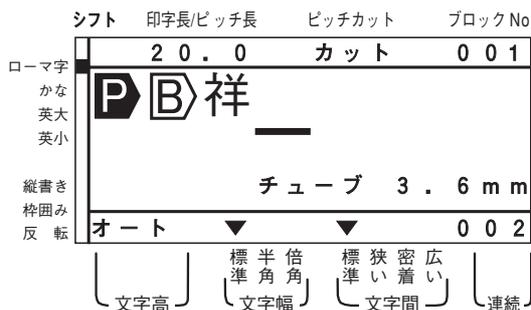
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
	3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	3D40	柔	汁	泐	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	隣	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	語	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	娑	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
(シ)	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	蒿	蔣	蕉	衝	蒙	訟	証	詔	詳	象	賞	醬

第5章 カタカナ変換のしかた / JISコード入力のしかた

②本書巻末の「JISコード一覧表」に従って  
[3] [E] [4] [D] と入力します。



③ **確定** を押します。確定画面に文字が入力  
されます。



(JISコード入力でのキーの役割)

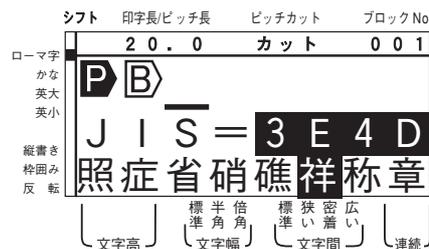
キー	役割
シフト → 語句	JISコード入力モードにします。
取消	JISコード入力を中止し入力画面に戻ります。
BS	入力中のコードの末尾1桁を削除します。
削除	入力中のコードをクリアします。
変換	JISコード入力モードの場合、該当コードを含んだ候補一覧を表示します。



☆手順②で **変換** を押すと入力したJISコードの文字とその前後のJISコード文字が一覧で表示されます。⏪ または ⏩ で選択して **確定** を押すと入力できます。

☆また、手順②で「3E4」まで入力し **変換** を押すと「3E40」を先頭に8文字の候補をJISコード順に表示します。

☆候補漢字が歯抜け状態が表示される場合がありますが、これはその部分のコードに該当する文字が無いことを示しています。

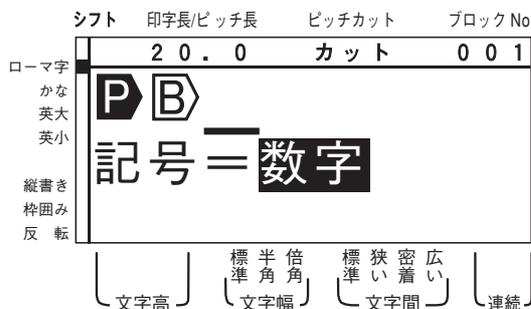


## 5-8 記号入力のかた

記号を入力します。

例. 「cm」と入力してみます。

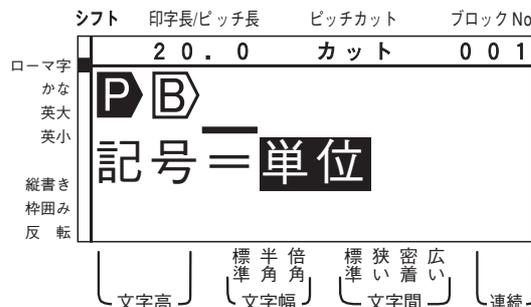
- ①  を押してから  を押します。



- ②  (または ) を押して「単位」を表示します。

記号グループ名は次の通り切り替わります。

数字⇄英字丸囲み⇄単位⇄事務記号⇄上付文字⇄下付文字⇄電設①⇄電設②⇄電設③⇄筆記体⇄ギリシャ文字⇄数字…



- ③  を押して入力する記号グループを選択します。



- ④記号一覧が最下段に表示されます。 (または ) を押して「cm」を反転表示します。



- ⑤ **確定** を押します。確定画面に「cm」が入力されます。



(記号入力でのキーの役割)

キー	役割
シフト → 連番	記号入力モードにします。
取消	記号入力を中止し入力画面に戻ります。
削除	記号グループの選択画面（手順②）で押すと工場出荷時のグループが表示されます。
シフト → L #	キートップの右下の記号を入力します。（例では#を入力） 



☆「記号類一覧表」180ページ



☆選択したグループは電源をOFFにするまで記憶されます。次に記号を呼び出すときには、前回入力したグループが始めに表示されます。

## 第 6 章

# 入力した文字を消去する、 設定を初期化する

---

6-1	削除キーの使いかた	76
6-2	BSキーの使いかた	76
6-3	全文削除キーの使いかた	77
6-4	設定初期化キーの使いかた	78
6-5	取消キーの使いかた	79
6-6	入力した文書の複写・貼付	79

## 第6章 入力した文字を消去する、設定を初期化する

### 6-1 削除キーの使いかた

(使うキー) 

(入力画面での機能)

- ・カーソル位置の文字を1文字ずつ削除します。
- ・**B** (ブロックマーク) にカーソルがある場合は、そのブロックを削除します。
- ・**N** (連番マーク) にカーソルがある場合は、その連番マークを削除します。(連番設定も消去されます。)
- ・**J** (改行マーク) にカーソルがある場合は、その改行マークを削除し、行の連結を行ないません。
- ・**P** (ピッチマーク) にカーソルがある場合は、そのピッチマークを削除します。

※2つ以上の**P**がある場合は、先頭の**P**は削除できません。

※先頭の**P**を削除するとピッチ印刷が解除されます。

(その他の画面での機能)

- ・選択項目がある機能設定画面では、選択値を初期化します。

### 6-2 BSキーの使いかた

(使うキー) 

(入力画面での機能)

- ・カーソル位置の直前の文字を1文字ずつ削除します。
- ・**B** (ブロックマーク) の直後にカーソルがある場合は、そのブロックを削除します。
- ・**N** (連番マーク) の直後にカーソルがある場合は、その連番マークを削除します。(連番設定も消去されます。)
- ・**J** (改行マーク) の直後にカーソルがある場合は、その改行マークを削除し、行の連結を行ないません。
- ・**P** (ピッチマーク) の直後にカーソルがある場合は、そのピッチマークを削除します。

※2つ以上の**P**がある場合は、先頭の**P**は削除できません。

※先頭の**P**を削除するとピッチ印刷が解除されます。

(その他の画面での機能)

- ・数値入力する機能設定画面では、入力した数値の末尾1桁を削除します。

## 6-3 全文削除キーの使いかた

(使うキー)  を押してから

(入力画面での機能)

・入力中の文書を全文削除します。

※先頭の **P** 以外の **P** も削除されます。

※先頭ブロックの設定値は削除前そのまま残ります。

(その他の画面での機能)    ありません。

## 6-4 設定初期化キーの使いかた

(使うキー) シフト を押してから BS

(入力画面での機能)

- ・設定値を初期化します。

※入力中の文書がある場合は無効となります。全文削除後に再度操作してください。

※初期化される設定値と初期化されない設定値は下表の通りです。

初期化される設定		初期化されない設定	
設 定	デフォルト値	設 定	デフォルト値
文字高さ	オート	印刷物設定	MAXチューブ
文字幅	標準	印刷物サイズ	3.2mm
文字間	標準	6.9印字	下線
行間	標準	印字濃度	標準 (設定値5)
ピッチ長 ※オプションの ピッチ長初期 値で設定され た値	(工場出荷時)	カット位置	0.0mm
	10.0mm (テープ)	印刷長補正	0mm
	10.0mm (記名板)	表示濃度	4
	20.0mm (チューブ)	オートオフ	する
ピッチカット	実線 (テープ、記名板)	低温モード	しない
	ハーフカット (チューブ)	上下印字位置	0
縦・横設定	横書	連番印刷順序	連続優先
枠囲み	しない	先頭空送り	する
印字長	オート	英数書体	標準
左右余白	各2mm	ヒーター	しない
連続 ※オプションの 連続初期値で 設定された値	(工場出荷時)	ピッチ長	設定値
	1回 (テープ)	連続初期値	設定値
2回 (チューブ)			
連番	設定なし		
文字配置	中央		



☆記名板はLM-380T/PC・LM-380Tのみで使用できます。

## 6-5 取消キーの使いかた

(使うキー)



(入力画面での機能)

- ・漢字変換中で、変換対象が反転しているときは反転を解除します。
- ・漢字変換中で、よみだけが入力されている場合は、よみをクリアします。

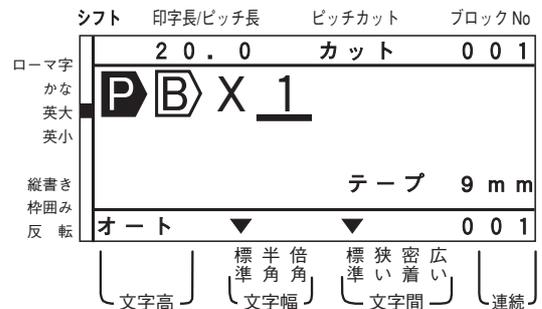
(その他の画面での機能)

- ・印刷画面では、設定を中止し入力画面に戻ります。
- ・印刷中は、印刷を中止します。
- ・機能設定画面では、設定を取り消して入力画面に戻ります。

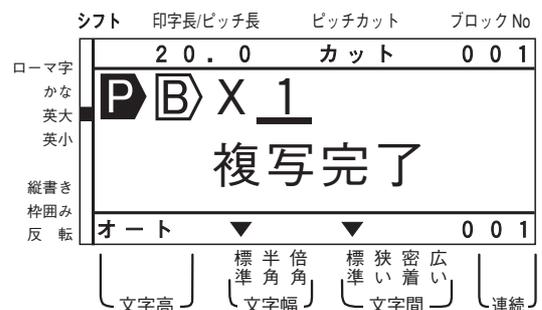
## 6-6 入力した文書の複写・貼付

入力文書をブロック単位で複写し、ブロックマーク位置や文末に貼り付けられます。このとき同時に複写したブロックの設定値（文字高さ・文字幅・連続・連番）も複写／貼付されます。尚、複写できる最大文字数は51文字までです。

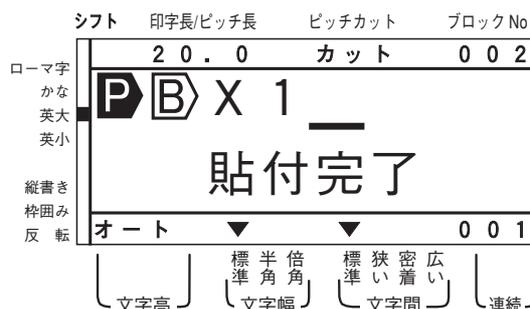
- ① 入力文書の中で、複写したいブロックにカーソルを合わせます。



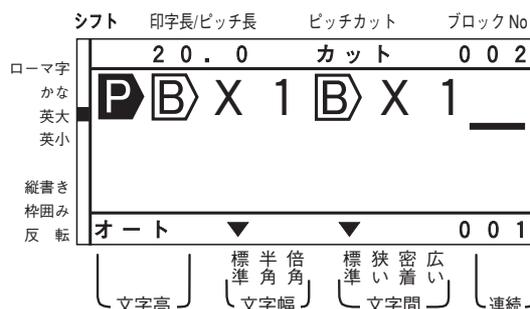
- ②  キーを押してから  キーを押すと、画面に「複写完了」を表示し、カーソルを合わせたブロックの内容を設定値ごと複写（保存）します。



- ③ 複写内容を貼り付けたい位置（ブロックマークまたは文末）へカーソルを移動し、 キーを押してから<sup>貼付</sup> キーを押します。



- ④ 画面に「貼付完了」を表示し、複写した内容を設定値ごと貼り付けます。



第6章

入力した文書の複写・貼付



- ☆ 「複写」せずに「貼付」操作をすると「複写文書未登録」エラーを表示し、貼り付けできません。また「貼付」で「文字数オーバー」や「ブロック数オーバー」になる場合も各エラーメッセージを表示して貼り付けできません。
- ☆ 文書入力していないブロックを「複写」すると、「登録文書無し」エラーを表示して、複写できません。

## 第 7 章

# 機能を使いこなす (キーに割り当てられた機能別に説明)

7-1	文字高さを変える	82	7-10-12	先頭空送り	104
7-2	文字幅を変える	83	7-10-13	英数書体を選択する	105
7-3	文字間隔や行間隔を変える	84	7-10-14	チューブウォーマーを使用する 設定を行なう (別売品: LM- TW330を使用するとき)	106
7-4	文字を枠で囲む	85	7-11	印刷する	107
7-5	連続印刷枚数を設定する	86	7-11-1	イメージ表示	107
7-6	連番を設定する	87	7-11-2	印刷範囲を選択する	108
7-7	ピッチ印刷の設定を変える	88	7-11-3	印刷物全体の長さを補正し、 印刷する	109
7-7-1	ピッチ長を変える	88	7-12	決めた長さで印字する (ピッチ印刷ではない場合)	110
7-7-2	ピッチカットの設定を変える	89	7-13	メモリに保存する/呼び出す	112
7-7-3	印刷方向を縦に変える	90	7-13-1	内部メモリに保存する	112
7-8	反転印刷	91	7-13-2	内部メモリを呼び出す	113
7-9	入力済みデータの一括書式変更	92	7-13-3	選択した文書メモリを削除する	115
7-10	オプションキーで設定できること	93	7-13-4	全ての文書メモリを削除する	116
7-10-1	印字濃度を調整する	93	7-13-5	外部メモリに保存する	116
7-10-2	低温時の印刷モード	94	7-13-6	外部メモリから文書を読み込む	118
7-10-3	表示濃度を調整する	95	7-14	よく使う語句を保存する/呼び出す	120
7-10-4	「6, 9」の印刷文字を変える	96	7-14-1	語句を登録する	120
7-10-5	上下印字位置	97	7-14-2	登録した語句を呼び出す	122
7-10-6	ハーフカット位置を調整する	98	7-14-3	登録した語句を削除する	123
7-10-7	オートオフ機能を停止する	99	7-14-4	登録してある語句を初期化する	124
7-10-8	ピッチ長の初期値を設定する	100			
7-10-9	連続印刷枚数の初期値を設定する	101			
7-10-10	文字配置を変える	102			
7-10-11	連番連続の印刷順序を設定する	103			

# 第7章 機能を使いこなす(キーに割り当てられた機能別に説明)

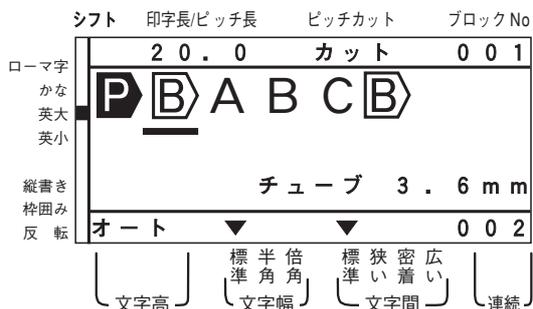
## 7-1 文字高さを変える

「オート」がONの場合、印刷物のサイズに合わせて最適な文字高さに自動で設定されます。文字高さを変更しても、「オート」がONの場合は自動設定が優先されます。「指定した文字高さで印刷する場合は、オートをOFFに設定してください。

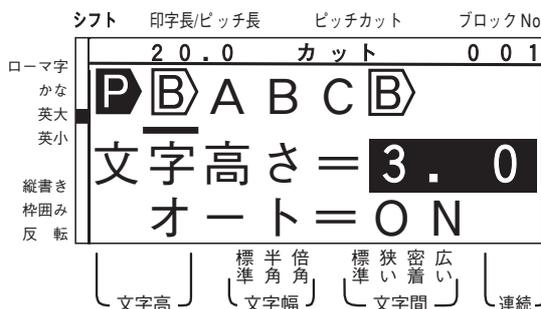
カーソルのある行の文字高さを設定します。

初期値は3.0mm、設定範囲は1.3・2.0・2.4・3.0・4.0・6.0mm。チューブサイズやピッチ長に合わせて文字高さを調整する「オート」のON・OFF切り換えも設定できます。

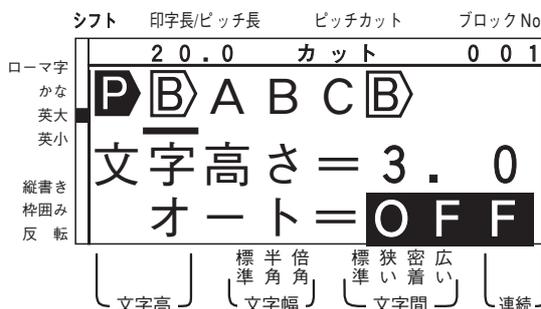
① **文字高** キーを押します。



② 設定画面上段に「文字高さ」、下段に「オート」を表示し、「文字高さ」の数値が反転表示になりますので、変更するときは **Ⓚ** キーまたは **Ⓜ** キーで数値を選びます。



③ **Ⓟ** キーで設定画面下段「オート」の「ON」が反転しますので、**Ⓚ** キーまたは **Ⓜ** キーでON/OFFを切り換えます。

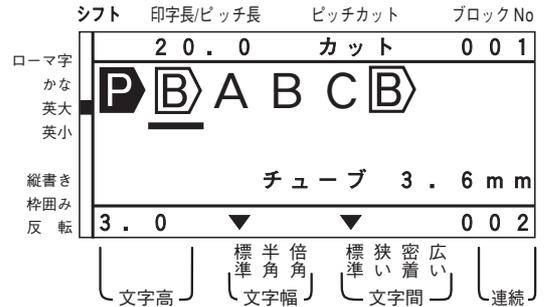


☆ 「文字高さ」を2.4mmで設定した行に英数以外の文字（ひらがな、カタカナ、漢字等）がある場合は、その行のすべての文字を2.0mmで出力（印刷）します。

- ④ **確定** キーを押すと、設定が確定されます。

また設定を初期値に戻す場合は **削除** キーを、文字高さ設定を中止するには **取消** キーを押します。

※「オート」をOFFに設定し、文字高さを設定した場合、印刷物のサイズにより印刷高さオーバーのエラーが出る事があります。その時は、文字高さを変更してください。



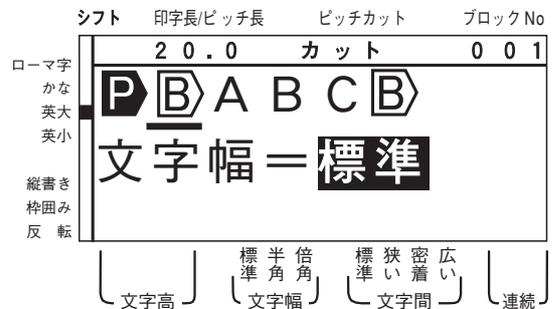
## 7-2 文字幅を変える

カーソルのある行の文字幅を設定します。

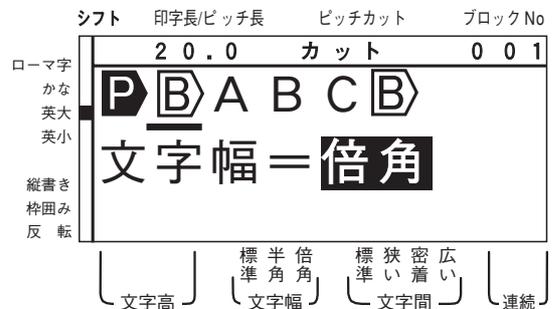
設定範囲は標準・半角・倍角で、初期値は標準です。

文字高さ設定で「オート」をOFFに設定していないと文字幅を変更しても有効となりません。

- ① **文字幅** キーを押します。



- ②設定画面に「文字幅」と表示し、右に現在の設定が反転表示しますので **⏪** キーまたは **⏩** キーで変更し、 **確定** キーを押します。初期値（標準）に戻すには **削除** キーを、文字幅設定を中止するには **取消** キーを押します。



## 7-3 文字間隔や行間隔を変える

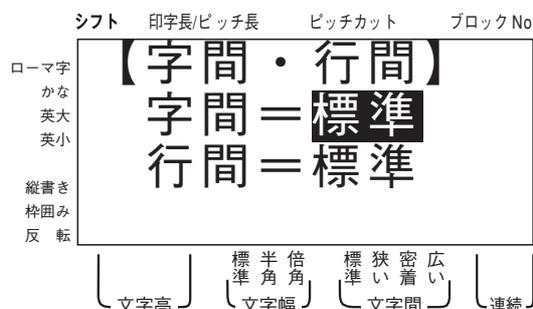
作成した文書の文字間隔や行間隔を設定します。初期値は各々標準で、設定範囲は「字間」が標準・狭い・密着・広い、「行間」が標準・狭い・広い・密着になります。

文字高さ設定で「オート」をOFFに設定していないと文字間隔や行間隔を変更しても有効となりません。

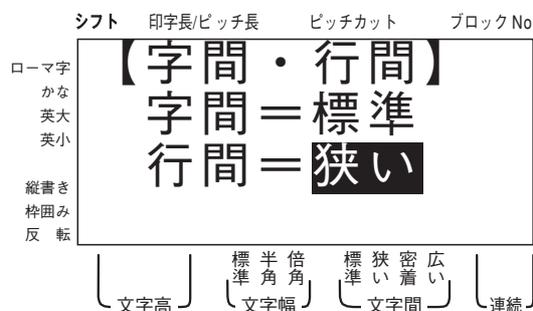
- ① **字行間** キーを押します。



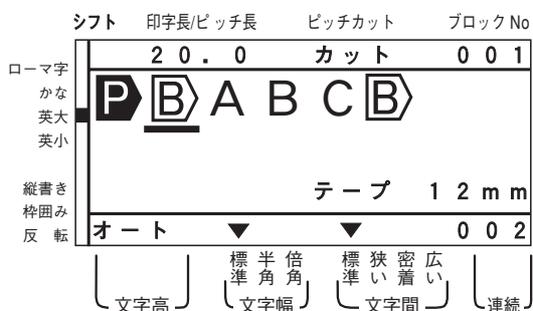
- ② 画面に【字間・行間】と表示します。  
上段に「字間」、下段に「行間」が表示され、「字間」右の標準が選択されています。



- ③ 設定を変えるには **△** キーまたは **▽** キーで変更する箇所を選び、**⏪** キーまたは **⏩** キーで変更する値を選びます。



- ④ **確定** キーを押すと選んだ値で設定されます。設定を初期値に戻すには **削除** キーを、「字間・行間」設定を中止するには **取消** キーを押します。



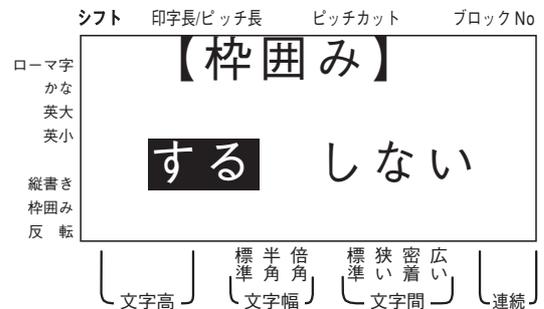
## 7-4 文字を枠で囲む

作成した文書すべてに対して枠囲みを設定します。（枠囲み）する／しないを設定します。初期値は「しない」になっています。

- ①  シフト キーを押してから  枠囲み連続 キーを押します。



- ②画面に【枠囲み】と表示しますので、 キーまたは  キーで設定を変えて、 キーを押します。設定を初期値（しない）に戻すには  キーを、「枠囲み」設定を中止するには  キーを押します。



- ☆ピッチモード時は、ブロック毎に枠囲みを行います。
- ☆印字長モード時は、文書全体を枠で囲みます。

## 7-5 連続印刷枚数を設定する

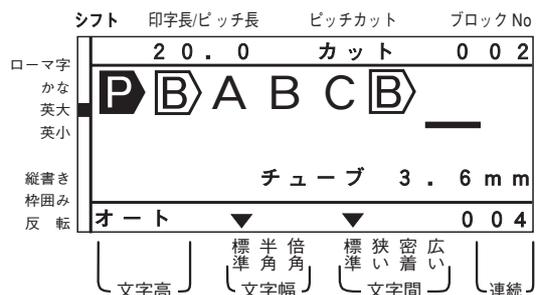
ピッチ長モード時は、カーソルのあるブロックの連続印刷枚数の設定となります。工場出荷時の初期値はテープが1枚、チューブが2個で、1~100枚の間で設定できます。印字長モード時は、カーソル位置にかかわらずラベル全体の連続枚数の設定となります。初期値はオプションの連続初期値で設定することも出来ます。

① **連続** キーを押します。

② 設定画面に「連続」と表示し、右に現在の設定値を表示します。数字キー3桁入力で直接枚数を指定するか、**Ⓚ** キーまたは**Ⓜ** キーで1枚ずつ枚数を増減して、**確定** キーを押します。



初期値に戻すには **削除** キーを、連続設定を中止するには **取消** キーを押します。

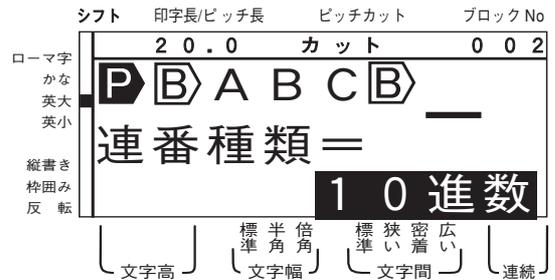


☆印字長モード時に「連続」印刷を設定すると、強制的にハーフカットされます。

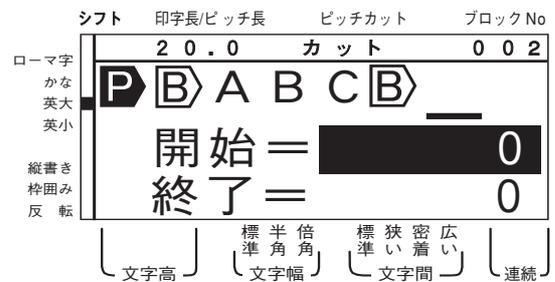
## 7-6 連番を設定する

カーソルのある位置に連番マーク **N** が無い時は設定した値の連番マークを新規に作ります。連番は8進数・10進数・16進数・アルファベットから選択でき、8進数で0~7777、10進数で0~9999、16進数で0~FFFF、アルファベットでA~Zの範囲で設定できます。初期値は10進数で開始・終了とも0です。

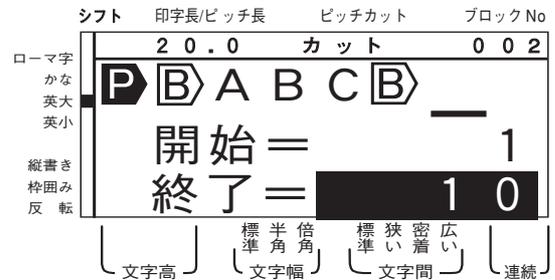
① **連番** キーを押します。



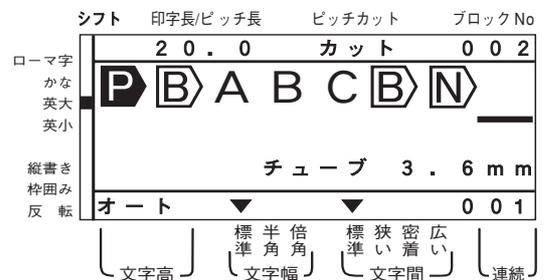
②設定画面に「連番種類」を表示し、「10進数」が反転表示しますので、**Ⓚ** キーまたは**Ⓜ** キーで種類を選び **確定** キーを押します。初期値に戻すには **削除** キーを、「連番」設定を中止するには **取消** キーを押します。



③設定画面上段に「開始」、下段に「終了」を表示し、値は共に「0」になっています。**Ⓜ** キーまたは**Ⓚ** キーを押すと開始/終了を変更します。



④数字キーやアルファベットキーで直接、開始/終了の値を入力し、**確定** キーで「開始/終了」画面を閉じます。「開始/終了」値を初期化するには **削除** キーを、連番種類選択に戻すには **取消** キーを押します。



☆印字長モード時に連番印刷を設定すると強制的にハーフカットされます。また印字長モード時には文書全体で1個しか設定できません。

☆ **N** は1ブロック当たり1個で且つ文書全体で15個まで入ります。

## 7-7 ピッチ印刷の設定を変える

### 7-7-1 ピッチ長を変える

カーソルのある位置のピッチ長を設定します。カーソル位置のブロックの先頭にピッチマーク (P) がある時は、そのブロックのピッチ長を修正し、ピッチマークが無い時はピッチ長設定と共にブロックの先頭にピッチマークを挿入します。テープ印刷時の初期値は10mmで、設定範囲は4~60mm「オート」、記名板印刷時の初期値は10mmで、設定範囲は2.5~60mm「オート」、チューブ印刷時の初期値は20mmで、設定範囲は10~60mm「オート」です。各々0.1mm単位で設定します。ここで表示される初期値 (新規作成時の値) はオプションのピッチ長初期値で設定変更することが出来ます。

※LM-380T/PC・LM-380Tは文書中に最大5個、LM-330Tは文書中に1個の指定が出来ます。

①  キーを押します。

② 設定画面に「ピッチ長」と表示し、現在の設定値を反転表示しますので、数字キーで4桁まで直接入力するか、 キーまたは キーを押し設定範囲内で0.1mmずつ値を増減し、 キーを押します。

 または  キーを押すと「オート」と数値指定を切り替える事が出来ます。

③ 初期値に戻すには  キーを、ピッチ長設定を中止するには  キーを押します。



☆ピッチマーク (P) は最大5 (330Tは1個のみ) 個まで入力できます。6個以上入力しようとする時「P数オーバー」を表示します。

☆設定したピッチ長が直前(ブロック)のピッチ長と等しい場合には、ピッチマークは追加されません。

☆複数のピッチ長を設定した場合、先頭のPマークは削除できません。必ず先に他のPマークを削除して下さい。

☆文頭のPマークを削除すると、印字長モードに変更されます。尚、文書中に複数の連番印刷を指定している場合は先頭のみを残して、他は解除されます。

☆文末でピッチ長を設定すると、改ブロックを挿入後にPマークが挿入されます。

☆印字長モード (Pマークが無い) からピッチ長モードに変更する場合は、必ず文書の先頭でピッチ長を設定してください。

☆ピッチ長オートとは、入力された文字数に応じてピッチ長を自動で可変する機能です。ピッチ長オートは入力中の文書全体に設定され、数値指定のPと混在は出来ません。最小サイズはオプションピッチ長初期値となります。

## 7-7-2 ピッチカットの設定を変える

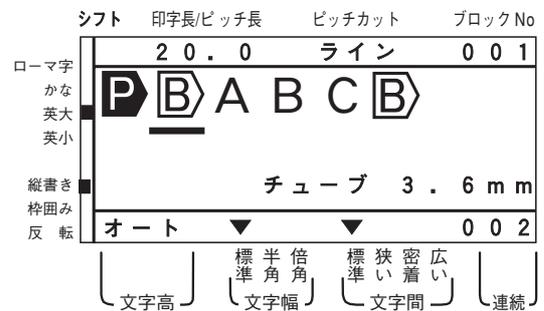
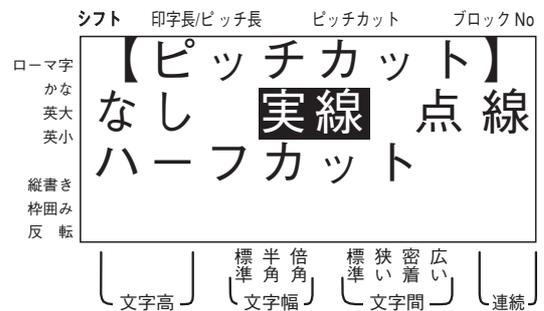
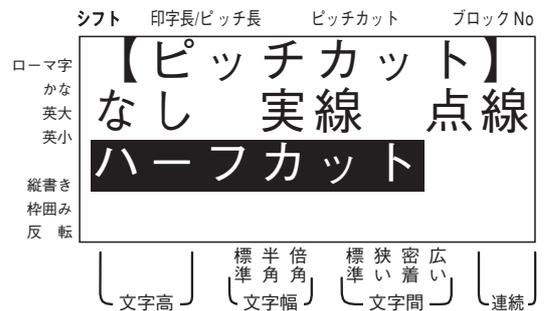
作成した文書のピッチカットを設定します。

設定範囲はチューブ・テープは「なし・実線・点線・ハーフカット」で、記名板は「なし・実線・点線」で、初期値はテープ・記名板印刷時が実線、チューブ印刷時がハーフカットです。

① **シフト** キーを押してから **ピッチカット** キーを押します。

②画面に【ピッチカット】を表示し、現在の設定を表示します。Ⓐ キーまたはⒷ キーを押すと「ハーフカット／なし」を切り換えます。Ⓒ キーまたはⒹ キーを押すと「なし／実線／点線／ハーフカット」を順に切り換えます。

③設定を有効にするには **確定** キーを、初期値に戻すには **削除** キーを、ピッチカット設定を中止するには **取消** キーを押します。



☆印字長モード時にはピッチカットは設定できません。

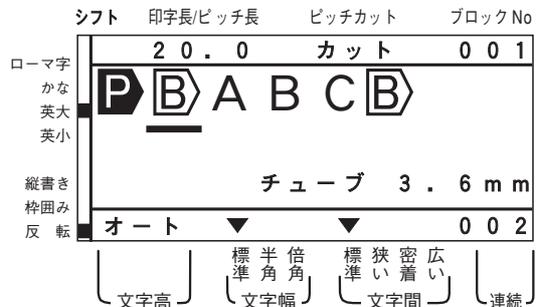
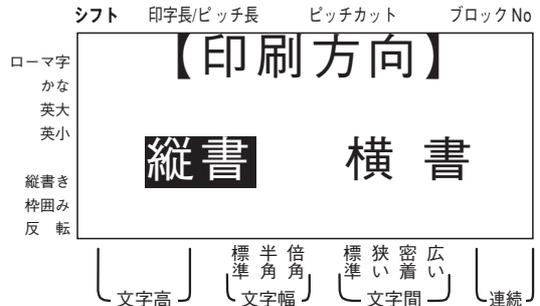
☆ハーフカットは記名板およびチューブφ6.0以上では設定できません。故障の原因となりますので使用しないでください。

### 7-7-3 印刷方向を縦に変える

作成した文書の印刷方向 (縦書き / 横書き) を設定します。

① **シフト** キーを押してから **縦・横  
字・行間** キーを押します。

②画面に【印刷方向】と表示しますので、**Ⓚ** キーまたは **Ⓜ** キーで設定を変えて、**確定** キーを押します。設定を初期値 (横書) に戻すには **削除** キーを、「印刷方向」設定を中止するには **取消** キーを押します。



☆チューブとテープでは縦書きのレイアウトが異なります。

入力例 **P** **B** **X10** **B** **X20** **B** **X30**

チューブの場合: ( **X10** **X20** **X30** )

テープの場合: **X10** **X20** **X30**

入力例 **P** **B** **X10** **AS** **B** **X20** **AS** **B** **X30**

チューブの場合: ( **X10** **X20** **X30** )

テープの場合: **X10** **X20** **X30**

☆また、ピッチ印刷をしない場合でも縦書きのレイアウトは異なります。

入力例 **B** **X10** **B** **X20** **B** **X30**

チューブの場合: ( **X10** **X20** **X30** )

テープの場合: **X10** **X20** **X30**

入力例 **B** **X10** **AS** **B** **X20** **AS** **B** **X30**

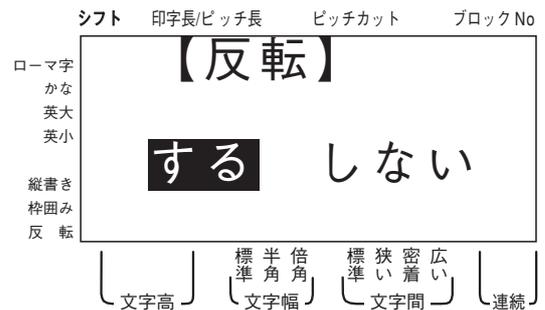
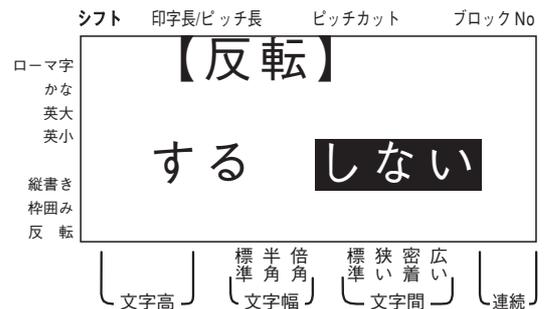
テープの場合: **X10** **X20** **X30**

## 7-8 反転印刷

ブロック単位で反転印刷を行ないます。印刷領域を黒く印刷（黒リボン使用時）し、入力されている文字を抜き文字として印刷します。

①  キーを押してから  キーを押します。

②画面に「反転」を表示し、現在の設定を表示します。 または  キーを押すと「する/しない」を切り替えます。



③設定を有効にするには  キーを、初期値に戻すには  キーを、反転設定を中止するには  キーを押します。



## 7-9 入力済みデータの一括書式変更

すでに入力されているデータの書式 (文字高さ・文字幅・ピッチ長・連続・反転) を変更します。

- ①入力されている文書中に **P** マークが1つの場合 (LM-380T/PC・LM-380Tは5つまで設定可能、LM-330Tは1つのみ)
- ・先頭の **P** の下にカーソルを移動し、文字高さや文字幅などを設定する事で入力済のすべてのブロックの設定を変更します。
  - ・その際に入力されている文字数やピッチ長などにより、先頭から順にエラー内容を表示しますので修正してください。

	シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロック No
ローマ字		20.0	カット	002
かな	<b>P</b>	<b>B</b>	<b>X</b>	<b>N</b>
英大			<b>P</b>	<b>B</b>
英小				<b>C</b>
縦書き				
枠囲み				
反転	オート	▼	▼	002
	文字高	標準 半角 倍角	標準 狭い 密着 広い	文字幅 文字間 連続

- ②入力されている文書中に **P** マークが複数ある場合
- ・入力されている文書中の先頭の **P** マークの下にカーソルを移動させ、文字高さや文字幅などを設定する事で次の **P** マークまでの間のブロックに対して設定を変更します。
  - ・次の **P** マークについても同様に行う必要があります。文書全体に対して設定を行う場合は、次の **P** マークに対しても同様に行う必要があります。

## 7-10 オプションキーで設定できること

**オプション**キーで設定できる内容（「PC通信モード」「印字濃度」「低温モード」「表示濃度」「6、9印字機能」「上下印字位置」「ハーフカット位置調整」「オートオフ設定」「ピッチ長初期値」「連続印刷初期値」「文字配置」「連番印刷順序」「先頭空送り」「英数の書体」「ヒータ一設定」）を説明します。

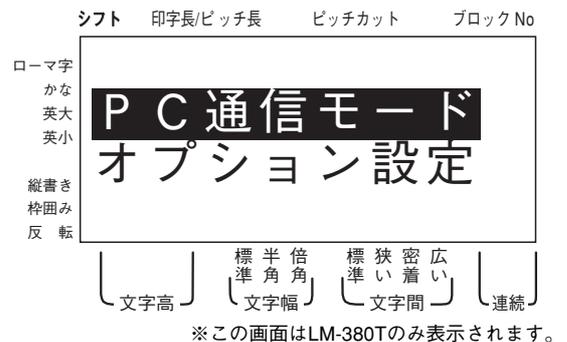
「PC通信モード」（LM-380T/PC・LM-380Tのみ）につきましては、第8章で説明します。

### 7-10-1 印字濃度を調整する

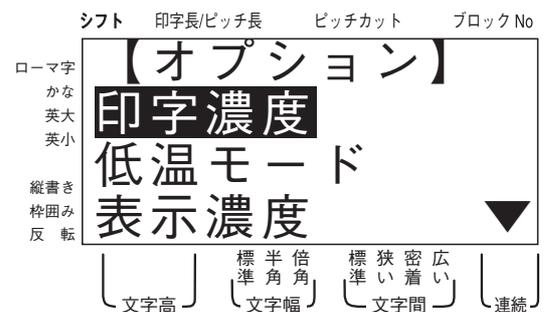
印刷時の濃度を調整します。設定した濃度は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

初期値は「4」で、1～8まで8段階を横棒グラフで表示します。

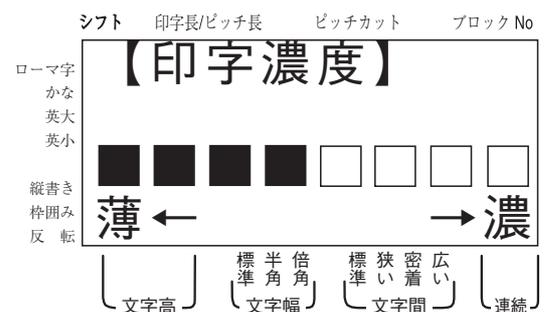
- ① **オプション**キーを押し、**決定**キーでオプション設定を選択し、**決定**キーでオプション画面に入ります。



- ②画面に【オプション】と表示し、「印字濃度」を反転表示しますので、**決定**キーを押します。



- ③画面が【印字濃度】に変わり、現在の設定を横棒グラフで表示しますので、**K**（薄くなる）または**⌘**（濃くなる）キーで調整し、**決定**キーを押します。初期値「4」に戻すには**削除**キーを、オプション選択画面に戻すには**取消**キーを押します。

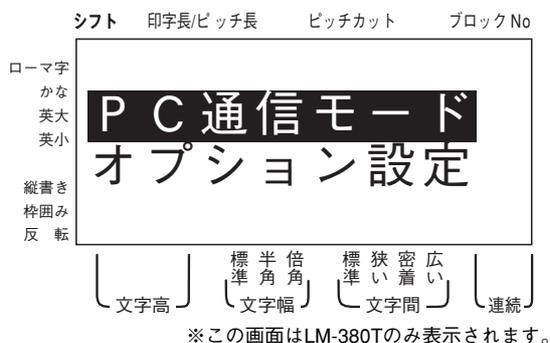


## 7-10-2 低温時の印刷モード

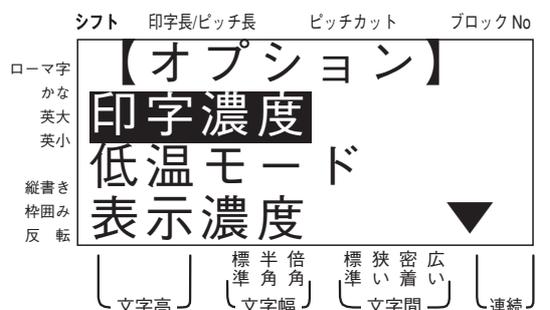
ご使用になる場所の気温が20℃以下の場合は、チューブへの印字がかすれる場合があります。この場合、低温モードを設定して下さい。

低温モードでは、印字速度が遅くなります。(10mm/sec)

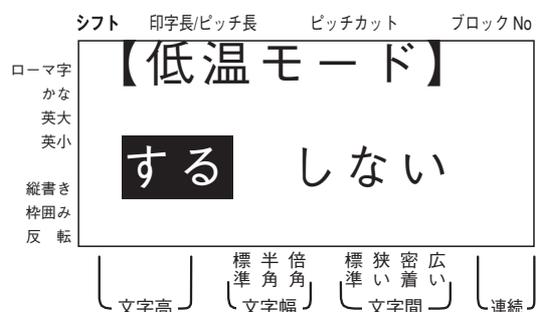
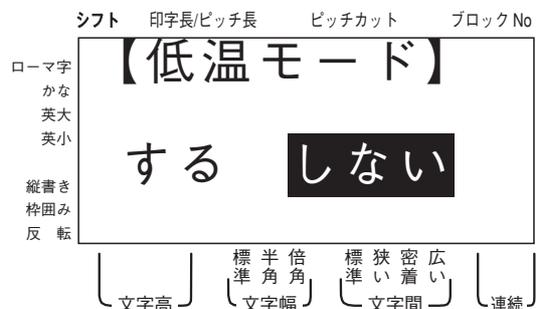
- ① **オプション** キーを押し、**▽** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



- ② **▽** キーを押して「低温モード」を反転表示し、**確定** キーを押します。



- ③ 「低温モード」設定画面で、**Ⓚ** キーを押して「する」を反転表示し、**確定** キーを押します。



☆低温モードの設定は、再度設定を変えるまで有効です。(電源OFFでは初期化されません。)

### 7-10-3 表示濃度を調整する

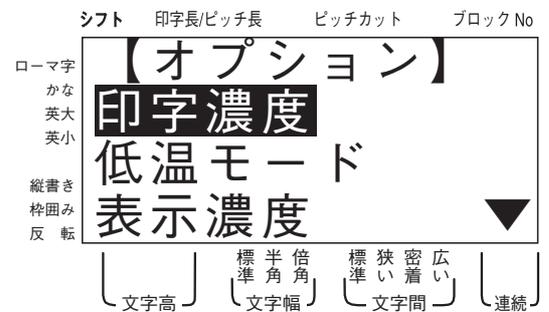
画面の表示濃度を調整します。設定した濃度は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

初期値は「4」で、1～8まで8段階を横棒グラフで表示します。

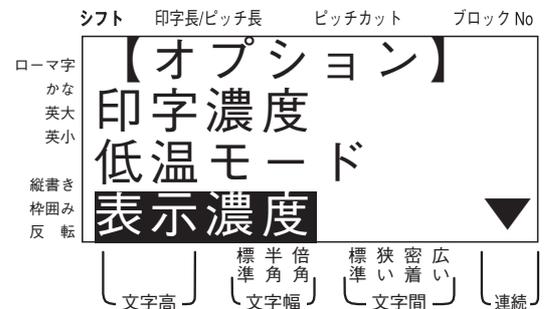
- ① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



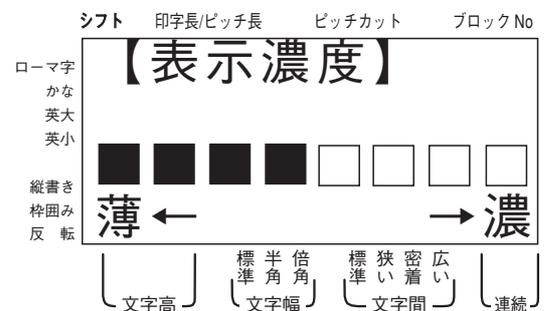
※この画面はLM-380Tのみ表示されます。



- ②画面に【オプション】と表示し「印字濃度」を反転表示しますので、**決定** キーを2回押し「表示濃度」を反転し、**確定** キーを押します。



- ③画面が【表示濃度】に変わり、現在の設定を横棒グラフで表示しますので、**薄くなる** または **濃くなる** キーで調整し、**確定** キーを押します。初期値「4」に戻すには **削除** キーを、オプション選択画面に戻すには **取消** キーを押します。



☆表示画面が判読できない状態になった時は、電源ONにした直後に **P** **わ行ん** または **L** **#** キーを押すことで、表示濃度を1目盛りずつ調整できます。

**P** **わ行ん** : 濃度設定値を1目盛り増加します。

**L** **#** : 濃度設定値を1目盛り減少します。

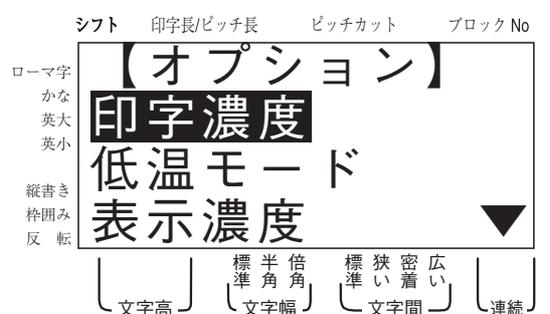
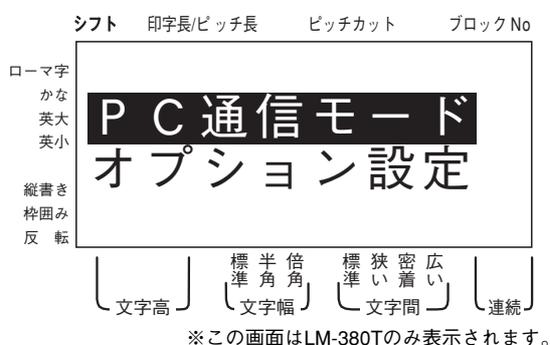
※ただし濃度は1～8の範囲内に限ります。

### 7-10-4 「6, 9」の印刷文字を変える

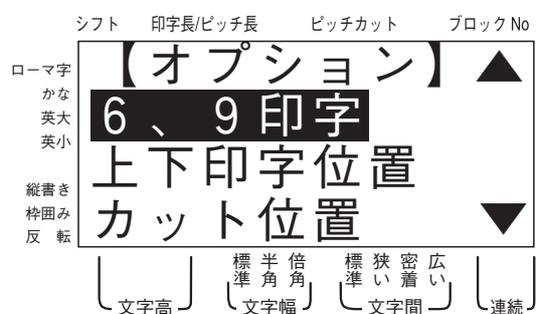
作成した文書中の「6」や「9」の印字方法を設定します。

初期値は下線 (「6 9」) で、標準 (何も付加しない) と付点 (「6.9.」) が選べます。

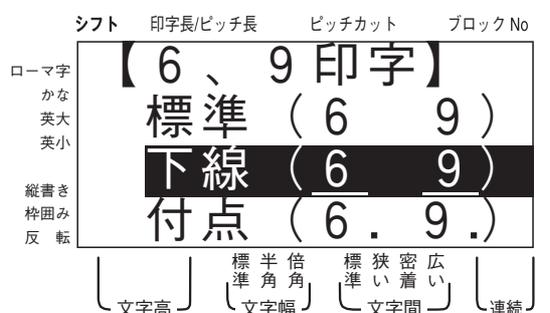
- ① **オプション** キーを押し、**▽** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



- ②画面に【オプション】と表示し「印字濃度」を反転表示しますので、**▽** キーを3回押し「6、9印字」を反転し **確定** キーを押します。

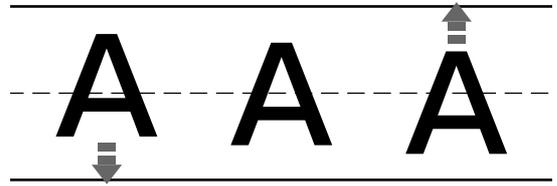


- ③画面が【6、9印字】に変わり、「下線 ( 6 9 )」を反転表示しますので、**△** キーまたは **▽** キーを押して「標準」または「付点」を選び、**確定** キーを押します。選択前に戻すには **削除** キーを、オプション選択画面に戻すには **取消** キーを押します。

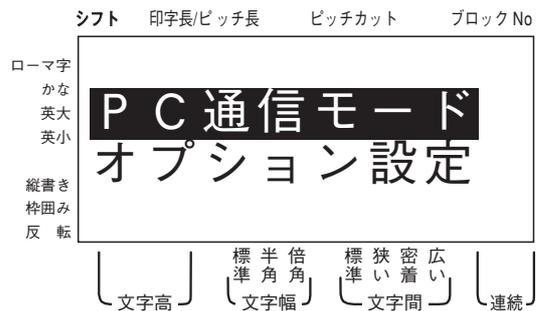


### 7-10-5 上下印字位置

テープやチューブに印字する時の上下位置を微調整します。調整した値は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。初期値は「0」で、プラス方向で印字位置が上に、マイナス方向で印字位置が下に移動します。1ドット (約0.085mm) 単位で調整出来ます。但し、記名板印刷にはこの機能は使用できません。

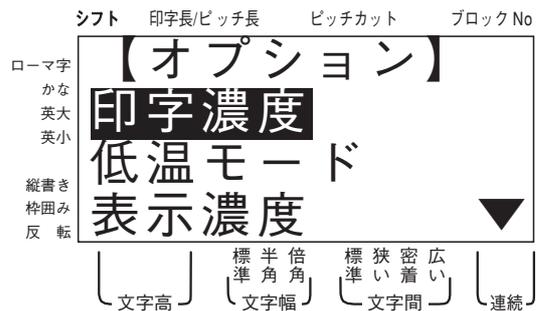


① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。

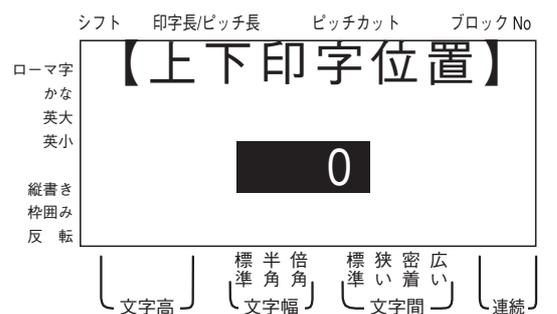
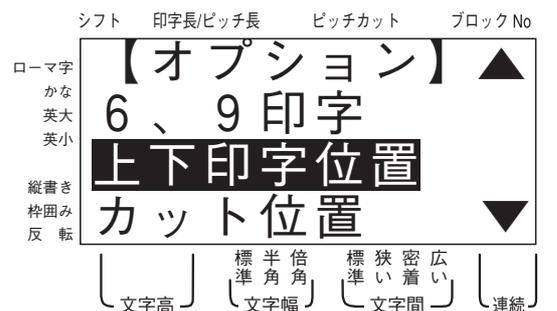


※この画面はLM-380Tのみ表示されます。

②画面に【オプション】と表示し「印字濃度」を反転表示しますので、**決定** キーを4回押し「上下印字位置」を反転し **確定** キーを押します。



③画面が【上下印字位置】に変わり、現在の設定値を表示しますので、**マイナス** または **プラス** キーで調整し、**確定** キーを押します。初期値「0」に戻すには **削除** キーを、オプション選択画面に戻すには **取消** キーを押します。

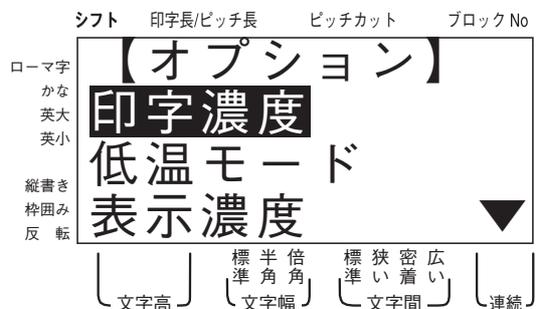
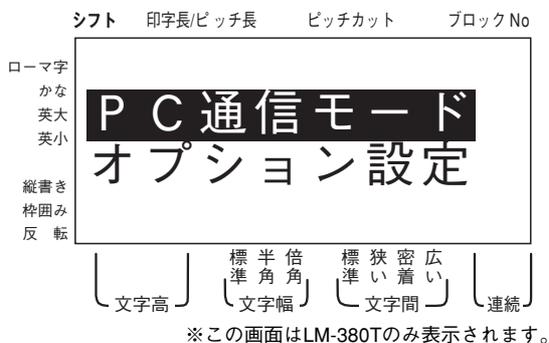


### 7-10-6 ハーフカット位置を調整する

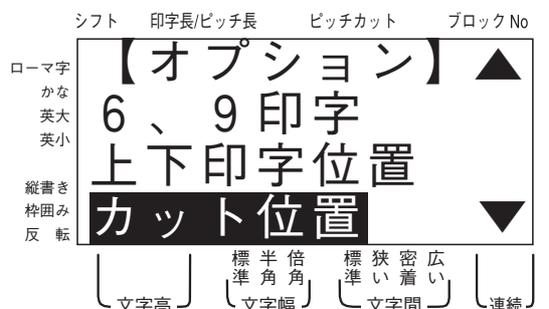
ハーフカットの位置を調整します。調整した値は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

初期値は「0.0mm」、-2.0~+2.0mmの範囲内で、0.1mm単位で調整できます。

- ① **オプション** キーを押し、**▼** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



- ②画面に【オプション】と表示し「印字濃度」を反転表示しますので、**▼** キーを5回押し「カット位置」を反転し、**確定** キーを押します。



- ③画面が【カット位置】に変わり、現在の設定値を0.1mm単位で表示しますので、**Ⓚ** (マイナス) または **➕** (プラス) キーで調整し、**確定** キーを押します。初期値「0.0mm」に戻すには **削除** キーを、オプション選択画面に戻すには **取消** キーを押します。

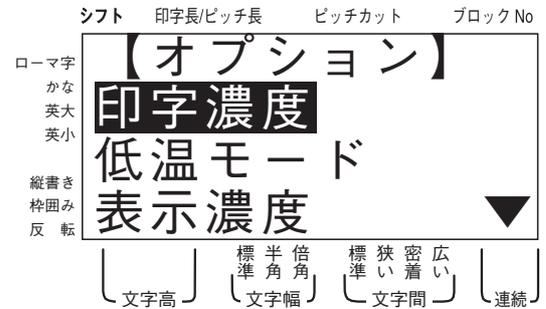
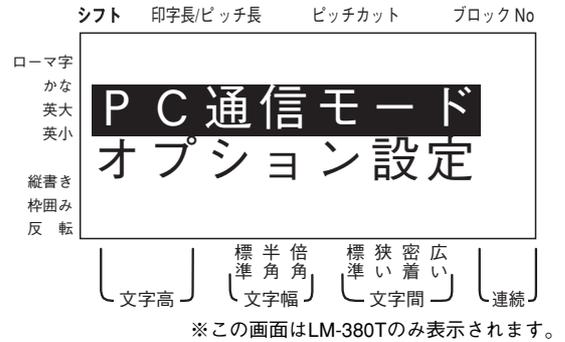


## 7-10-7 オートオフ機能を停止する

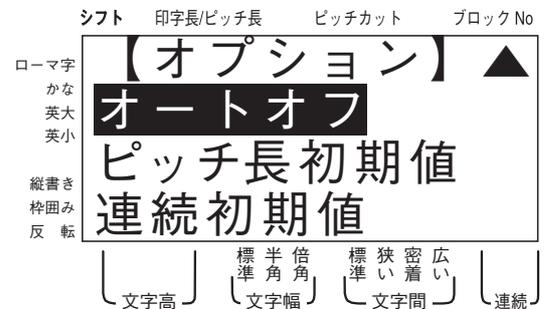
自動で電源OFFにする「オートオフ」機能を設定します。設定は電源OFF時に保存され、次回起動時に内容が呼び出されます。

初期値は「(オートオフ) する」で、する／しないを選択できます。

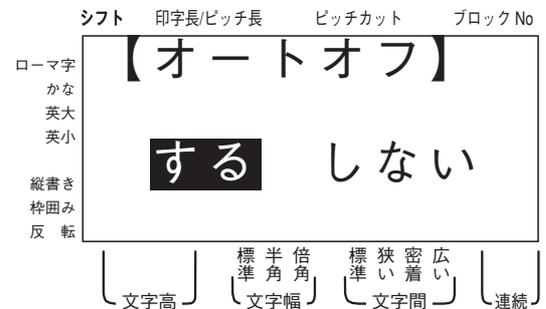
- ① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**決定** キーでオプション画面に入ります。



- ②画面に【オプション】と表示し「印字濃度」を反転表示しますので、**決定** キーを6回押し「オートオフ」を反転し、**決定** キーを押します。



- ③画面が【オートオフ】に変わり、現在の設定を表示しますので**戻る** または**進む** キーを押し、**決定** キーを押します。初期値「する」に戻すには**削除** キーを、オプション選択画面に戻すには**取消** キーを押します。



第7章 オプションキーで設定できること

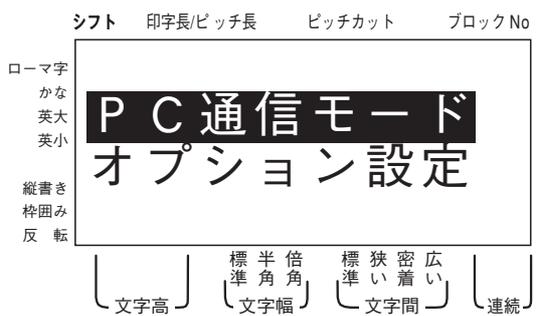


☆最後にキー操作してから5分を経過するとオートオフします。なお途中でキー操作した場合はその時点から再度カウントし直します。

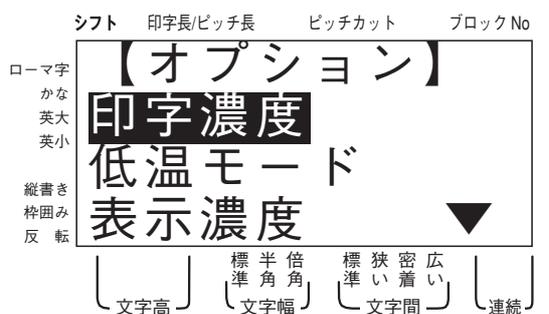
### 7-10-8 ピッチ長の初期値を設定する

ピッチ印刷する場合の初期値を設定します。ここで設定した値は、電源スイッチをOFFにしたときに保存され、設定初期化時や次回起動時の新規作成時に読み込まれます。設定できる範囲は、チューブのとき10.0mm~60.0mm (0.1mm単位)、テープのとき4.0mm~60.0mm (0.1mm単位) で、工場出荷時の設定はチューブ：20.0mm、テープ：10.0mmです。

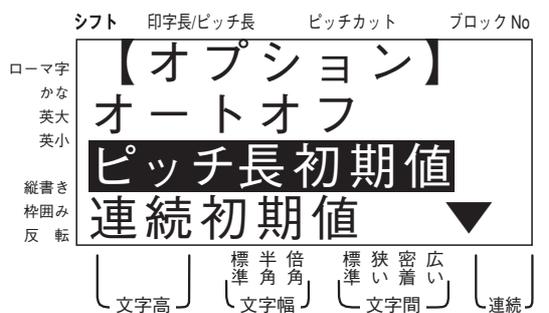
- ① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



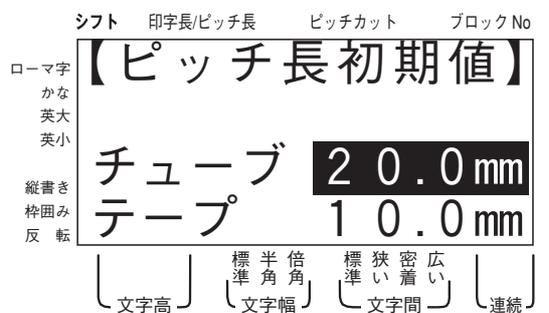
※この画面はLM-380Tのみ表示されます。



- ② **決定** キーを7回押しして「ピッチ長初期値」を反転表示し、**確定** キーを押します。



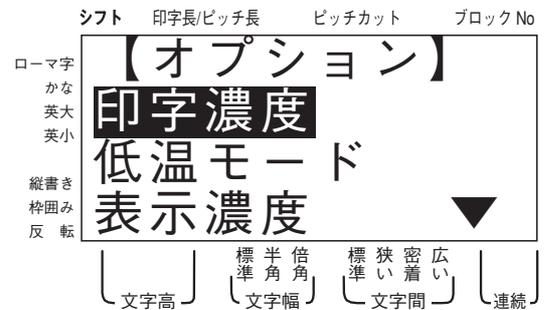
- ③ 「ピッチ長初期値」設定画面に変わり、現在の設定値が表示され、チューブの設定値が反転表示されています。チューブまたはテープいずれか設定する側を**決定** または **決定** キーで選択反転させ、**決定** (マイナス) または **決定** (プラス) キーでピッチ長を指定し、**確定** キーを押します。工場出荷時設定に戻すには、数値を反転表示させ **削除** キーを押します。また、オプション画面に戻すには **取消** キーを押します。



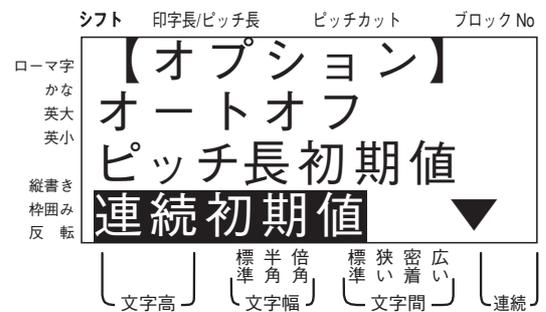
### 7-10-9 連続印刷枚数の初期値を設定する

連続で印刷する枚数の初期値を設定します。ここで設定した値は、電源スイッチをOFFにしたときに保存され、設定初期化時や次回起動時の新規作成時に読み込まれます。設定できる範囲は、チューブのとき1個～100個、テープのとき1枚～100枚で、工場出荷時の設定はチューブが2個、テープが1枚です。

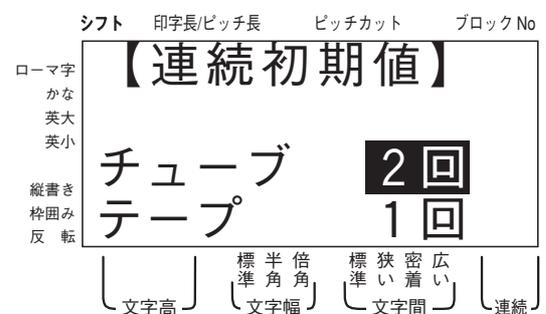
- ① **オプション** キーを押し、**▼** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



- ② **▼** キーを8回押しして「連続初期値」を反転表示し、**確定** キーを押します。



- ③ 「連続初期値」設定画面に変わり、現在の設定値が表示され、チューブの設定値が反転表示されています。チューブまたはテープいずれか設定する側を**▼**または**▲**キーで選択反転させ、**Ⓚ**（マイナス）または**Ⓜ**（プラス）キーで連続印刷枚数を指定し、**確定** キーを押します。工場出荷時設定に戻すには、数値を反転表示させ**削除** キーを押します。また、オプション画面に戻すには**取消** キーを押します。

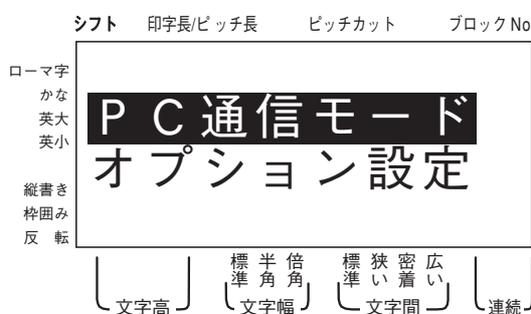


## 7-10-10 文字配置を変える

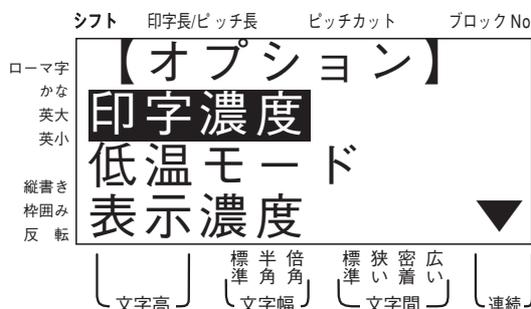
作成した文書の文字配置設定を変えます。

初期値は「中央」で、「前・中央・後」の中から選びます。

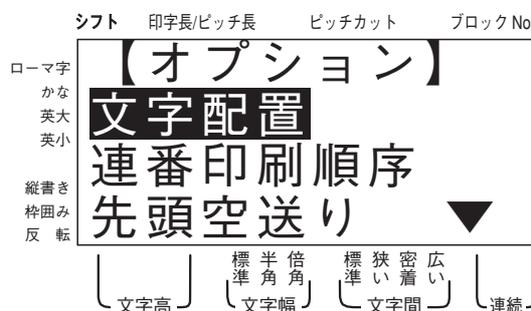
- ① **オプション** キーを押し、**▽** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



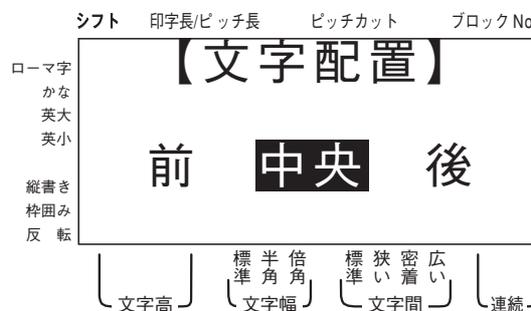
※この画面はLM-380Tのみ表示されます。



- ②画面に【オプション】と表示し、「印字濃度」を反転表示しますので、**▽** キーを9回押し「文字配置」を反転し、**確定** キーを押します。選択前に戻すには**削除** キーを、オプション設定を中止するには**取消** キーを押します。



- ③画面が【文字配置】に変わり、「前 中央 後」と表示しますので、**◀** キーまたは**▶** キーで配置位置を選び、**確定** キーを押します。初期値に戻すには**削除** キーを、オプション選択画面に戻すには**取消** キーを押します。

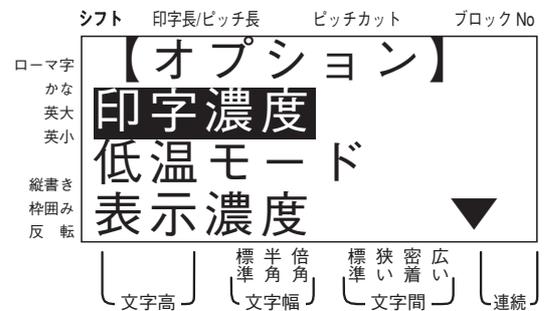
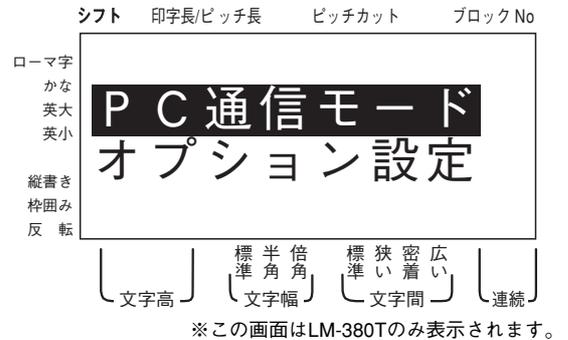


☆文字配置設定は「印字長モード」でのみ有効となります。

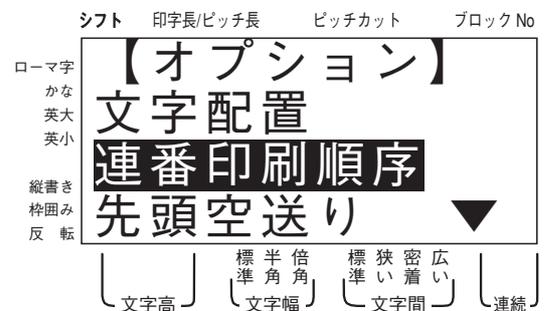
### 7-10-11 連番連続の印刷順序を設定する

連番を連続で印刷するときの出力順序を設定します。ここで設定した値は、電源スイッチをOFFにしたときに保存され、次回起動時に読み込まれます。ここでの設定変更は、作成中の文書には反映されません。また、メモリとしても保存されません。

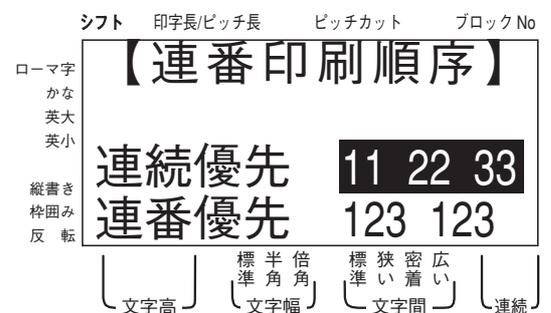
- ① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**決定** キーでオプション画面に入ります。



- ② **決定** キーを10回押しして「連番印刷順序」を反転表示し、**決定** キーを押します。



- ③ 「連番印刷順序」設定画面に変わり、現在の設定値が反転表示されます。連続優先または連番優先を**決定** または **決定** キーで選択反転させ、**決定** キーを押します。工場出荷時設定に戻すには、数値を反転表示させ **削除** キーを押します。また、オプション画面に戻すには **取消** キーを押します。



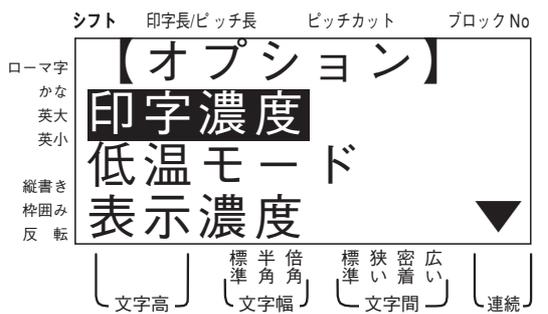
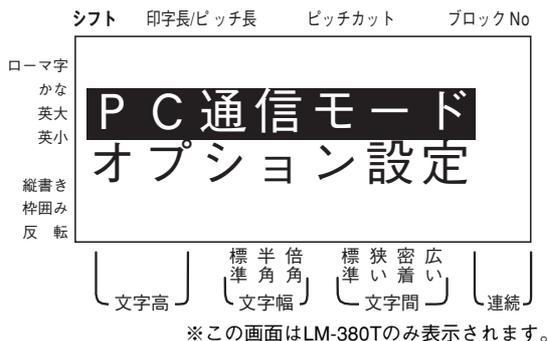
第7章 オプションキーで設定できること

	連続優先	連番優先
印刷結果	X1 X1 X2 X2 X3 X3	X1 X2 X3 X1 X2 X3

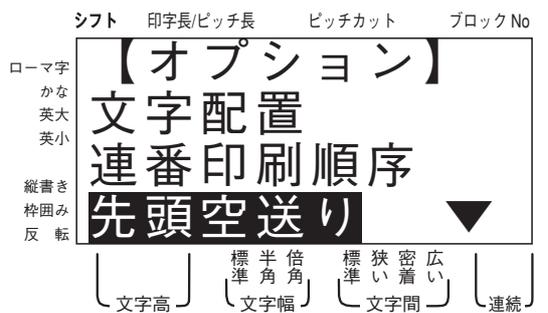
## 7-10-12 先頭空送り

チューブへの印字は、チューブを平らにつぶして印字します。その為には本機では、巻き付けローラー方式によるチューブつぶし機構を搭載しています。新規に印字する場合は、巻き付けローラー部入口からサーマルヘッドまでの間は、充分につぶされているとはいきれません。特にチューブが硬くなる冬場の低温時などでは先頭部分の2~3個で印字ムラやカスレの原因となります。そのような時には、巻き付けローラーからサーマルヘッドまでの間を空送りすることで、充分につぶされた状態で印字する事が可能です。但し、空送り「する」に設定した場合、印字開始までにチューブを空送りするため、約57mmの印字していないチューブが付きます。

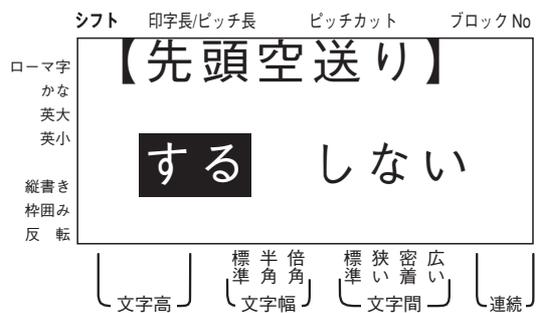
- ① **オプション** キーを押し、**決定** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



- ②画面に【オプション】と表示し、「印字濃度」を反転表示しますので、**決定** キーを11回押し「先頭空送り」を反転し、**確定** キーを押します。



- ③画面が【先頭空送り】に変わり、現在の設定を表示しますので**決定** または**削除** キーで選択し、**確定** キーを押します。初期値を「しない」に戻すには、**削除** キーを、オプション選択画面に戻すには**取消** キーを押します。

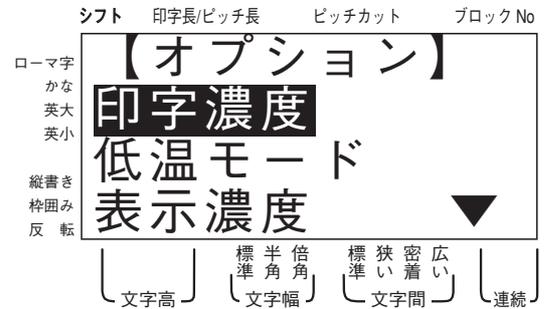
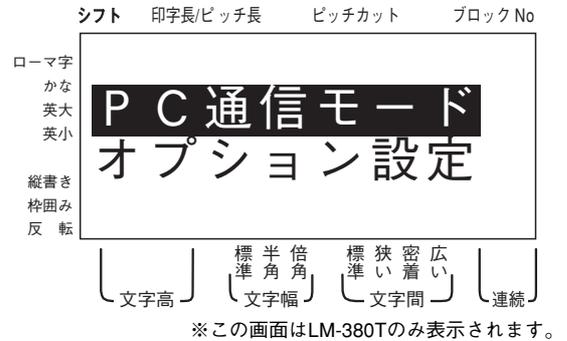


- ☆先頭空送りしない設定の場合、最初の2~3個の印字がかすれたり、文字欠けが出ることがあります。チューブセット直後の印刷で発生しやすくなります。
- ☆先頭空送りしない設定でも、先端に約17mmの印字していないチューブが付きます。

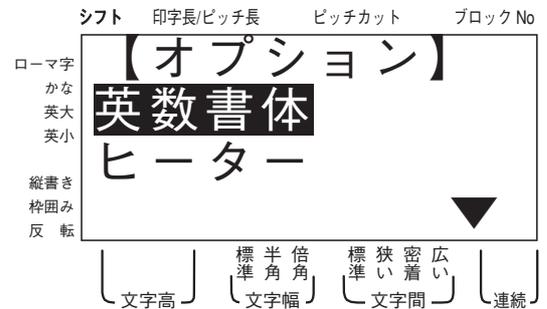
### 7-10-13 英数書体を選択する

英数字を標準と太字の2種類から選択します。

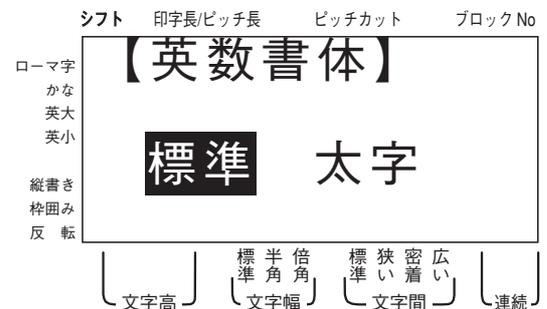
- ① **オプション** キーを押し、**▼** キーでオプション設定  
を選択し、**確定** キーでオプション画面に  
入ります。



- ② **▼** キーを12回押して「英数書体」を反転表  
示し、**確定** キーを押します。



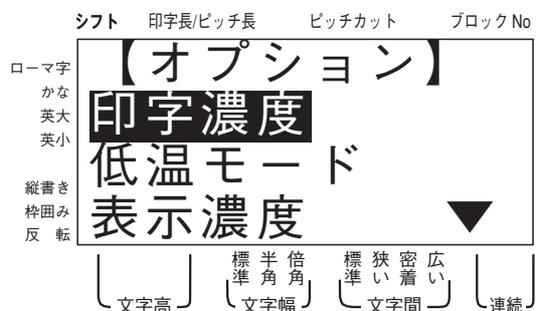
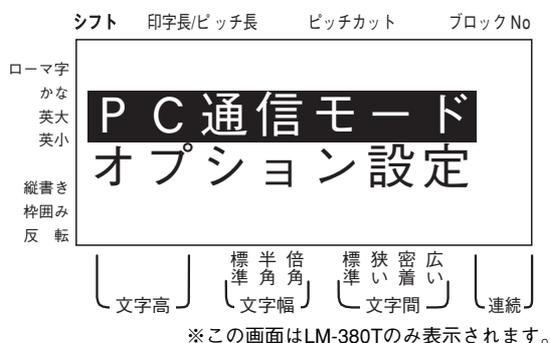
- ③ 「英数書体」設定画面に変わり、現在の設定  
値が反転表示されます。  
標準または太字を **Ⓚ** または **Ⓛ** キーで選択  
反転させ、**確定** キーを押します。  
工場出荷時設定に戻すには、数値を反転表示  
させ **削除** キーを押します。また、オプション  
画面に戻すには **取消** キーを押します。



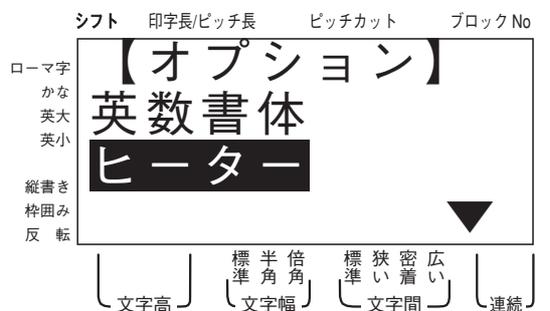
### 7-10-14 チューブウォーマーを使用する設定を行なう (別売品：LM-TW330を使用するとき)

ご使用の場所の気温が20℃以下の場合、チューブへの印字がかすれる場合があります。この場合、低温モードで使用しても改善されない場合には、別売品のチューブウォーマーを使用することで、チューブを暖めやわらかくし、印字品質を向上させることが出来ます。

- ① **オプション** キーを押し、**▽** キーでオプション設定を選択し、**確定** キーでオプション画面に入ります。



- ② **▽** キーを13回押しして「ヒーター」を反転表示し、**確定** キーを押します。



- ③ 「ヒーター」設定画面に変わり、現在の設定値が反転表示されます。

ONまたはOFFを **⏪** または **⏩** キーで選択反転させ、**確定** キーを押します。

工場出荷時設定に戻すには、数値を反転表示させ **削除** キーを押します。また、オプション

画面に戻すには **取消** キーを押します。



☆別売品のチューブウォーマーLM-TW330を使用する場合は、必ずこの設定を行ってください。この設定を行わなかった場合、チューブに対して印字位置が下側にズレ、文字の下部が印字されません。

☆この設定は、電源OFFにした場合初期化され、ヒーターがOFFに設定されます。

☆オートOFF機能を使用している場合、オートOFFになると設定は初期化され、ヒーターがOFFに設定されます。

☆ヒーターONにした時に先頭空送り“する”の設定の場合、先頭空送り量が増えます。(約87mm)

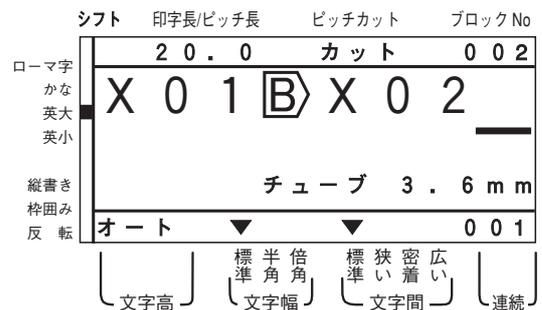
## 7-11 印刷する

作成した文書の印刷・イメージ確認と印刷全長補正機能について説明します。

### 7-11-1 イメージ表示

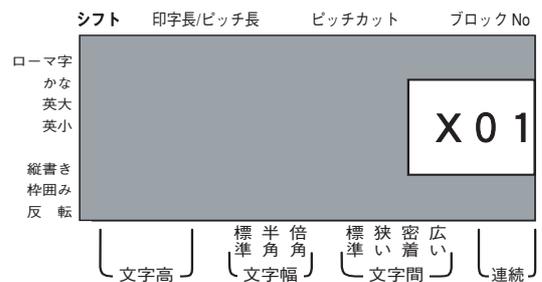
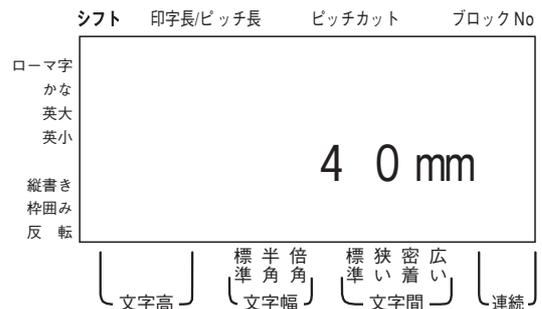
作成した文書の印刷イメージを表示します。イメージ表示の直前に印刷全長をmm単位で表示します（2、3秒間）。画面を右から左へスクロールしながら全体を表示し、終了すると元の文書の入力画面に復帰します。

①文書を作成後、**イメージ** キーを押します。



②画面右から、印刷物の左端からスクロールしながら順に左側へ表示します。イメージスクロールを一時停止するには $\wedge$  キーを、スクロール速度を速めるには $\gg$  キーを、スクロール速度を遅らせるには $\ll$  キーを押します。

**取消** キーを押すと、イメージ表示を中止します。



☆作成文書が無い状態で**イメージ** キーを押すと「作成文書無し」エラーを表示し、イメージ表示しません。

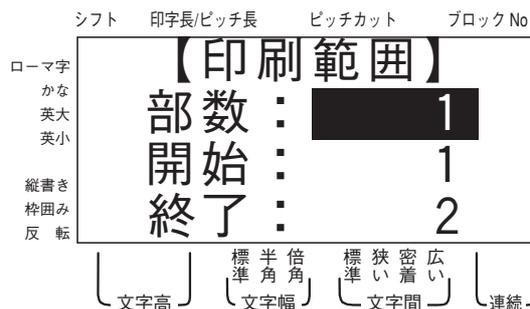
☆イメージ表示はLCD画面の上下中央で、右から左へスクロールして表示します。

## 7-11-2 印刷範囲を選択する

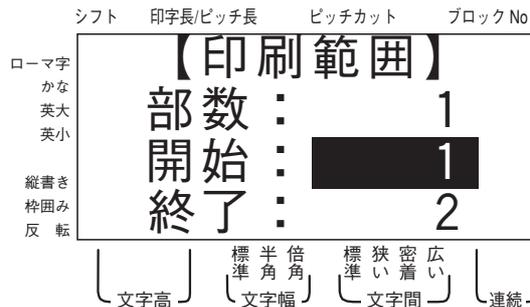
作成した文書の印刷範囲を開始・終了のブロック番号で指定し、印刷範囲を設定して印刷します。初期値は「開始＝1」「終了＝作成文書の最終ブロック番号」で、設定範囲は各々「1 (または開始番号) ～最終ブロック番号」です。

①  キーを押します。

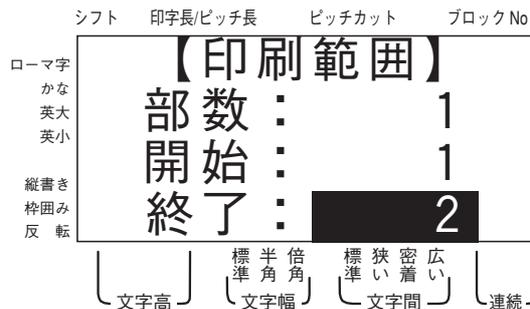
②画面に【印刷範囲】と表示し、「部数」の値が反転表示します。 または  キーを押し、入力済の印刷部数を設定します。部数は1～10まで設定できます。



③続いて  または  キーで開始番号か終了番号を選択し、 または  キーで印刷を開始するブロック番号と終了するブロック番号を指定します。直接、数字キーで3桁の整数を入力する事も出来ます。



④入力した数字の最後の桁を削除するには  キーを、設定を初期値に戻すには  キーを、印刷全長補正画面に進むには  キーを、印刷設定を中止するには  キーを押します。



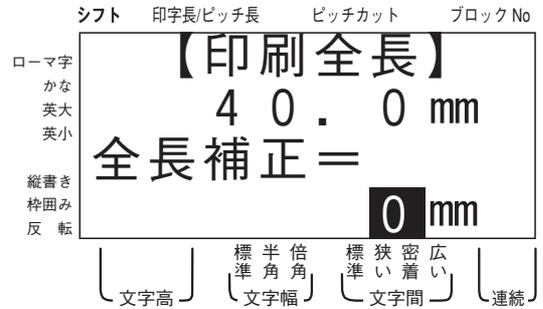
☆ピッチ印刷をしない場合(全ての  を削除した場合は)、 キーを押すと、すぐに印刷を開始します。

☆印刷物をセットせずに上記②で  キーを押すと「印刷物なし」を表示して印刷範囲選択画面に戻ります。

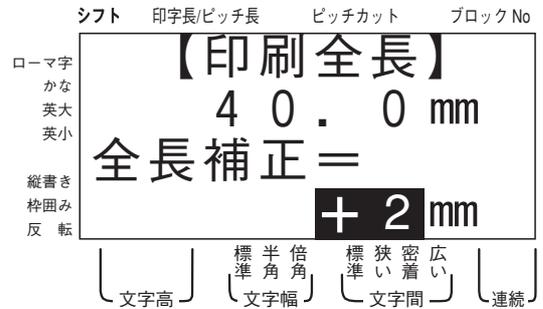
### 7-11-3 印刷物全体の長さを補正し、印刷する

前述の「印刷範囲」設定に引き続き、印刷物全体の長さ補正を設定し、印刷します。  
初期値は0mm、設定範囲は「印刷個数×0.3mm～印刷全体長の+5%」で1mm単位です。

- ①画面に【印刷全長】と表示し印刷物全体の長さを0.1mm単位で、画面下段には「全長補正=0mm」と表示します。



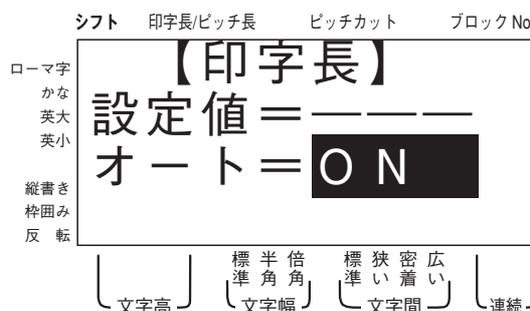
- ② **K** キーまたは **➤** キーで補正値を増減して **確定** キーを押すと、印刷を実行します。印刷物の「全長補正」を初期値に戻すには **削除** キーを、印刷範囲選択画面に戻すには **取消** キーを押します。



## 7-12 決めた長さで印字する (ピッチ印刷ではない場合)

ピッチ印刷ではない場合 (先頭の **P** を削除して印字長モードにした場合) でも、印刷する長さをあらかじめ決めて印刷できます。

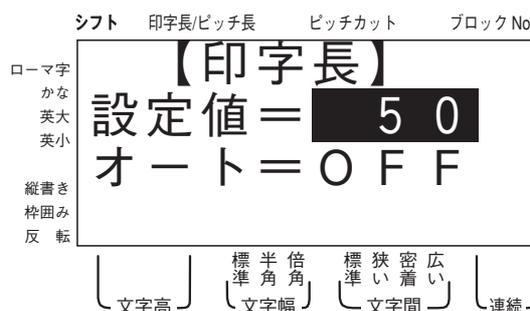
- ① **シフト** キーを押してから **印字長** キーを押します。



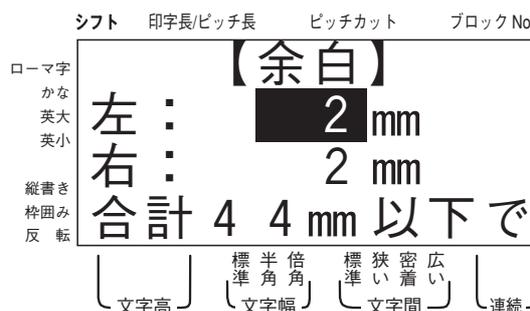
- ② 「印字長」設定画面で、「オート」の「ON」を **方向キー** キーで「OFF」にします。



- ③ 続けて **数字キー** キーを押して「設定値」の欄を反転表示し、数字キーで入力します。
- ・設定値の単位はmmです。
  - ・設定できる範囲は10~300mmです。



- ④ **確定** キーを押します。続けて余白を設定します。



- ⑤ 「余白」設定画面で「左」の欄を反転表示し、数字キーで左余白を入力します。
- ・設定値の単位はmmです。
  - ・設定値の範囲は2~30mmです。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
ローマ字 かな 英大 英小	<b>【余白】</b>		
	左 :	5 mm	
	右 :	2 mm	
縦書き 枠囲み 反転	合計	4 4 mm 以下で	
	[ 文字高 ]	[ 標準 半倍 角角 ]	[ 標準 狭密 広い ] [ 連続 ]
		[ 文字幅 ]	[ 文字間 ]

- ⑥  キーで「右」の欄を反転表示し、数字キーで右余白を入力します。

シフト	印字長/ピッチ長	ピッチカット	ブロックNo
ローマ字 かな 英大 英小	<b>【余白】</b>		
	左 :	5 mm	
	右 :	5 mm	
縦書き 枠囲み 反転	合計	4 4 mm 以下で	
	[ 文字高 ]	[ 標準 半倍 角角 ]	[ 標準 狭密 広い ] [ 連続 ]
		[ 文字幅 ]	[ 文字間 ]

- ⑦  キーを押し、印字長と余白の設定を終了します。



☆ピッチ印刷時 (先頭の **P** がある場合) には、この操作はエラーとなります。

☆印字長の設定値が65mmを超える場合は、余白設定値についてガイドメッセージは表示されません。

## 7-13 メモリに保存する／呼び出す

作成した文書はメモリに保存できます。保存する内容は文書とチューブ／テープを識別する情報です。本体内に記憶する「内部メモリ」とCFカードを使用する「外部メモリ」があります。

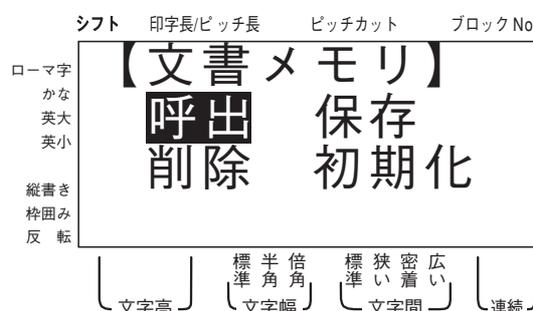
### 7-13-1 内部メモリに保存する

レタツイン本体には20ファイルまで文書を保存できます。

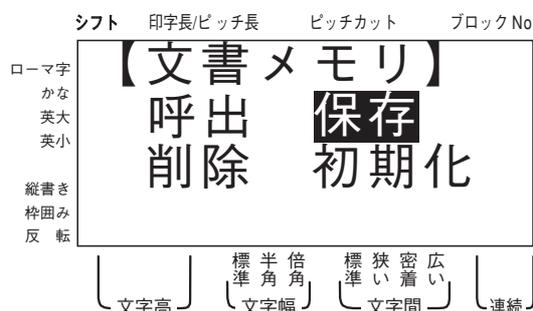
(LM-380Tは1文書300ブロック5000文字、LM-330Tは1文書300ブロック2000文字)

メモリは文書番号毎に、文書内容とチューブ／テープの区別も記憶されます。

- ① **メモリ** キーを押します。

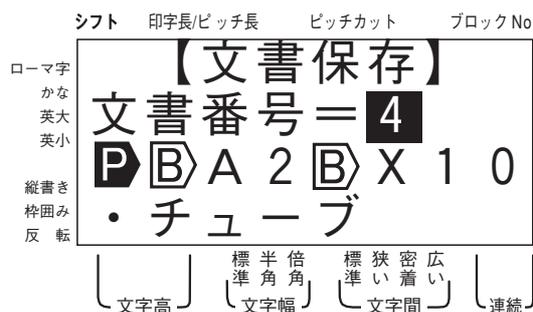


- ②画面が【文書メモリ】に変わり、呼出・保存・削除・初期化の内「呼出」が反転表示しています。

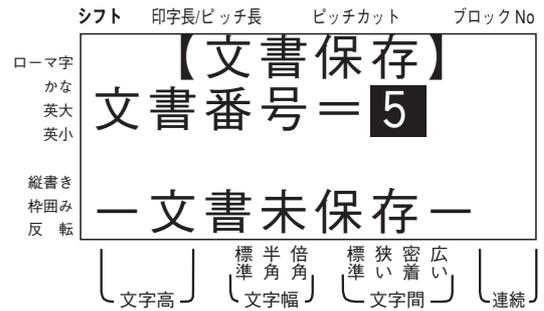


- ③ **△** または **▽** キーを押すと呼出／削除、保存／初期化を切換え、**Ⓚ** キーまたは **Ⓛ** キーを押すと呼出／保存／削除／初期化を切換えられます。ここでは **Ⓛ** キーを押して「呼出」を「保存」に切換えて **確定** を押します。

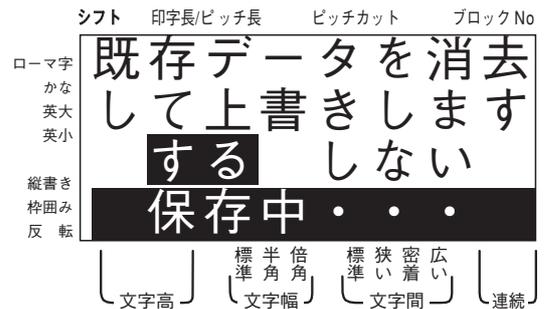
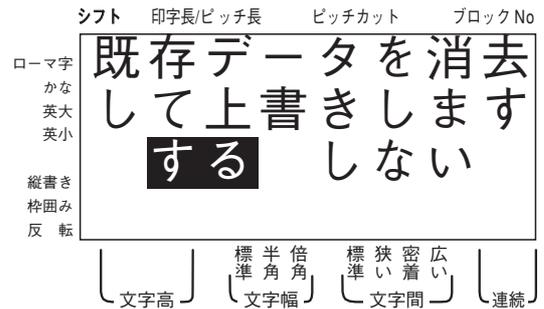
- ④画面が【文書保存】に変わり、2行目に文書番号(1~20)、3行目に保存されている文書の先頭8文字(未保存の場合は空欄)、4行目には保存文書のチューブ／テープ区分を表示します。**Ⓚ** キーまたは **Ⓛ** キーを押して文書番号を選び **確定** キーを押します。



未保存文書の場合は「一文書未保存」を表示します。



- ⑤すでに同じ番号で文書が登録済みの場合「既存データを消去して上書きします」と表示しますので、**Ⓚ** キーまたは **Ⓜ** キーで「するしない」を選び **確定** キーを押します。画面4行目に「保存中」を表示し、消えたら保存完了です。



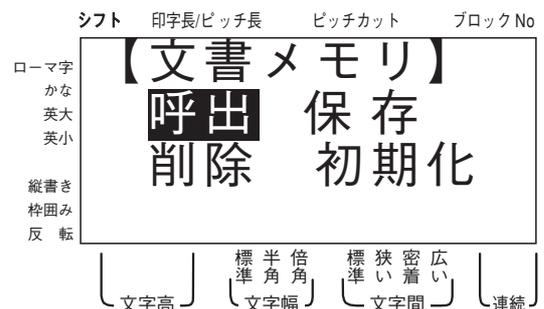
### 7-13-2 内部メモリを呼び出す

保存してある文書を読み出します。

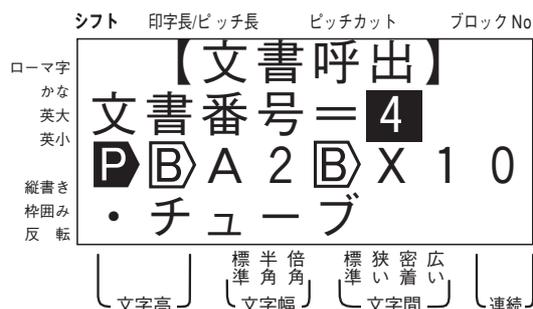
画面2行目は文書番号 (1~20、初期値は「1」)、3行目は保存文書の先頭8文字 (未保存の場合は空欄)、4行目は保存文書のチューブ/テープ区分 (未保存文書の場合は「一文書未保存」) を表示します。

- ① **MEM** キーを押します。

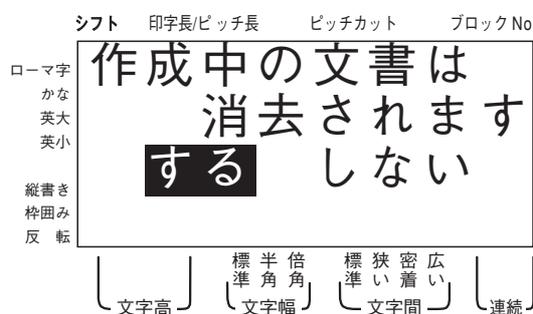
- ②画面が【文書メモリ】に変わり、呼出・保存・削除・初期化の内「呼出」が反転表示しますので、そのまま **確定** キーを押します。



③画面が【文書呼出】に変わりますので、**Ⓚ**キーまたは**Ⓚ**キーで文書番号を1桁ずつ増減するか、数字キーで直接入力して**確定**キーを押します。この時入力値の最後の桁を削除するには**BS**キーを、設定を初期化(文書番号を1に戻す)するには**削除**キーを、メモリ操作を中止するには**取消**キーを押します。

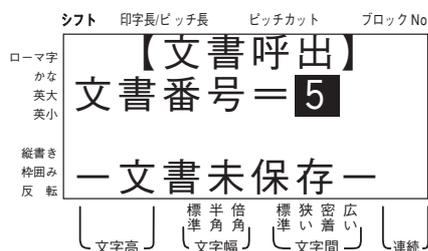


④「作成中の文書は消去されます」と表示し、「する」のまま**確定**を押すと、画面4行目に「呼出中」を表示します。表示が消えたら呼び出し完了です。



- ☆文書番号は数字キーで直接指定することもできます。
- ☆設定を初期化するには**削除**キーを、メモリ操作を中止するには**取消**キーを押します。
- ☆メモリに保存される情報は次のものです。
  - ・チューブ/テープ ・入力文字 ・文字高さ ・文字幅 ・連続設定 ・連番設定
  - ・印字長(ピッチ長) ・余白 ・縦-横書き設定 ・ピッチカット ・枠囲み設定
  - ・文字配置 ・文字間 ・行間

☆保存してない文書を呼び出すと警告音がして呼び出せません。



### 7-13-3 選択した文書メモリを削除する

保存してある文書を削除します。

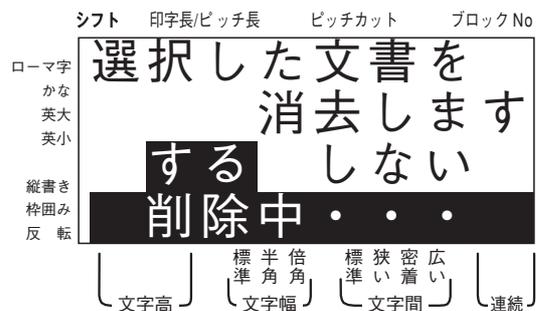
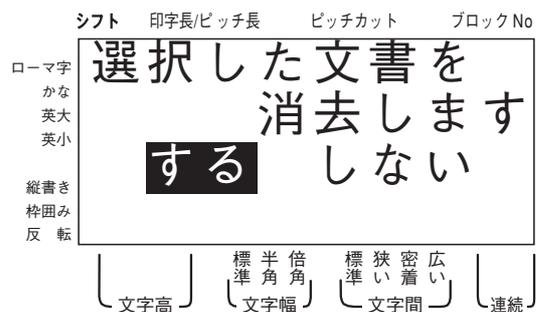
画面2行目は文書番号（1～20、初期値は「1」）、3行目は保存文書の先頭8文字（未保存の場合は空欄）、4行目は保存文書のチューブ／テープ区分（未保存文書の場合は「一文書未保存」）を表示します。

① **MEM** キーを押します。

②画面が【文書メモリ】に変わり、呼出・保存・削除・初期化の内「呼出」を反転表示しますので、**▽** キーを押して「削除」を選び、**確定** キーを押します。

③画面が【文書削除】に変わりますので、**Ⓚ** キーまたは**Ⓜ** キーで文書番号を1桁ずつ増減するか、数字キーで直接入力して**確定** キーを押します。この時入力値の最後の桁を削除するには**BS** キーを、設定を初期化する（文書番号を1に戻す）には**削除** キーを、メモリ操作を中止するには**取消** キーを押します。

④【文書削除】画面4行目に「削除中」を表示し消えたら呼び出し完了です。

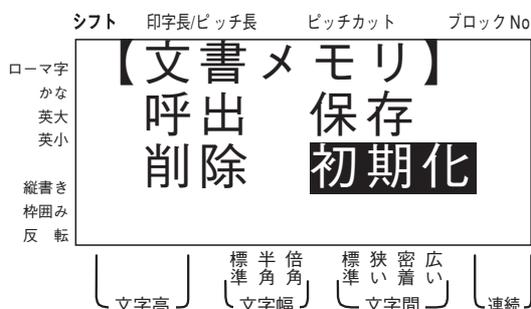


☆保存していない文書を削除しようとすると警告音がして削除できません。

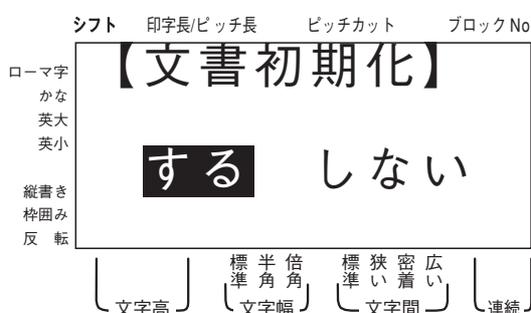
### 7-13-4 すべての文書メモリを削除する

この操作で内部メモリをすべて削除 (初期化) できます。

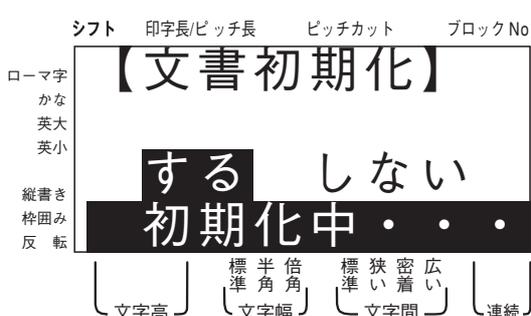
- ① **メモリ** キーを押します。
- ② 画面が【文書メモリ】に変わり、呼出・保存・削除・初期化の内「呼出」を反転表示しますので、**⏪** **⏩** キーを順に押すか、**Ⓚ** キーを1回押して「初期化」を選び **確定** キーを押します。



- ③ 【文書初期化】画面に変わり「しない」が反転表示していますので、内部メモリを初期化する場合の **Ⓚ** キーで「する」を選び、**確定** キーを押します。文書初期化「しない」に戻すには **削除** キーを、メモリ操作を中止するには **取消** キーを押します。



- ④ 【文書初期化】画面4行目に「初期化中」を表示し消えたら、初期化完了です。



### 7-13-5 外部メモリに保存する

専用メモリカードLM-MR320 (別売) を使って、作成した文書の保存・呼び出しができます。

カードには、LMFまたはCSVファイル形式で保存します。カード1枚当りの容量は1文書=1ブロック英数字6文字×100ブロック換算で、3,000文書保存できます。

メモリは文書毎に、フォルダ名・拡張子 (LMF・CSV)・ファイル名と年月日のほか、作成時の印刷物選択 (チューブ・テープ区分) と設定値 (文字高さやピッチ長など) が記憶されます。(CSVファイル形式で保存した場合は印刷物区分・設定値は保存されません。)

## 作成した文書を外部メモリに保存する時の各項目と内容

### フォルダ

作成した文書をカード内のどこに保存するかを指定します。フォルダ名は英大文字（A～Z）と数字（0～9）を組み合わせで8文字以内で入力できます。

### 拡張子

LMF・CSVのどちらかを選択できます。CSV形式は文書内容のみ、LMF形式では作成時の印刷物選択（チューブ・テープ区分）と設定値（文字高さやピッチ長など）も記憶されます。

### ファイル

作成した文書の登録名称を指定します。ファイル名は英大文字（A～Z）と数字（0～9）を組み合わせで8文字以内で入力できます。

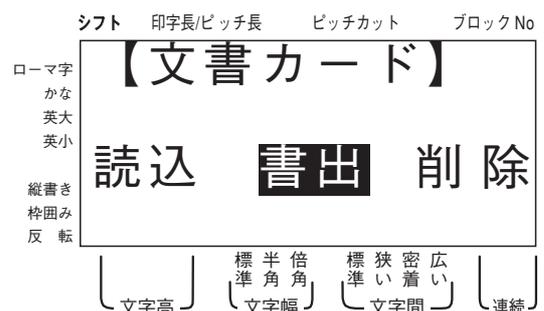
### 日付

保存するファイルの日付（年／月／日）を指定します。年月日は各2桁ずつ必ず入力します。数字（0～9）以外は入力できません。

① 本体の電源を切り、向かって右側面のスロットにメモリカードを差します。充分差し込んだのを確認してから本体の電源を入れます。

②  キーを押し、 キーを押します。

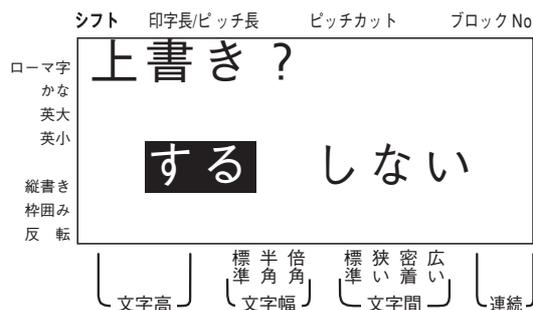
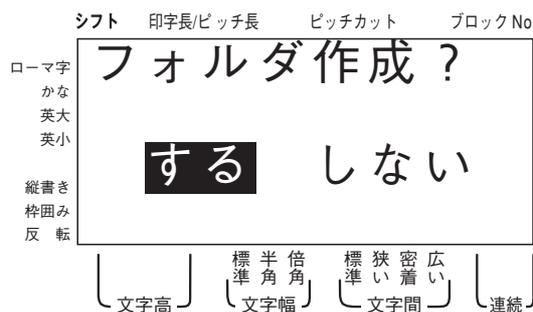
③ 画面に【文書カード】と表示し「読込」が反転していますので、 キーを押して「書出」を選び、 キーを押します。



④ 画面が【書出】に変わりますので、フォルダ・拡張子・ファイル・日付の順に指定します。全て入力し終えたら、 キーを押します。入力位置を切り換えるには $\wedge$ または $\vee$ キーを、拡張子（LMF・CSV）を切り換えるには $\text{K}$ キーまたは $\text{読込}$ キーを、【文書カード】画面に戻すには $\text{取消}$ キーを押します。



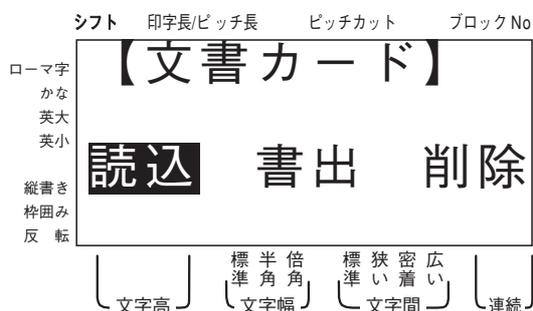
⑤初めて外部メモリに保存する場合や新規にフォルダ名を付け直した時には、「フォルダ作成?」と表示しますので、「する・しない」を **Ⓚ** キーまたは **Ⓜ** キーで選び **確定** キーを押します。「フォルダ作成?」で「しない」を選ぶと【書出】画面に戻り、「する」を選ぶと「書込中」を表示してカードに保存されます。登録済みのフォルダに同じ拡張子・ファイル名で保存する場合は「上書き?」と表示しますので、「する・しない」を **Ⓚ** キーまたは **Ⓜ** キーで選び **確定** キーを押します。「上書き?」で「しない」を選ぶと【書出】画面に戻り、「する」を選ぶと「書込中」を表示してカードに保存されます。



### 7-13-6 外部メモリから文書を読み込む

メモリカードに保存してある文書を読み込みます。カードに保存してあるLMF・CSV形式のファイルを読み込みます。CSV形式では文書内容のみ、LMF形式では保存した時の印刷物選択（チューブ・テープ区分）と設定値（文字高さやピッチ長など）も読み込みます。

- ① **シフト** キーを押し、**Ⓜ** キーを押します。
- ②画面に【文書カード】と表示し「読込」が反転していますので、そのまま **確定** キーを押します。

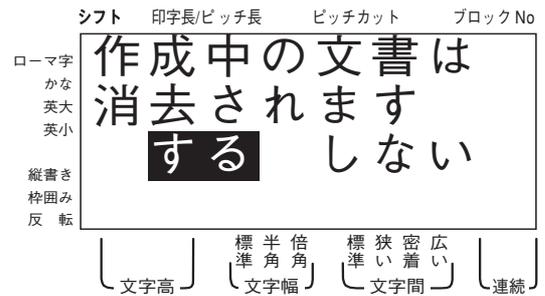


③画面が【カード読込】に変わり、保存している文書のフォルダ・拡張子・ファイル・日付を表示します。項目を切り換えるには $\wedge$ または $\vee$ キーを、項目ごとに表示を切り換えるには $\text{K}$ キーまたは $\text{R}$ キーを押します。フォルダや拡張子を切り換えた時にファイル・日付を表示しない場合は、登録されたファイルがありません。また $\wedge$ または $\vee$ キーを押しても日付は選べません。

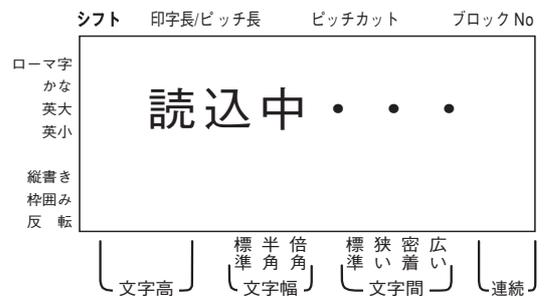


④読み込みたいファイルを選び、**確定** キーを押します。【文書カード】画面に戻すには **取消** キーを押します。

⑤「作成中の文書は消去されます」と表示しますので、 $\text{K}$ キーまたは $\text{R}$ キーで「する・しない」を選び **確定** キーを押します。(「しない」を選ぶと【カード読込】画面に戻ります)。

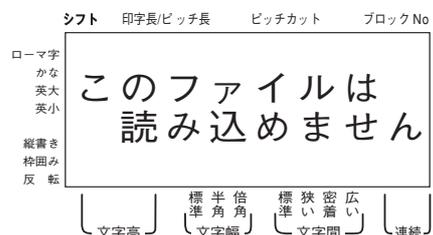


⑥画面最下段に「呼出中」を表示し、選んだファイルを読み込みます。



**メモ**

- ☆LMF形式でファイルバージョンが合わない場合は「このファイルは読み込めません」と表示し、読み込めません。
- ☆保存ファイルと現在の印刷物選択が違ってても読み込む事ができます。

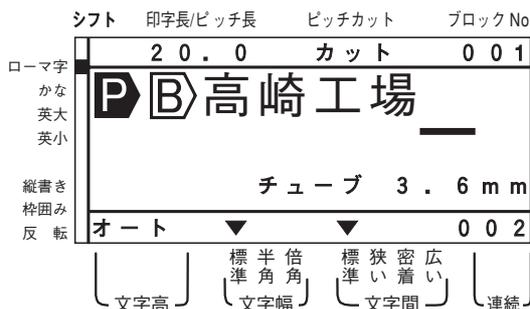


## 7-14 よく使う語句を保存する／呼び出す

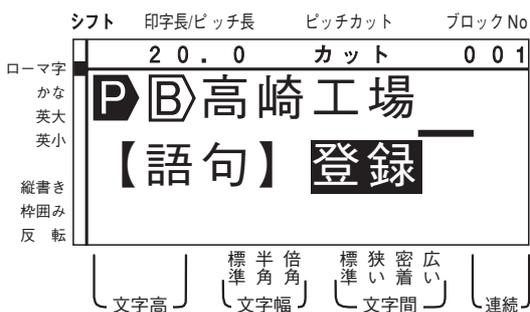
よく使う語句を最大15文字で30個保存して呼び出せます。但し行マーク・ブロックマーク・ピッチマーク・連番マークは語句登録できません。

### 7-14-1 語句を登録する

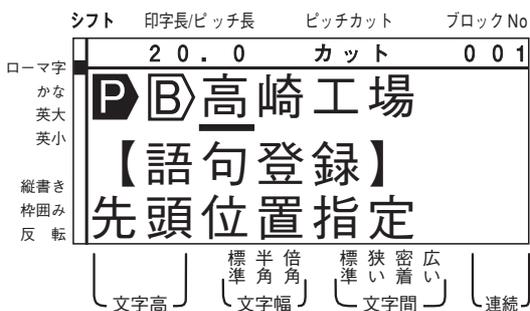
①登録したい文字を入力し、**語句** キーを押します。



②画面の上下中央部に**【語句】**と表示し「呼出」が反転表示していますので、**Ⓚ**または**Ⓜ**キーで「登録」を選び、**確定** キーを押します。



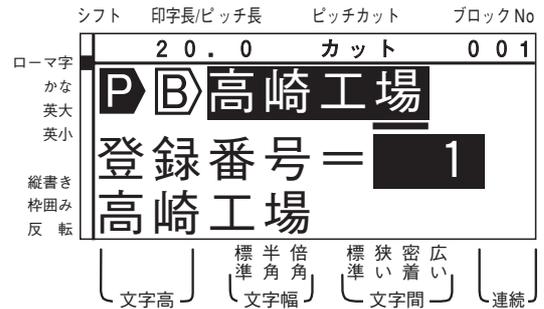
③画面が**【語句登録】**に変わり、画面最下段に「先頭位置指定」と表示しますので、入力した文字の内語句として登録する範囲の先頭の文字に**Ⓚ**または**Ⓜ**キーでカーソルを合わせ、**確定** キーを押します。



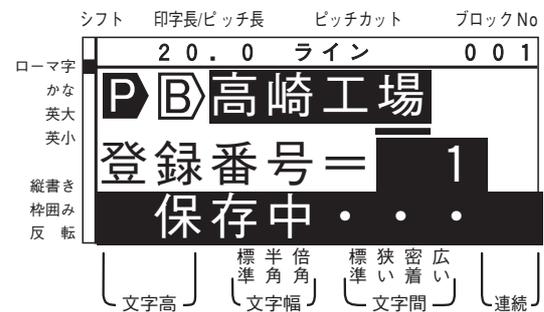
- ④画面最下段の表示が「後端位置指定」に変わりますので、語句登録する範囲の最後の文字に **Ⓚ** または **Ⓜ** キーでカーソルを合わせ、**確定** キーを押します。(語句として登録できる文字数は、1個当り15文字までです。16文字以上はカーソルが移動せず、指定できません。)



- ⑤画面の上下中央に「登録番号=」と表示して「1」を反転表示しますので、1~30の数字を直接キー入力するか、**Ⓚ** または **Ⓜ** キーで登録番号を選んで **確定** キーを押します。語句未登録の番号を選ぶと画面最下段には「一語句未保存」を、登録済みの番号に上書きする場合は登録した語句の先頭8文字を表示します。(上書きで保存する場合もメッセージ表示しませんので注意して下さい。)



- ⑥画面最下段に「保存中」を表示し元の入力画面に戻れば語句登録は完了です。



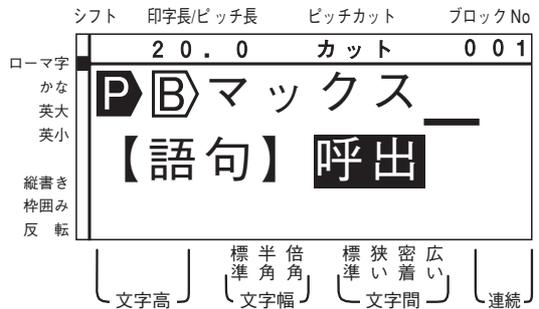
## 7-14-2 登録した語句を呼び出す

呼び出した語句はカーソルの位置に挿入されますので、呼び出したい位置にカーソルを合わせて操作します。

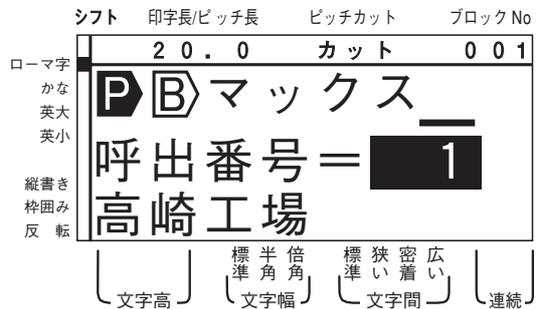
①  キーを押します。



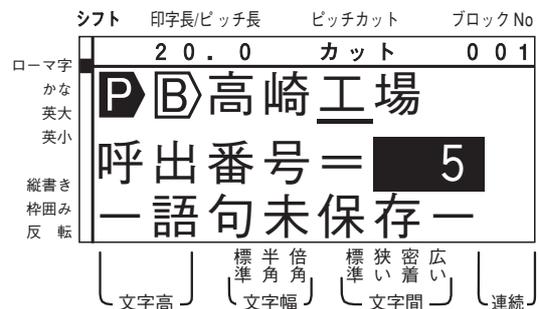
②画面の上下中央に【語句】と表示し「呼出」が反転表示しますので、そのまま  キーを押します。



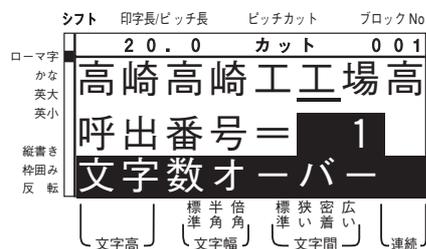
③画面の上下中央に「呼出番号=」と表示して「1」を反転表示しますので、呼び出したい語句の番号を1～30の数字を直接キー入力するか、 または  キーで選んで  キーを押します。



語句未登録の番号を選ぶと画面最下段には「一語句未保存」を、登録済みの番号を選ぶと登録した語句の先頭8文字を表示します。



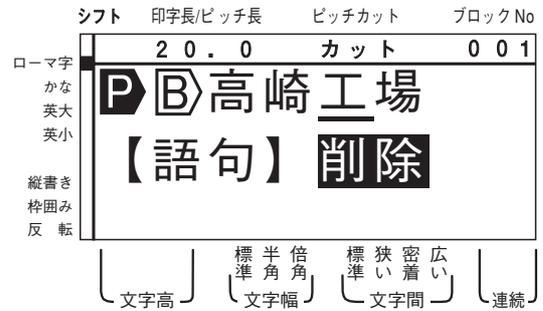
☆既に入力済みの文字と合わせて最大入力文字を超える場合は「文字数オーバー」を表示し規定文字以内だけ画面に表示して元に戻ります。  
 (LM-380T/PC・LM-380Tは5000文字、LM-330Tは2000文字)



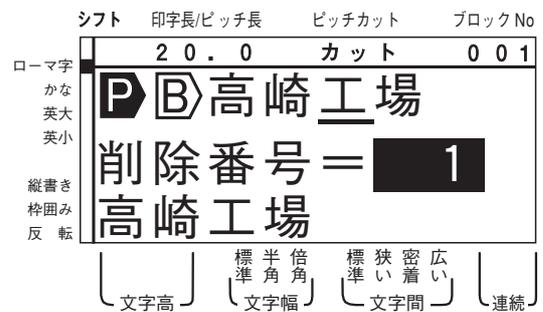
### 7-14-3 登録した語句を削除する

① **【語句】** キーを押します。

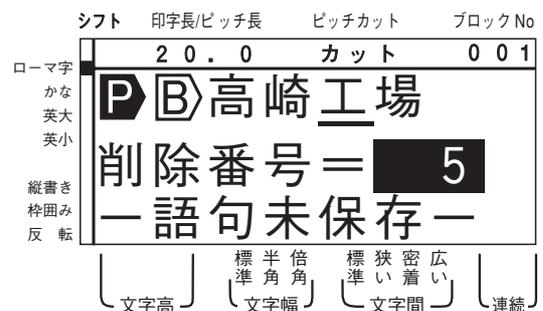
②画面の上下中央部に**【語句】**と表示し「呼出」が反転表示していますので、**Ⓚ**または**Ⓜ**キーで「削除」を選び、**確定** キーを押します。



③画面の上下中央に「削除番号=」と表示して「1」を反転表示しますので、削除したい語句の番号を1～30の数字を直接キー入力するか**Ⓚ**または**Ⓜ**キーで選んで**確定** キーを押します。



語句未登録の番号を選ぶと画面最下段には「一語句未保存」を、登録済みの番号を選ぶと登録した語句の先頭8文字を表示します。

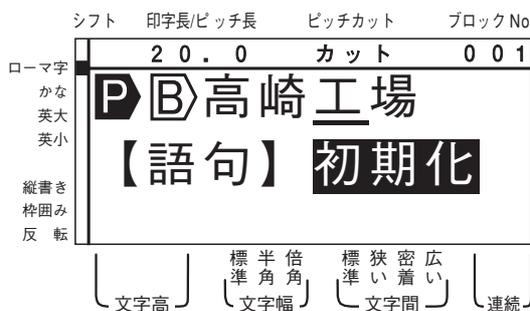


### 7-14-4 登録してある語句を初期化する

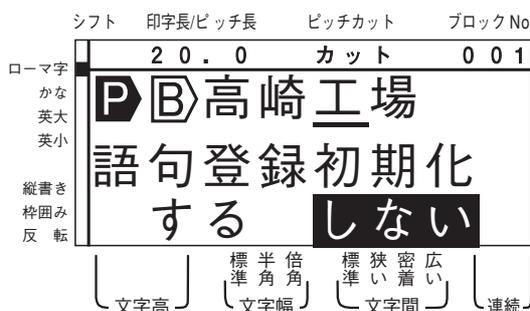
登録してある語句をすべて削除 (初期化) します。

① **語句** キーを押します。

②画面の上下中央部に【語句】と表示し「呼出」が反転表示していますので、**⏪**または**⏩**キーで「初期化」を選び、**確定** キーを押します。



③画面の上下中央に「語句登録初期化」と表示して最下段に「しない」を反転表示しますので、「する しない」を**⏪**または**⏩**キーで選んで**確定** キーを押します。語句機能選択メニューに戻すには**取消** キーを押します。



## 第 8 章

# パソコンデータを活用する

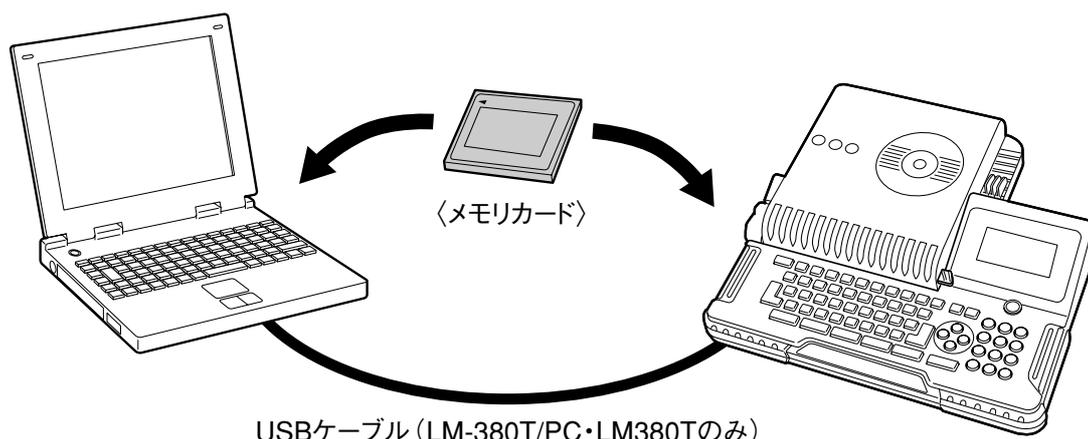
---

- 8-1 パソコンのデータを読み込む……………127
- 8-2 本体のデータをパソコン上で管理する……………130

## 第8章 パソコンデータを活用する

本機には、USBポート（LM-380T/PC・LM-380Tのみ）と、コンパクトフラッシュカードスロット（CFカードスロット）を搭載しています。  
パソコンデータ活用には下記の方法があります。

- ◆レタツインPCエディタLM-PC380（アプリケーションソフト）を使用してEXCELなどで作成したデータを編集し、USBで接続し、直接レタツイン本体へデータを送信し、（または専用メモリカードLM-MR320（別売）へ書き込まれたデータを読み込んで）印刷します。  
※レタツインPCエディタLM-PC380の詳しい使用方法は、アプリケーションCDに収められているPCマニュアルをご参照ください。
- ◆EXCELなど表計算ソフトで編集し、CSV形式で専用メモリカードLM-MR320（別売）へ保存したデータを本機で読み込み印刷します。
- ◆本機で作成したデータを専用メモリカードLM-MR320（別売）へ登録し、パソコンで管理する事ができます。
- ◆USBポートは専用アプリケーション（レタツインPCエディタ）でのみ使用可能です。他のアプリケーションでは使用することが出来ません。



カードには、LMFまたはCSVファイル形式で保存できますが、専用アプリケーションソフトLM-PC380を使用しないでパソコン上で作成・編集できるのはCSV（カンマ区切りテキスト）形式に限られます。保存され読み込まれたデータは、最大4列までが有効データとして取り扱われます。印刷対象物により印刷できる行数（列数）は異なります。（Excelを初めとする表計算ソフトの使い方やCSV形式で専用メモリカードLM-MR320（別売）に保存する方法は、各ソフトの取扱説明書をご参照ください。）  
（なおパソコンから専用メモリカードLM-MR320（別売）へ書き込む際のアダプタやリーダー／ライターは別途コンパクトフラッシュカード用の機器をご用意ください）



☆レタツインPCエディタLM-PC380を使用しないで、表計算ソフトを使用して編集したCSVデータとレタツインのデータの関係は下表のようになります。

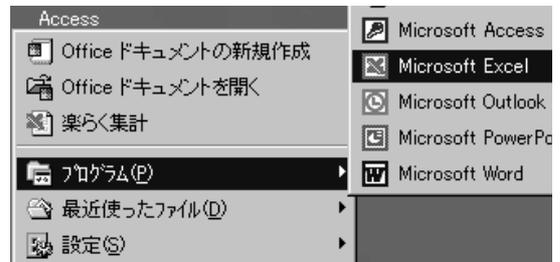
CSVデータ	A列	B列	C列	D列	E列以降
レタツイン	1行目	2行目	3行目	4行目	無効

※4列目以降のデータは印刷物に関係なく無視されます。

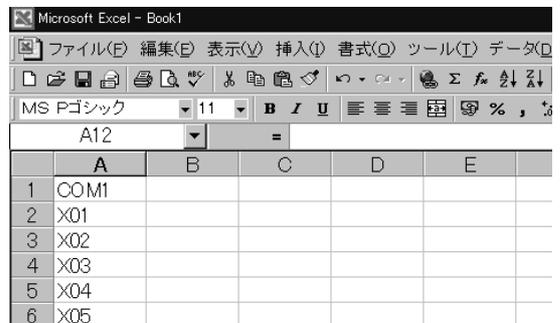
## 8-1 パソコンのデータを読み込む

Excel等の表計算ソフトで作成したCSV形式のデータをレタツインで読み込みます。マイクロソフトExcelの操作を含めて説明します。(他の表計算ソフトをお使いの場合は各ソフトの取扱説明書で操作方法を確認して下さい。)

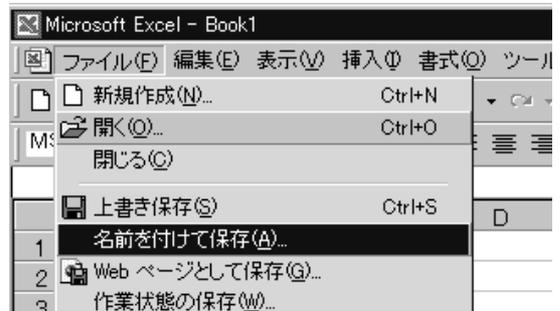
①マイクロソフトExcelを起動します。



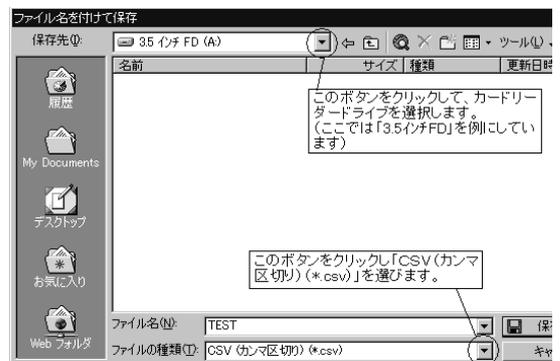
②Excel画面の「シート1」の「A列(第1列目)」に必要な文字(COM1、X01、X02等)を入力します。



③入力し終わったら、「ファイル(F)」にマウスの矢印を合わせて左ボタンをクリックし、メニューから「名前を付けて保存(A)」を選びます。

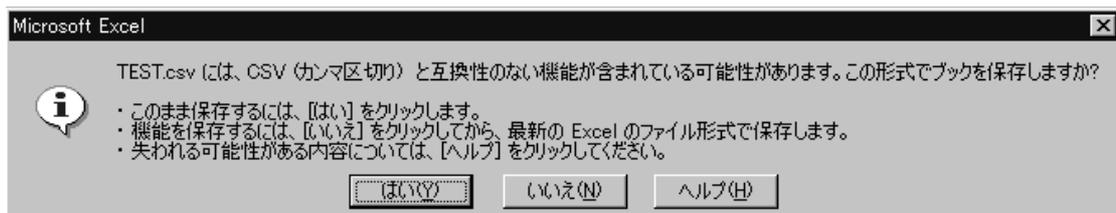
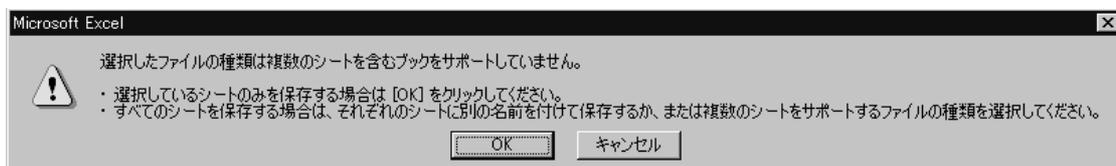


④「ファイル名を付けて保存」画面を表示しますので、「保存先(I)」でコンパクトフラッシュカードを選びます。カードドライブ内にフォルダを作成してください。「ファイルの種類」から「CSV(カンマ区切り)(\* .csv)」を選び、ファイル名を付けて作成したフォルダ内に保存します。フォルダ名とファイル名に使用できる文字は半角英数8文字となります。



☆パソコンのデータを読み込むためには、コンパクトフラッシュカード内にフォルダを作成し、そのフォルダにCSV形式で保存します。フォルダの作成方法については、ご使用中のWindows説明書を参照ください。

(マイクロソフトExcelの場合、CSV形式で保存する際、「互換性のない機能が含まれている可能性があります」等のエラーを表示する事がありますが、そのまま「はい」を選んで保存できます。)

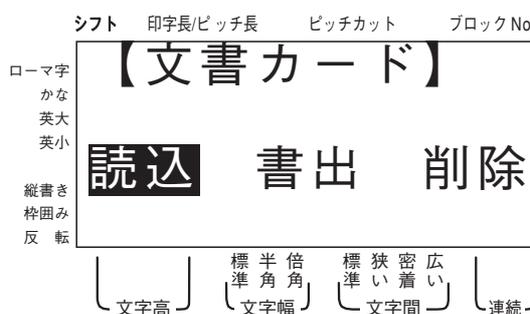


⑤書込みが終了したら、パソコンからコンパクトフラッシュカードを取り出して、電源が切れた状態でレタツイン本体にセットします。

⑥本体の電源を切り、向かって右側のスロットにカードをセットします。確実に差し込んだのを確認し、本体の電源を入れます。

⑦ **シフト** キーを押し、 **オプション** キーを押します。

⑧画面に【文書カード】と表示し「読込」が反転していますので、そのまま **確定** キーを押します。

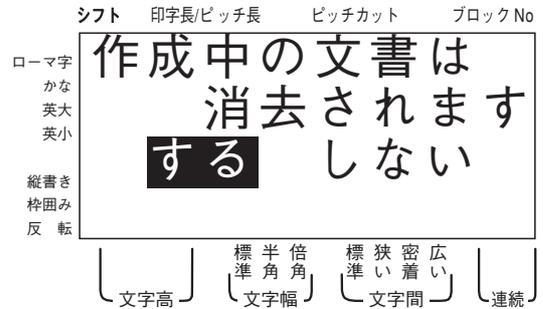


⑨画面が【カード読込】に変わり、保存している文書のフォルダ・拡張子・ファイル・日付を表示します。項目を切り換えるには **△** または **▽** キーを、項目ごとに表示を切り換えるには **⏪** または **⏩** キーを押します。フォルダや拡張子を切り換えた時にファイル・日付を表示しない場合は、登録されたファイルがありません。

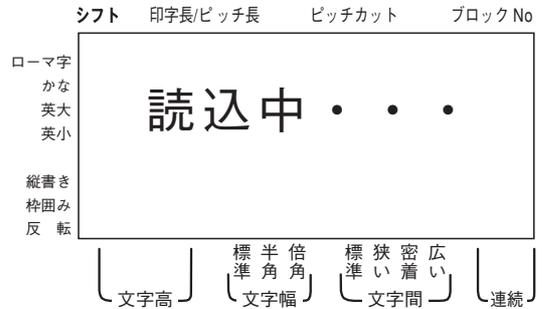


⑩読み込みたいファイルを選び、 キーを押します。【文書カード】画面に戻すには  キーを押します。

⑪入力中の文書がある場合は「作成中の文書は消去されます」と表示しますので  または  キーで「する・しない」を選び  キーを押します。（「しない」を選ぶと【カード読込】画面に戻ります）。



⑫画面2段目に「読込中」を表示し、選んだファイルを読み込みます。



**メモ**

- ☆パソコンで作成・編集したデータは、専用メモリカードLM-MR320にCSV形式で保存された場合のみレタツインで読み込めます。「.xls」等他の形式で保存したデータは読み込めません。ご注意ください。
- ☆CSV形式で保存したデータは、「A列」～「D列」のみレタツイン本体に読み込めます。E列以降のデータは反映されません。（126ページ参照）
- ☆CSV形式で保存した場合、連番は印刷時と同様に文字に置き換えられます。ただし、印字長モード時は開始番号のみとなります。
- ☆印刷物選択（チューブ・テープ区分）は、レタツイン本体起動時の設定が有効になりますが、チューブ／テープ／記名板を切り換える場合は、 +   で印刷物設定を行ってください。

## 8-2 本体のデータをパソコン上で管理する

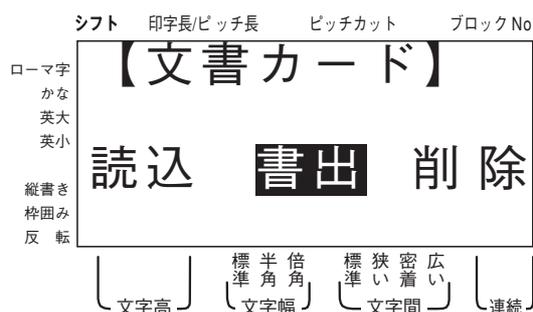
レタツイン本体で作成したデータをパソコン上で管理・保存できます。但し、テキストデータのみのCSV形式に限られます。

LM-380T/PC・LM-380Tの場合は、専用アプリケーション「レタツインPCエディタ」を使うことでピッチ長、連続個数や文字サイズなどの情報を含んだLMF形式での編集もできます。

① 本体の電源を切り、向かって右側面のスロットにメモリカードを差し込みます。充分差し込んだのを確認してから本体の電源を入れます。

②  キーを押し、 キーを押します。

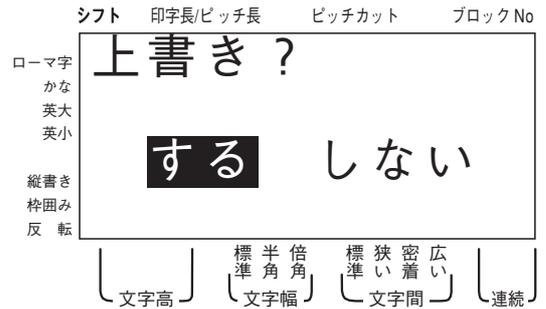
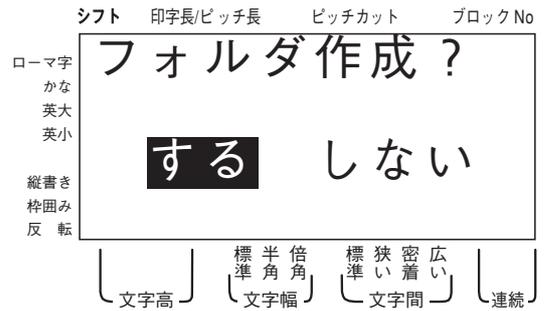
③ 画面に【文書カード】と表示し「読込」が反転していますので、 または  キーを押して「書出」を選び、 キーを押します。



④ 画面が【書出し】に変わりますので、フォルダ・拡張子・ファイル・日付の順に指定します。全て入力し終わったら、 キーを押します。入力位置を切り換えるには  または  キーを、拡張子 (LMF・CSV) を切り換えるには  または  キーを、【文書カード】画面に戻すには  キーを押します。



- ⑤初めて外部メモリに保存する場合や新規にフォルダ名を付け直した時には、「フォルダ作成?」と表示しますので、「する・しない」を **Ⓚ** または **Ⓜ** キーで選び **確定** キーを押します。「フォルダ作成?」で「しない」を選ぶと【書出】画面に戻り、「する」を選ぶと「書込中」を表示してカードに保存されます。登録済みのフォルダに同じ拡張子・ファイル名で保存する場合は「上書き?」と表示しますので、「する・しない」を **Ⓚ** または **Ⓜ** キーで選び **確定** キーを押します。「上書き?」で「しない」を選ぶと【書出】画面に戻り、「する」を選ぶと「書込中」を表示してカードに保存されます。



- ⑥レタツイン本体の電源を切り、右側面のスロットにあるイジェクトボタン（黒）を押し、カードを抜き取ります。
- ⑦お使いのパソコンを起動します。カードに書き込まれたデータをパソコンで保管する場合は、エクスプローラで必要なフォルダを作成しコピーしてください。レタツイン本体でCSV形式に保存したデータを編集する場合はマイクロソフトExcel等の表計算ソフトを起動し、[ファイル(F)] から [開く(O)] を選び「ファイルの場所」でコンパクトフラッシュカードドライブを指定し、ファイルを読み込みます。（以降の操作は、お使いのパソコンや表計算ソフト、Windowsの取扱説明書でご確認ください）

---

メ 毛

## 第 9 章

### お手入れのしかた

---

- 9-1 プラテンローラをクリーニングする ..... 134
- 9-2 プリンタヘッドをクリーニングする ..... 136

# 第9章 お手入れのしかた

## 9-1 プラテンローラをクリーニングする

快適にお使いいただくため、本機は定期的にお手入れをしていただく必要があります。次のような症状が見られたら、お手入れの時期です。（ご使用頻度やご使用の環境により異なりますが、1ヶ月に1回以上のお手入れが目安です。）

### 【症状】

- ・チューブの長さが設定値より2mm以上短くなった。
- ・文字がチューブやテープの端まで寄ってしまった。

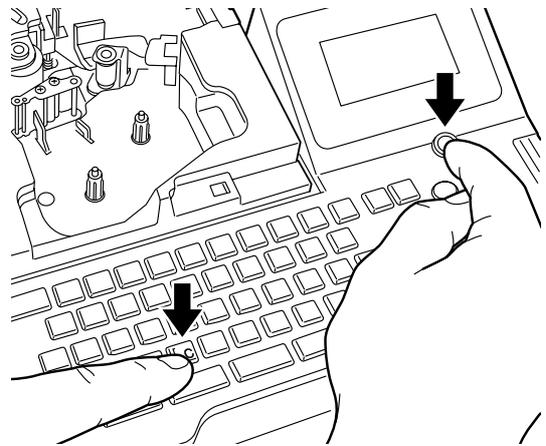
※これは、チューブの汚れやホコリがプラテンローラに付着し、チューブやテープの送りに影響しているためです。

### 【お手入れのしかた】

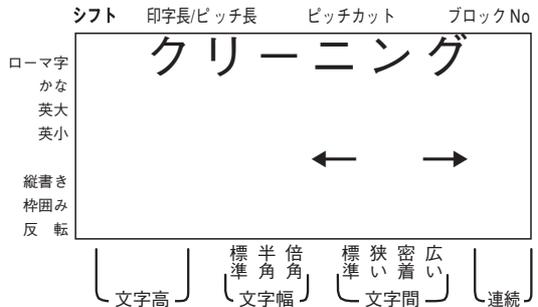
（準備いただくもの）

- ・水でかたく絞った布、またはアルコールをつけたやわらかい布  
（糸くずが出やすい布は避けてください。）

① [C] キーを押しながら電源をONにします。



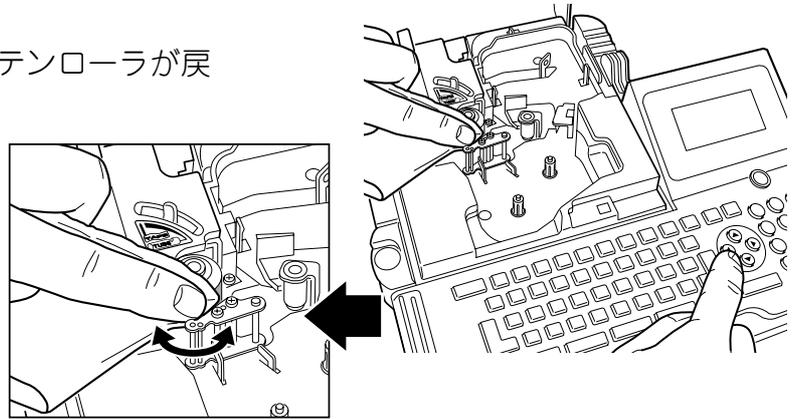
② クリーニングモードが起動します。



③図の位置に水でかたく絞った布を当てながら、**Ⓚ**を押します。このとき、指などが巻き込まれないよう十分に注意してください。

※ **Ⓚ**：押している間、プラテンローラが送り方向に正転します。

※ **Ⓚ**：押している間、プラテンローラが戻し方向に逆転します。



④プラテンローラ表面の白い汚れがとれたらクリーニング終了です。

⑤電源をOFFにしてください。

<b>⚠ 注意</b>	
<b>⚠</b>	クリーニング中は、指や髪の毛が巻き込まれケガをする恐れがあります。作業は十分注意して行なってください。

## 9-2 プリンタヘッドをクリーニングする

### 【症状】

- ・ チューブやテープに白く細いヨコスジが入る。

※これは、チューブの汚れやホコリがプリンタヘッドに付着し、インクリボンの転写に影響しているためです。

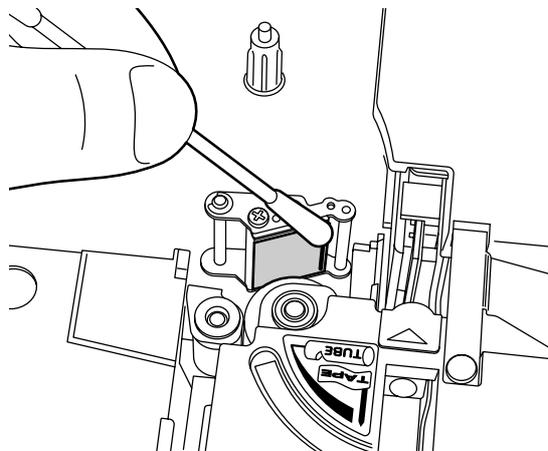
### 【お手入れのしかた】

(準備いただくもの)

- ・ 綿棒
- ・ アルコール (さらに効果があります。)

○電源をOFFの状態です。図のようにプリンタヘッドを綿棒でふきます。

※発熱部分は細く黒いラインの部分です。この部分を丁寧にふいてください。



以上の2通りのクリーニングでも症状が改善しない場合は、10章トラブルシューティングをご覧ください。

### お願い

☆プリンタヘッドを指で直接触らないで下さい。故障の原因となります。

# 第10章

## トラブルシューティング

---

10-1 エラーメッセージ一覧 .....	138
10-2 こんなときは .....	142

# 第10章 トラブルシューティング

## 10-1 エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
文字数オーバー	入力文書の文字数が制限を超えています。	LM-380T/PC・LM-380Tは5000文字、LM-330Tは2000文字を超えての入力できません。	112
行数オーバー	入力文書の行数が4行を超えています。	最大行数は4行までです。	—
ブロックオーバー	入力文書のブロック数が300ブロックを超えています。	300ブロック以上は入力/出力できません。メモリ機能を利用して個別に入力/出力してください。	—
入力位置エラー	先頭の <b>P</b> マーク上で文字入力や改ブロックをしようとしているか、 <b>P</b> マークと <b>B</b> マークの間で改行しようとしています。	<b>P</b> マーク上の文字入力や改ブロック、 <b>P</b> マークと <b>B</b> マーク間の改行はできません。ⓧキーで <b>B</b> マーク右側にカーソルを移動後文字入力（文字入力後、改行）してください。	—
ブロック内に1個	1ブロック内で複数の連番は指定できません。	連番は1ブロック内1個までです。複数のブロックに分割後、連番を指定します。	87
文書内15個まで	ピッチ印刷モード時に16個以上の連番を設定しようとしています。	ピッチ印刷モード時は入力文書全体で連番は15個までしか設定できません。複数のブロックに文字として個別に入力してください。	87
<b>N</b> 数オーバー	複写/貼付機能の貼付けで文書全体の連番設定数が15個を超えています。	ピッチ印刷モード時は入力文書全体で連番は15個までしか設定できません。複数のブロックに文字として個別に入力してください。	87
印字長時1個まで	印字長モード時に2個以上の連番を設定しようとしています。	印字長モード時は文書全体で連番は1個しか設定できません。メモリ機能を利用して個別に入力/出力してください。	87
他のPから削除	複数の <b>P</b> がある時に、先頭の <b>P</b> を削除しようとしています。	入力文書中に複数の <b>P</b> がある場合、先頭の <b>P</b> は削除できません。ピッチ印刷モードから印字長モードに変更する場合は、途中の <b>P</b> を削除してから先頭の <b>P</b> を削除してください。	88
文頭でのみ設定可	印字長モード時に入力文書の途中でピッチ印刷を設定しようとしています。	印字長モード( <b>P</b> の無い状態)からピッチ印刷モード(先頭に <b>P</b> のある状態)へ切り換えは入力文書の途中ではできません。カーソルを文頭へ移動し実行してください。	88

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
<b>P</b> 数オーバー	入力文書中で異なるピッチ長設定を5個以上設定しています。	入力文書全体で異なるピッチ長設定は5箇所までです。メモリ機能を利用して個別に入力/出力してください。	88
ピッチ長変更なし	新たに設定したピッチ長が直前の設定と同じです。	親切メッセージですので対応はありません。	88
複写データなし	複写/貼付作業で、複写せずに貼付けだけを行おうとしています。	文書中の複写箇所を指定してください。尚本体の電源ON/OFFで複写メモリの内容は消去されます。電源ON後再度指定してください。	79
複写容量オーバー	ブロック内の文字数が50文字を超えたブロックを複写しようとしています。	文字数50文字以上のブロックは複写できません。ブロック内の文字数を50文字以内に減らしてから複写してください。	79
複写文字なし	1文字も入っていないブロックを複写しようとしています。	親切メッセージですので対応はありません。	79
全文削除後に有効	文書作成中に設定初期化しようとした。	文書作成中は設定を初期化できません。全文削除後、操作してください。	78
作成文書なし	文字入力せずに印刷しようとしています。	文字入力後印刷してください。	—
印刷高さオーバー	選択されている印刷物の高さ方向に文字がはみ出しています。(はみ出す文字にカーソルが移動します。)	<p>&lt;ピッチ印刷の場合&gt;  [テープ]  横書&gt;行間を減らす。文字高さを小さくする。行数を減らす。  縦書&gt;文字間を減らす。文字高さを小さくする。文字幅を減らす。文字数を減らす。</p> <p>[チューブ]  横書&gt;文字高さを小さくする。行数を減らす。行間を小さくする。  縦書&gt;文字高さを小さくする。文字幅を減らす。行間を小さくする。</p> <p>&lt;ピッチ印刷でない場合&gt;  [テープ]  横書&gt;行間を減らす。文字高さを小さくする。行数を減らす。  縦書&gt;行間を減らす。行数を減らす。文字高さを小さくする。文字幅を減らす。</p> <p>[チューブ]  横書&gt;文字高さを小さくする。行数を減らす。行間を小さくする。  縦書&gt;文字高さを小さくする。文字幅を減らす。行間を小さくする。</p>	82 84

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
印字長オーバー	設定した印字長（オートで設定無しの場合は300mm）を超過しています。	印字長を超過しては印刷できません。 左右余白・文字間・文字幅・文字数を減らす、文字高さを小さくする、印字長を伸ばす処理をしてください。	82 83 84 110
ピッチ長オーバー	入力した文字がピッチ長に収まりません（自動で該当する文字へカーソルが移動します）	ピッチ長を超える印刷はできません。 [テープの場合の処置] 横書＞文字間・文字幅・文字数を減らす、文字高さを小さくする、ピッチ長を広げる 縦書＞行間・行数を減らす、文字高さを小さくする、ピッチ長を広げる [チューブの場合の処置] 文字間・文字幅・文字数を減らす、文字高さを小さくする、ピッチ長を広げる。	82 83 84 88
全長オーバー	一度で印刷できる最大印刷長さ（チューブ：20m、テープ：5m）を超過しています。	最大印刷長さを超えて印刷できません。 [ピッチ印刷モードの場合] 印刷一範囲設定で複数回数に分けて印刷してください。 [印字長モードの場合] 連続・連番の枚数を減らして印刷してください。	86 87 108
印字物なし	印刷物（テープ／チューブ）がセットされていません。	印刷物（テープ／チューブ）がセットされていない為、印刷できません。印刷物のセットを確認後、改めて印刷を指示してください。	28 31
インクリボンなし	印刷物が詰まっているか、インクリボンが無い為、印刷できません。	インクリボンを使い終わった場合＞ 新しいインクリボンをセットしてください。 インクリボンが残っている場合＞ ・印刷物をセットし直してください ・「低温モード（オプション設定）」を「する」にしてください。	26 28 31 94
カバーの開放中	印刷時にカバーが開かれました。	カバーを開いたままでは印刷できません。カバーを閉じてから、印刷を実行してください。	—
ヘッド温度異常	ヘッド温度が異常に上昇した為、印刷できません。	しばらく放置後印刷してください。改善しない場合は本体購入店またはお近くのマックスサービスへ修理をご相談ください。	—
カッター異常	ハーフカットが正常に行えない為、印刷できません。	テープ送りキー（  +  ）を押して、印刷物を空送りしてください。改善されない場合は、ハーフカットユニット（別売）を交換してください。	33

エラーメッセージ	内 容	対 応	参照頁
カード識別不可	コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異常です。	FAT12またはFAT16でフォーマットされたコンパクトフラッシュカードのみご使用いただけます。パソコン上のエクスプローラ等で指定のFATでフォーマットし直してください。改善しない場合はカードが壊れています。	—
カードなし	コンパクトフラッシュカードをセットせずにカード機能を指示しています。	コンパクトフラッシュカードをセットせずにカード機能は使えません。コンパクトフラッシュカードをセット後、指示し直してください。	34
容量オーバー	コンパクトフラッシュカードの容量を超えて書き込みを指示しています。	不要なファイルを削除後、書き込みを指示してください。	—
このファイルは読み込めません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトフラッシュカードへのアクセスが異常なため、読み込み／書き込みできません。</li> <li>異なるバージョンで書き込まれたファイルも読み込みできません。</li> </ul>	レタツインで保存したバージョンにより読み込めません。レタツイン本体の電源を切った後、コンパクトフラッシュカードを差し直すか、深く差し込んでください。改善しない場合はカードが壊れています。	34
読み取り専用ファイルです。	上書きしようとしたファイルは読み取り専用ファイルのため上書きできません。	異なるファイル名で保存してください。または、PC上で当該ファイルのプロパティを開き、「読み取り専用」のチェックを外してください。	—
部数印刷オーバー	印刷時に指定された部数印刷すると部数印刷全長オーバーとなっています。(部数印刷：チューブ：30m、テープ：7m)	印刷部数を減らします。	108
コマンドエラー [取消] キーを押してください	PC通信モード(LM-380T/PC・LM-380T)で受信したデータコマンドが異常です。	専用アプリケーション(レタツインPCエディタ)以外からはUSBでの印刷はできません。	—
データエラー [取消] キーを押してください	PC通信モード(LM-380T/PC・LM-380T)で受信した文書データが異常です。	ドライバの再インストールを行なってください。	—

## 10-2 こんなときは

現 象	確認事項と対応
1. 電源を入れて ①表示がつかない ②表示が暗い（明るい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードはコンセント、アダプタ、本体にきちんと差し込んでください</li> <li>・外気温により明るさに違いがでます。オプション設定で表示濃度調整が出来ますので見やすい明るさでご使用ください。（P95）</li> </ul>
2. チューブ、熱収縮チューブ印刷で ①印字しない ②印字がカスれる（薄い） ③印字が欠ける ④印字がにじむ（濃い）  ⑤チューブが設定より短い ⑥文字がセンターにこない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カセットカバーがきちんと閉まっていますか</li> <li>・チューブは正しくセットされていますか。（P28）</li> <li>・チューブ径の設定値は正しいですか。（P37）</li> <li>・別売品のチューブウォーマー（LM-TW330）を使用している場合、オプションのヒーター設定でONに設定していますか。電源OFFで初期値に戻ります。（P106）</li> <li>・別売品のチューブウォーマー（LM-TW330）を使用している場合、温度設定が高すぎている可能性があります。適正温度に設定してください。</li> <li>・インクリボンが正しくセットされていますか。（P26）</li> <li>・チューブに、ゴミ、油等汚れが付いていませんか。</li> <li>・外気温が15℃以下、35℃以上になりますと印字不良が生じます。</li> <li>・チューブがリール等にカラマっていませんか。軽い力(200g程度)で引き出せるようにセットしてください。</li> <li>・チューブがねじれてセットされていませんか。</li> <li>・送りローラが汚れていませんか。（P134）</li> <li>・チューブのカスが詰まっていませんか。</li> <li>・チューブ製造メーカーや外気温によりチューブの硬さが変わり、送りに影響が生じます。</li> <li>・オプションの上下印字位置調整で、上下方向の印字位置を調整してください。</li> </ul>



- ☆オプション設定で表示濃度を調整できます。（P95）
- ☆印字速度を低温モード（10mm/秒）にすると印字品質は向上します。（P94）
- ☆オプション設定カット位置調整で、印字センタ位置の調整が出来ます。（P98）  
（出荷段階ではマックス純正チューブで調整しております。）

現 象	確認事項と対応
3. テープ印刷で ①テープがセット出来ない ②印字しない ③印字がカスレる（薄い） ④ 印字がにじむ（濃い）  ⑤テープが設定より短い ⑥印字がセンターにこない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 切り替えレバーの位置を確認してください。（P31）</li> <li>・ テープは正しくセットされていますか？（P31）</li> <li>・ テープ幅の設定値は正しいですか？（P43）</li> <li>・ インクリボンは正しくセットされていますか？（P26）</li> <li>・ テープに、ゴミ、油等汚れが付いていませんか？</li> <li>・ 外気温が15℃以下、35℃以上になりますと印字不良が生じます。</li> <li>・ 送りローラが汚れていませんか？（P134）</li> <li>・ チューブ、テープのカスが詰まっていませんか？</li> </ul>
4. ハーフカットで ①テープのカットが出来ない ②チューブカットが浅い（ちぎれない） ③チューブが切れすぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハーフカッタは正しくセットされていますか？（P33）</li> <li>・ 刃は古くないですか。5000回以上使用したら刃を交換してください。（P150）</li> <li>・ テープのカットを行なうのに、ハーフカッタ深さ調整レバーが浅い方にセットされていませんか。テープカット位置に調整してください。（P33）</li> <li>・ チューブや気温により切れすぎることがあります。ハーフカッタ調整レバーを右側に回して調整してください。（P33）</li> </ul>
5. 手動カットが出来ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チューブ、テープのカスが詰まっていませんか？</li> <li>・ 刃は古くないですか。30000回以上使用したら刃を交換してください。（お買い上げ販売店にご相談ください。）</li> </ul>

**お願い**

- ☆既存LM-310T、360T用のハーフカッタ（赤色品）は使用出来ません。ご注意ください。
- ☆手動カッタはお客様では交換出来ません。専用のハーフカッタの購入も含め、お近くのマックスサービズ(株)にお問い合わせください。（巻末参照）

**参照**

- ☆オプション設定で印字濃度を調整できます（P93）
- ☆テープ送り長さの調整が出来ます。（P109）

現 象	確認事項と対応
6. 外部メモリに保存が出来ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードスロットに、カードが奥まで入っていますか？</li> <li>・メモリの容量は充分ですか？ (P117)</li> </ul>
7. チューブがつまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーニングモードを起動し、プラテンローラを戻し方向に逆転させ、チューブを取り除いてください。(P136)</li> <li>・別売品のチューブウォーマー (LM-TW330) を使用している場合、温度設定が高すぎている可能性があります。適正温度に設定してください。</li> </ul>
<p>◆以上の処置を行っても、正常に復帰出来ない場合は、お近くのマックスサービス(株)にお問い合わせください。(巻末参照)</p>	

## 第11章

### 索引

(あいうえお順にキーワード検索)

---

# 第11章 索引 (あいうえお順にキーワード検索)

各項目やキーワードで本書のページを検索できます。

## あ

イメージ表示	107
インクリボンカセットのセット	26
印刷部数設定	108
印刷する	107
印刷範囲の選択	108
印刷物の長さ補正	109
印刷方向変更	90
印字濃度	93
英数字入力	60
エラーメッセージ一覧	138
オートオフ機能	99
お使いになる前に	13
お手入れのしかた	134
オプションキー	93
オプション品一覧	150
主な特徴	14

## か

外部メモリ文書読込	118
外部メモリ保存	117
各部名称	17
カタカナ変換	69
かな入力	63
かなめくり方式	63
画面の見かた	21
キー名称と役割	18
記号入力	73
記号類一覧表	180
機能を使いこなす	82
基本操作	35
行間隔	84
クリーニングモード	134
語句削除	123
語句初期化	124
語句登録	120
語句の保存／呼出し	120
語句呼出し	122
この機械でできること	14
こんなときは	142

## さ

削除キー	76
サプライ品一覧	150
サプライ品セット	26
JISコード一覧表	153
JISコード入力	71
社名ラベルのテープ印刷	53
使用上の注意事項	7
使用消耗品	150
全ての文書メモリ削除	116
全ての文書メモリ初期化	116
製品仕様	151
設定初期化	78
設定初期化キー	78
全文削除キー	77

## た

単漢字変換	67
端子記銘板用にテープ印刷	42
チューブ印刷	36
チューブセット	28
チューブをはずす	30
テープカセットのセットのしかた	31
テープをセットする	31
テープをはずす	32
デバイスラベル用にテープ印刷	46
同梱品の確認	16
トラブルシューティング	138
取消キー	79

## な

内部メモリ保存	112
内部メモリ呼出し	113
入力文字の消去	76
入力文字の消去、設定初期化	76

## は

ハーフカット交換	33
ハーフカット位置	98
はじめに	2
パソコンデータ活用	126
パソコンデータ読込み	127
反転	91

BSキー	76
ピッチ印刷の設定変更	88
ピッチカットの変更	89
ピッチ長変更	88
表示濃度	95
ブロック	23
付録	149
文書メモリ削除	115
ヘッドクリーニングのしかた	136
本書の見かた	3
本体データパソコン管理	130

ま

メモリカードのセット	34
メモリ保存／呼出し	112
目次	4
文字間隔	84
文字記号を入力	60
文字高さ	82
文字の枠囲み	85
文字配置変更	102
文字幅	83

や

用語説明	23
------	----

ら

連続印刷枚数	86
連番を設定する	87
ローマ字入力	62
ローマ字入力規則表	152
ローラーのクリーニング	134
6,9印刷	96

# 付 録

---

付-1	サプライ品一覧	150
付-2	オプション品一覧	150
付-3	製品仕様	151
付-4	ローマ字入力規則表	152
付-5	JISコード一覧表	153
付-6	記号類一覧表	180

# 付録

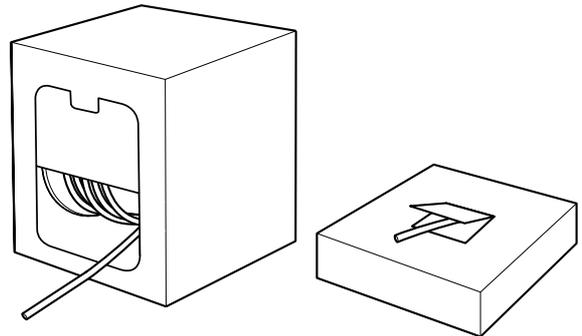
付録

サプライ品・オプション品一覧

## 付-1 サプライ品一覧

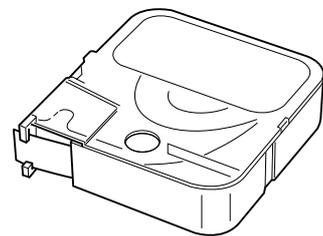
### 【マックス丸チューブ】

- 内径φ3.2mm相当：LM-TU432L
- 内径φ3.6mm相当：LM-TU436L
- 内径φ4.2mm相当：LM-TU442L
- 内径φ5.2mm相当：LM-TU452L
- 内径φ6.4mm相当：LM-TU464L
- 内径φ3.2mm相当：LM-TU332N2 (UL224対応)
- 内径φ3.6mm相当：LM-TU336N2 (UL224対応)
- 内径φ4.2mm相当：LM-TU342N2 (UL224対応)
- 内径φ5.2mm相当：LM-TU352N2 (UL224対応)



### 【テープカセット】 5mm幅／9mm幅／12mm幅 (8m巻)

	白	透明	黄色
5mm幅テープ	LM-TP305W	LM-TP305T	LM-TP305Y
9mm幅テープ	LM-TP309W	LM-TP309T	LM-TP309Y
12mm幅テープ	LM-TP312W		LM-TP312Y

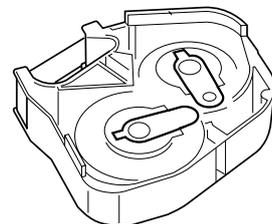
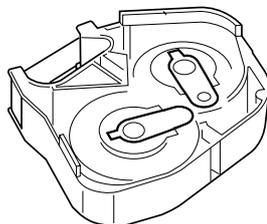
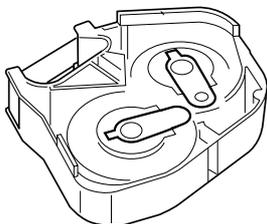


### 【インクリボンカセット】

黒リボン：LM-IR330B

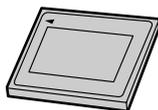
白リボン：LM-IR330W

環境対応黒リボン：LM-IR330BP

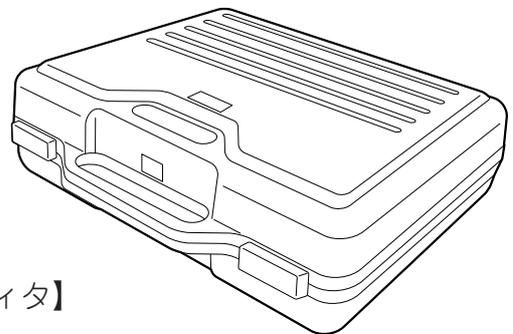


## 付-2 オプション品一覧

### 【メモリカード】 LM-MR320



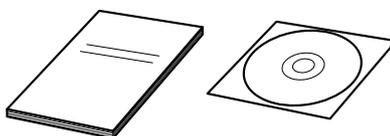
### 【LM-330T用ハードケース】 LM-BG330 ※LM-380T/PC・LM-380T には同梱されています。



### 【ハーフカッタ】 オレンジ色：LM-HC320 チューブとテープの兼用タイプ



### 【レタツインPCエディタ】 LM-PC380 ※LM-380T/PCには同梱されています。



## 付-3 製品仕様

仕様	LM-380T/PC・LM-380T	LM-330T
入力方法	ローマ字／かなめくり入力、英数入力	
最大入力文字数	5000文字（300ブロック）	2000文字（300ブロック）
漢字変換	文節漢字変換、単漢字変換	
辞書機能	約50,000語	
文字種類	JIS 第1、第2水準、その他JIS準拠（かな、カナ、英数字等） オリジナル記号（電設記号、単位、丸囲英数字）	
書体	マックスオリジナル書体	
文字サイズ	1.3/2/3/4/6 mm高、2.4 mm高（英数字のみ）	
表示方法	LCDドットマトリクス 64（縦）×132（横）画素	
印字方法	熱転写方式（300ドット／インチ）	
印字速度	25mm/秒（標準）、10mm/秒（低温モード）	
最大印字長さ	チューブ：20 m、テープ：5 m	
使用可能チューブ （内径サイズ）	φ2.5～6.5（塩ビチューブ、白色） φ2.7～5.2（熱収縮チューブ、スミチューブB2 黒色）	
使用可能テープ	幅 5, 9, 12mm（マックス純正品）	
チューブ切断方法	自動ハーフカット、手動フルカット	
内部メモリ	20文書 （1文書は、300ブロック5000文字）	20文書 （1文書は、300ブロック2000文字）
電源	AC 100V 50/60Hz 消費電力 13W	
外形寸法	幅 288×奥行 250×高さ 93 mm	
質量	1.8kg	
使用温度	15℃～35℃	
メモリカードスロット （コンパクトフラッシュ）	あり	
USB	あり	なし
レタツインPCエディタ	LM-380T/PCのみ同梱	使用不可

## 付-4 ローマ字入力規則表

ローマ字入力で日本語を入力する際の入力規則は次の表のようになります。

あ a	い i yi	う u wu	え e	お o	にや	にい	にゆ	にえ	によ
か ka ca	き ki	く ku cu qu	け ke	こ ko co	ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
さ sa	し si ci shi	す su	せ se ce	そ so	みや	みい	みゆ	みえ	みよ
た ta	ち ti chi	つ tu tsu	て te	と to	りや	りい	りゆ	りえ	りよ
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	ぎや	ぎい	ぎゆ	ぎえ	ぎよ
は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	じゃ zya jya ja	じい zyi jyi	じゆ zyu jyu ju	じえ zye jye je	じよ zyo jyo jo
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	ぢや dya	ぢい dyi	ぢゆ dyu	ぢえ dye	ぢよ dyo
や ya		ゆ yu		よ yo	でや dha	でい dhi	でゆ dhu	でえ dhe	でよ dho
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	びや bya	びい byi	びゆ byu	びえ bye	びよ byo
わ wa	ゐ wi		ゑ we	を wo	ぴや pya	ぴい pyi	ぴゆ pyu	ぴえ pye	ぴよ pyo
ん n					うあ wha	うい whi		うえ whe	うお who
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	くあ kwa qa	くい kwi qi	くう kwu	くえ kwe qe	くお kwo qo
ざ za	じ zi ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	つあ tsa	つい tsi		つえ tse	つお tso
だ da	ぢ di	づ du	で de	ど do	ふあ fwa fa	ふい fwi fi	ふう fwu	ふえ fwe fe	ふお fwo fo
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	ヴあ va	ヴい vi vyi	ヴ vu	ヴえ ve vye	ヴお vo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ヴや vya		ヴゆ vyu		ヴよ vyo
きゃ kya	きい kyi	きゆ kyu	きえ kye	きよ kyo	あ la	い li	う lu	え le	お lo
しゃ sya sha	しい syi shu	しゆ syu	しえ sye she	しよ syo sho	や lya xya		ゆ lyu xyu		よ lyo xyo
ちゃ tya cya cha	ちい tyi cyi chu	ちゆ tyu cyu	ちえ tye cye che	ちよ tyo cyo cho		わ lwa xwa		つ ltu xtu	
てや tha	てい thi	てゆ thu	てえ the	てよ tho		カ lka xka		ケ lke xke	

付-5 JISコード一覧表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
記 号	2120		「	、	。	,	.	・	:	;	?	!	ゝ	°	´	、	..		
	2130	^	—	—	、	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	全	々	メ	○	—	—	-	/		
	2140	\	~			...	..	‘	’	“	”	(	)	{	}	[	]		
	2150	}		<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×		
	2160	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	´	”	℃	¥		
	2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇			
	2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=			
	2230													∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	2240	∪	∩										∧	∨	¬	⇒	⇔	∇	
	2250	∃													∠	⊥	∩	∂	
	2260	∇	≡	≐	≪	≫	√	∞	∞	∴	∫	∫∫							
2270			À	%	#	b	♪	†	‡	¶							○		
英 数 字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		
	2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o		
	2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z							
ひ ら が な	2420		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く		
	2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た		
	2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は		
	2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ほ	ま	み	わ		
	2460	む	め	も	ゃ	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ		
	2470	ゐ	ゑ	を	ん														
カ タ カ ナ	2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク		
	2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ		
	2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ		
	2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ		
	2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ		
	2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ア	3020		垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
	3030	旭	葦	芦	鮎	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虵	飴	絢	綾	鮎	或
	3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
イ	3040											以	伊	位	依	偉	困
	3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	老	溢	逸
	3070	稻	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	3120		院	陰	隱	韻	吋										
ウ	3120							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑
	3130	確	白	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鱒	姥	厩	浦	瓜	閏	樽	云	運
	3140	雲															
エ	3140		荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馭	悅	謁	越	閔	榎	厭	円
	3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	3170	艶	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩									
オ	3170								於	汚	甥	凹	央	奧	往	忝	
	3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	荻	億
	3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音				
カ	3230													下	化	仮	何
	3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
	3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効
	3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
	3340	垣	柿	蛻	鈎	劃	嚇	各	廓	蓋	攪	格	核	殼	獲	確	穫
	3350	覺	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	顎	掛	笠	櫛
	3360	櫃	梶	鳅	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(カ)	3370	叶	椈	樺	鞞	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	囃	鴨	栢	茅	萱	
	3420		粥	刈	苻	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
	3430	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歡
	3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	3450	莞	覲	諫	貫	還	鑑	問	閑	閔	陷	韓	館	缶	翰	肝	艦
	3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贖	雁	頑	顏	願					
キ	3460											企	伎	危	喜	器	
	3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	3520		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑
	3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	3620		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強
	3630	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	薈	鄉
	3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅
	3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	3660	謹	近	金	吟	銀											
ク	3660						九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟
	3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	劊	屑	屈	君
	3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	限	彙	栗	繰	桑	欒	勳	
	3730	薰	訓	群	軍	郡											
ケ	3730						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	3740	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
	3750	經	繼	繫	罫	莖	荊	螢	計	詣	警	輕	頸	溪	芸	迎	鯨
	3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	3820		檢	権	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣
	3830	鍵	險	顕	驗	鯨	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	3840	言	諺	限													
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
コ	3840				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	3860	伍	午	呉	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	酬
	3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉞	砧	鋼	閤	降
	3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
	3970	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	
3A30	紺	良	魂														
サ	3A30			些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖	
	3A40	袞	坐	座	挫	債	催	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	
	3A50	歲	濟	災	采	犀	碎	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在	
	3A60	材	罪	財	冴	坂	堺	榭	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	
	3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷		
	3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	雜	皐	鯖	捌	鏹	鏹	皿	晒	
	3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	燦	珊	産	算	纂	纂	蝨	贊	
	3B40	酸	餐	斬	暫	殘											
シ	3B40					仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	
	3B50	姉	姿	子	屍	市	師	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
	3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
	3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	侍	兒	字	寺	慈	持	時		
	3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿	
	3C30	式	識	鳴	竺	軸	宍	雫	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	
	3C40	疾	質	実	蔀	篠	悃	柴	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	
	3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	
	3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	
	3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	授	樹	綬	需	囚	収	周	蒐	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	秀	秋	終	繡	習	臭	舟			
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(シ)	3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
	3D40	柔	汁	波	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	譜	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
	3E60	鉦	鍾	鐘	障	韜	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常
	3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	豊	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
	3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F30	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韜						
ス	3F50										筈	諏	須	酢	凶	厨	
	3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	隨	
	3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	梠	菅	頗	雀	裾	
	4020		澄	摺	寸												
セ	4020					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	4040	誓	請	逝	醒	青	静	齊	税	脆	隻	席	惜	威	斥	昔	析
	4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
	4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
	4070	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	4120		緘	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	錢	銑	閃	鮮	
	4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糗							
ソ	4130									噌	塑	咀	措	會	曾	楚	
	4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	遡	鼠	僧	創	
	4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	搜	掃	挿	搔	
	4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	槽	綜	綜	聰	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ソ)	4170	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	
	4220		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
夕	4230															他	多
	4240	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	梢	陀	馱	驪	体	堆
	4250	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
	4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醜	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	蜻	只	誰
	4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	鱈	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談				
チ	4340														值	知	地
	4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘蛛	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	4370	註	耐	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	眺
	4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	著	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	4430	聽	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	懲	長	頂	鳥	勅	牒	直	朕
	4440	沈	珍	賃	鎮	陳				銚					涉		
ツ	4440						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	梅	搦
	4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鏝	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊
	4460	釣	鶴														
テ	4460			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	哲
	4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	顛
	4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	轉	
	4540	点	伝	殿	澱	田	電										
ト	4540						兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	
	4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
	4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	嶋	悼	投	搭	東	桃	拷	棟	
	4570	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痔	等	答	筒	糖	統	到		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ト)	4620		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働
	4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴝	匿
	4640	得	德	澆	特	督	禿	篤	毒	独	読	析	橡	凸	突	椴	届
	4650	鳶	苔	寅	酉	瀨	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
ナ	4660	奈	那	内	乍	凧	難	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	繩	啜	南	楠
	4670	軟	難	汝													
ニ	4670			二		尼	弍	迤	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認								
ヌ	4720									濡							
ネ	4720										襦	祢	寧	葱	猫	熱	年
	4730	念	捻	撚	燃	粘											
ノ	4730						乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
	4740	農	覗	蚤													
ハ	4740				巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	4750	俳	糜	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	4770	柏	泊	白	箔	柏	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	
	4820		函	箱	裕	箸	肇	筭	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	浣	発
	4830	醜	髮	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	八	判	半	反
	4840	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	4850	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蠻					
ヒ	4850											匪	卑	否	妃	庇	
	4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	
	4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	
	4920		鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	膝	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	冰	漂	瓢	票	表	評	豹
	4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	瀨	貧
	4950	賓	類	敏	瓶												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
フ	4950					不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
	4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	伏	副	復	幅	服	墳
	4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文							
へ	4A30											丙	併	兵	塀	幣	平
	4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋
	4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭			
ホ	4A50														保	舗	舗
	4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉸	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
	4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
マ	4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	4B70	鱒	梲	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	繭	磨	万	慢	滿	
	4C20		漫	蔓													
ミ	4C20			味	未	魅	巳	箕		岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C30	耗	民	眠													
ム	4C30			務	夢	牟	矛	霧		鷓	棕	婿	娘				
メ	4C30														冥	名	命
	4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵		
モ	4C40															摸	模
	4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	杳	勿	餅
	4C60	尤	戾	朮	貫	問	悶	紋	門	匆							
ヤ	4C60										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C70	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪	鏝					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ユ	4C70												愉	愈	油	癒	
	4D20		論	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
ヨ	4D30														予	余	与
	4D40	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
	4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
	4D60	沃	浴	翌	翼	淀											
ラ	4D60						羅	螺	裸	来	莱	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽								
リ	4D70									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葦	掠	略	劉	流	溜
	4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
	4E40	寮	料	梁	涼	胤	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4E50	緑	倫	厘	林	淋	憐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
ル	4E50													溜	罌	淚	累
	4E60	類															
レ	4E60		令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	札	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F20		蓮	連	鍊												
ロ	4F20					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
	4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿	肋	録
	4F40	論															
ワ	4F40		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	杵	驚	互	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F50	椀	湾	碗	腕												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
一	5020	式 丐 丕																
丨	5020				个 卯													
丿	5020				、 井													
丩	5020								ノ 义 乖 乘									
乙	5020												亂					
丿	5020 5030	舒											丿 豫 爭					
二	5030	式 于 亞			亟													
一	5030				一 亢 京				毫 竄									
人	5030								从 仍				仄 仆 仿 仗					
	5040	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侏	佻	佻
	5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛	俑	俚	侏	侏	侏
	5060	俚	倚	倨	倔	倪	倥	倅	倅	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	們	們
	5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倣	惚	偷	傀	倣	傅	偃	傲		
	5120 5130		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僂	僂	僂	僂	價	僂	儉	僂	儉	儉
儿	5130								儿 兀 兒				兌 兔 兢 競					
入	5140	兩 兪																
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
八	5140	兮 冀															
冂	5140					冂 冂 册 冉				冂 冂 冂 冕							
冂	5140 5150	冂 冂												冂 冂 冂 冂			
冂	5150	冂 冂				冂 冂 冂 冂				冂 冂 冂 冂							
几	5150 5160	冂												几 几 冂 冂			
凵	5160	凵 凵															
刀	5160 5170 5220	双 刂 刂 刂 刂				刂 刂 刂 刂				刂 刂 刂 刂				刂 刂 刂 刂			
力	5220 5230	勹 勹				勹 勹 勹 勹				勹 勹 勹 勹				勹 勹 勹 勹			
勹	5230	勹 勹 勹				勹 勹 勹 勹											
匕	5230									匕							
匚	5230									匚 匚 匚				匚 匚			
匚	5230													匚 匚			
十	5240	卅 卅 卅 卅				卅 卅											
卜	5240					卜											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
冂	5240								冂	卮	卮	卻	卷					
凵	5240													凵	厠	厠	厦	
	5250	厥	厥	厥														
厶	5250				厶	參	篡											
又	5250							雙	叟	曼	變							
口	5250										叮	叨		叭	叭	吁	吡	
	5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	咎	呖	呱	呷	咭	
	5270	咒	呻	咀	叟	咄	咐	咆	哇	呶	咸	啞	咬	哄	哈	咨		
	5320		咫	哂	咤	哱	哿	哂	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	
	5330	啞	啞	啞	啞	售	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
	5360	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5370	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
囗	5370									囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗		
	5420		囗	國	圍	圓	團	圖	嗇	園								
土	5420										垠	坏	岫	坎	圻	址	坏	
	5430	坩	垂	垩	坡	坩	坩	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坎	圻	址	坏	
	5440	坩	垂	垩	坡	坩	坩	垠	垠	坩	垠	垠	垠	坎	圻	址	坏	
	5450	墅	堦	墟	墀	塙	壤	墻	墻	墻	墻	墻	墻	墻	墻	墻	墻	
	5460	墻	壤	壘														
士	5460			壯		壺	壹	壻	壺	壽								
夂	5460									夂								
夂	5460										夂	夂						

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
夕	5460													夕	夕	夕	
大	5460																夫
	5470	夭	本	夸	夾	竒	奕	奘	奎	奚	奘	奢	奠	奧	獎	奩	
女	5520		奸	妁	妝	佞	佞	妣	姐	姆	姨	姜	妍	妊	姚	娥	娟
	5530	姿	娜	娉	娉	婀	姪	婉	娠	娶	婢	婪	媚	媪	媾	媵	媵
	5540	媽	媽	媪	媵	嫩	嫖	嫺	嫺	嬌	嬋	嬖	嬖	嫩	嬪	嬪	嬪
	5550	孃	孃	孃													
子	5550			子	孕	孚	孛	孛	孩	孰	孛	孛	學	孛	孛		
宀	5550																宀
	5560	它	宦	宸	宛	寇	崔	寔	寐	寤	實	寢	寔	寥	寫	寔	寶
	5570	寶															
寸	5570		尅	將	專	對											
小	5570					尔	尅										
尢	5570							尢	尢								
尸	5570									尸	尹	屍	屈	屎	貞		
	5620		屣	屣	屣	屬											
屮	5620					屮											
山	5620							屮	岌	屹	岌	岑	岔	岌	岌	岌	岌
	5630	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
	5640	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
	5650	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
ㄩ	5650															ㄩ	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
工	5660	巫															
巳	5660	巳	卮														
巾	5660			帟	帚	帙	帙	帙	帙	帶	帷	幄	幃	幘	幘	幘	幘
	5670	幘	幘	幣	帑												
干	5670					干	并										
么	5670							么	麼								
广	5670									广	庠	廁	廂	厦	廐	廐	
	5720	廖	廣	廝		廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廬	廳	廳		
廼	5720															廼	廼
井	5730	井	弃	井	井	井											
弋	5730					弋	弋										
弓	5730							弓		弩	弭	弭	弭	彈	彌	彎	彎
彑	5740	彑	彑	彑	彑												
彡	5740					彡	彭										
彳	5740							彳	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
	5750	徃	徃	徃	徃	徃	徃										
心	5750							忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	5760	忖	忖	忖	忖	忽	怛	怕	佛	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	5770	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(心)	5820		悄	俊	悖	惋	悒	惘	悒	惡	悽	惠	倦	悴	悴	悽	惆
	5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	恚	愀	惴	惺	愴	惚	惻	惱	愍	悞
	5840	慙	愠	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	博	愰	慄	慳	慷	慘	慙
	5850	慚	愆	慄	傷	慄	博	慄	慙	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄
	5860	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄
	5870	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄	慄							
戈	5870									戈	戊	戊		戊	戔	戔	
	5920		戔	戔	戔	戔	戔	戔	戔								
戸	5920									扁							
手	5920									扎	扞	扣		扞	扞	扞	扞
	5930	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5940	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5950	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5960	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5970	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5A20		扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	5A30	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞			
支	5A30													支	攴	攴	
	5A40	收	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	
斗	5A40																斛
	5A50		斛														
斤	5A50		斫	斫													
方	5A50			旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃					
无	5A50											无		无			
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
日	5A50														旱	杲	昊
	5A60	昞	旻	杳	昵	昶	昴	易	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	皓	晨
	5A70	晟	晝	晰	晔	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暨	暹	曉	嗽	瞥	
	5B20		曄	瞭	曖	矇	曠	眈	曦	曩							
日	5B20									日	曳	曷					
月	5B20													朏	朧	朧	朧
	5B30	朧	霸														
木	5B30		朮	束	朶	杓	杓	杓	杓	杆	杞	杠	杙	杧	朽	枉	杰
	5B40	忝	杼	杪	杩	枋	栢	枅	枅	枷	柯	枊	束	枳	柁	柁	柁
	5B50	柞	柝	柢	柣	枹	柎	柎	柎	檜	栒	框	栩	桀	柗	柘	柘
	5B60	梳	柅	柅	档	桷	梃	梃	梃	梭	梃	條	柛	桤	檣	柛	杼
	5B70	梵	栢	栢	楹	梃	梧	楸	棊	栲	棘	栢	榜	桐	控	棍	
	5C20		栢	棧	棕	櫻	椒	接	棗	棗	楝	楸	棗	棠	楸	楸	楸
	5C30	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楔	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5C40	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5C50	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5C60	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5C70	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5D20		楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
	5D30	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸
欠	5D30								欸	欸	盜	欸	飲	歎	歎	歎	歐
	5D40	歎	歎	歎	歎	歎											
止	5D40					歸											
歹	5D40						歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	殘	殄	殄	殄
	5D50	殄	殄	殄	殄	殄											
殳	5D50					殳	殳	殳	殳	殳							

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
母	5D50								母 毓									
毛	5D50												毳 毳 毳 毳					
	5D60	麾 毳																
氏	5D60	氓																
气	5D60	气			氛 氤 氣													
水	5D60								汞				汕 汙 汪 沂 沔 沚 沁 沛					
	5D70	汾	汨	汜	沒	沐	泄	決	泓	沽	泗	泗	沂	沚	沚	沚	沚	沚
	5E20		汨	汜	沒	沐	汨	洩	衍	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑
	5E30	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑
	5E40	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑	洑
	5E50	湮	滂	溟	潁	漑	灌	漚	澗	滾	漿	滲	漱	滯	張	滌		
	5E60	滿	滄	游	潑	溪	澗	混	溷	滓	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇
	5E70	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇	溇
	5F20		漾	漓	滄	澆	潺	潛	澁	澀	澀	潛	潛	潭	澁	澁	澁	澁
	5F30	澎	溇	濂	潦	澳	濞	澡	澤	澹	漬	濇	濟	濕	濇	濇	濇	濇
	5F40	濱	濮	濛	瀉	澳	濞	濞	濞	濞	濞	濞	濞	濞	濞	濞	濞	濞
	5F50	瀾	瀾	激	灑	灣												
火	5F50				炙 炒 炯				炯 炬 炸 炳				炮 烟 休 烝					
	5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	煖	煖	煖	煖	煖	煖	煖	煖
	5F70	煩	熨	熬	爛	熹	熾	燒	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉
	6020		熨	耀	爍	爐	爛	爍										
爪	6020								爭				爬 爰 爲					
爻	6020												爻 俎					
爿	6020												爿 牀 牆					
	6030	牀 牘																

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
牛	6030			牴	牯	犁	犁	犛	犛	犛	犛							
犬	6030												犹	豺	狃	狃	狄	
	6040	狎	狒	貉	狼	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	狙	猝	猴	獾	猩	
	6050	猥	猾	獾	獾	默	獾	獾	獨	獾	獸	獵	獻	獺				
玉	6050														珈	玳	玢	
	6060	玻	珀	珥	珮	珞	璠	琅	瑯	琥	瑀	琲	玳	瑕	璵	瑟	璫	
	6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	琰		
瓜	6120			瓠	瓣													
瓦	6120				砧	甃	瓮	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	
	6130	甌	甌	甌														
甘	6130			菅														
生	6130					甦												
用	6130					甬												
田	6130						𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	
	6140	畧	畫	畚	畸	當	疆	疇	疇	疊	疊	疊						
病	6140												疔	疾	疝	疥	疣	
	6150	痂	疖	疔	疔	疽	疽	疼	疱	痲	痊	痒	癩	痣	痞	痲	痿	
	6160	痲	瘁	痰	痺	癩	癩	癩	瘍	瘡	癩	瘡	瘡	瘡	癩	癩	癩	
	6170	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
	6220			癩														
𠂔	6220			𠂔	癸	發												
白	6220					皂	兒	𠂔		皋	皎	皖	皓	皙	皚			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
皮	6220												皸 皸					
	6230	皸	輝	皸														
皿	6230	盂			盂	盖	盒	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞				
目	6230												盼 眈 眇					
	6240	眇	眩	眈	眞	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	6250	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	6260	眈	眈															
矛	6260	矜																
矢	6260	矣			矮													
石	6260				砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑
	6270	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑
	6320	砑			砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑	砑					
示	6320								祀				祠	祇	崇	祚		
	6330	祕	祓	祺	祿	禊	禊	禊	齋	禪	禮	禳						
禺	6330								禹				禺					
禾	6330												秉 秣 秧					
	6340	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
	6350	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣										
穴	6350				穹 穿				窈	窗	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	
	6360	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈									
立	6360				竝				竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	
	6370	竝	竝	竝														
竹	6370	笱			笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	
	6420	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(竹)	6430	筩	篋	籊	筮	筍	筴	箒	箏	箏	箴	篋	篁	篔	篥	箴	箴
	6440	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒
	6450	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒
	6460	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒	箒
米	6460		糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
	6470	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
糸	6470													紵	紵	紵	紵
	6520		紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6530	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6540	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6550	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6560	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6570	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
缶	6570													甕	甕	甕	甕
	6620		甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
网	6620					网	罕	罔	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟
	6630	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟
羊	6630					羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
	6640	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
羽	6640		翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊	翊
老	6640													耆	耆	耆	耆
耒	6650	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒
耳	6650					聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑
	6660	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑
聿	6660					聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿	聿

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
肉	6660											肛	肓	肚	腩	胃	肱	
	6670	胛	胥	胙	胾	胄	胚	胖	脉	胯	肱	脛	脩	脣	脯	腋		
	6720		隋	腴	脾	腓	腑	胼	腱	腮	脛	腦	腴	膈	膈	膊	膀	
	6730	脊	膠	膈	膻	膻	膻	膻	臑	臑	臑	膻	膻	膻	膻	腎	臂	膺
	6740	臉	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍							
臣	6740									臍								
至	6740											臺	臻					
白	6740													臍	臍	春	臍	
	6750	與	舊															
舌	6750			舍	舐	舖												
舟	6750					舩	舩	舩		舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	
	6760	舩	舩	舩	舩	舩												
艮	6760					艮												
色	6760					艷												
艸	6760								艸	艾	芍	芒	芫	芫	芫	芫	芫	
	6770	苣	苟	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	6820		茵	茵	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	苕	
	6830	莪	荅	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	
	6840	萱	董	崑	菽	萃	菘	萋	菁	葳	葳	葳	葳	葳	葳	葳	葳	
	6850	莢	菱	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴
	6860	葯	施	蒿	蓊	葢	兼	蒿	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠
	6870	莠	蔡	蓂	蓂	蔗	蔘	蔬	族	帶	帶	帶	帶	帶	帶	帶	帶	帶
	6920		葶	藜	藜	猶	蒞	薤	蒼	薑	薑	薑	薑	薑	薑	薑	薑	薑
	6930	薤	蘋	藜	藜	藉	齊	藏	薑	藐	藐	藐	藐	藐	藐	藐	藐	藐
	6940	蘋	蘋	蘭	蘆	龍	鮮	縵	蘿									
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
虍	6940									虍	帀	虔	號	虧				
虫	6940														虱	蚓	蚣	
	6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠃	虻	蛔	蛞	蝥	蝱	
	6960	蛟	蛛	蛸	蛭	蜆	蜈	蜀	蟻	蛻	蜚	蜂	蜂	蛹	蝻	蝻	蝻	
	6970	蝮	蜻	蜥	蜴	蜚	蝠	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟
	6A20		蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
	6A30	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
	6A40	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
血	6A40									衄	衄							
行	6A40											衄	衄	衄	衄			
衣	6A40															衄	衄	
	6A50	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	
	6A60	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	
	6A70	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	
	6B20		衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	衄	
冫	6B20									冫	冫	冫	冫					
見	6B20													覓	覓	覓	覓	
	6B30	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓									
角	6B30									觚	觚	觚	觚	觚	觚			
言	6B30															訃	訃	
	6B40	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B50	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B60	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6B70	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	
	6C20		訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
谷	6C20																𪗇 𪗈
	6C30	谿															
豆	6C30		豈	豌	豎	豐											
豕	6C30					豕	豢	豬									
豸	6C30									豸	豺	貂	貉	貅	貊	狸	貌
	6C40	貔	貅	獬													
貝	6C40				賤	質	貪	貽	貲	貳	貳	貶	賈	賁	賤	賈	賈
	6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贄	贏	贍	贍	齋	贓	贓	贓	贓	贓
赤	6C50																赧
	6C60	赭															
走	6C60	走	赴	趁	趙												
足	6C60					跂	趾	跣	跣	跣	跣	跣	跣	跛	跋	踮	踮
	6C70	跟	跣	跣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣	踣
	6D20		蹇	蹉	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰	踰
	6D30	踏	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅
身	6D30												躬	軀	體	躰	躰
	6D40	躰	躰														
車	6D40			軋	輓	輓	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	輓	輓	輓	輓
	6D50	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓	輓
	6D60	輓	輓	輓													
辛	6D60			辜	辟	辣	辭	辯									
辶	6D60									辶	辶	辶	辶	迪	迪	迪	迪
	6D70	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
	6E20		遏	遏	遏	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
	6E30	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
邑	6E30					邨				邨 邱 邵 郢				郤 扈 郅 鄂			
	6E40	鄒	鄗	鄆	鄰												
西	6E40					酏	酖	酸	酣	酥	酪	醅	醒	醋 醉 醅 醢			
	6E50	醫	醢	醪	醜	醴	醴	釀	費								
采	6E50									釉 釋							
里	6E50									釐							
金	6E50									釳				釳	釜	釳	釳
	6E60	釳	鉞	鈞	鉞	鈔	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
	6E70	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
	6F20		鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
	6F30	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
	6F40	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
	6F50	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
門	6F50									門 閉 問				閔	閔	閔	閔
	6F60	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
	6F70	關	關	關	關												
阜	6F70					阡	阨	阮	阨	陂	陌	陌	陌	陷	陝	陞	
	7020	陝 陟 陟				陞	陞	陞	陞	隕	隗	隗	隗	隗	隗	隗	隗
隶	7030	隶	隸														
隹	7030	隹 隹				隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹				
雨	7030									電				霄	霆	霈	霓
	7040	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
青	7050	靜															
非	7050	靠															

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
面	7050			皷	靦	靨											
革	7050					勒	鞞	鞞		鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
	7060	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞						
韋	7060											韋	韋				
韭	7060													韭	韭	韭	
音	7060																竟
	7070	韶	韶														
頁	7070			頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡	頡
	7120			頡	頡	頡											
風	7120					風	風	風	風	風	風	風					
食	7120												餽	餽	餽	餽	餽
	7130	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽
	7140	餽	餽	餽	餽												
首	7140				馘	馘											
香	7140						馥										
馬	7140							馭		馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
	7150	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
	7160	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮				
骨	7160													馮	馮	馮	馮
	7170	馮	馮	馮	馮												
高	7170					馮											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
髟	7170					髟	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
	7220	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻								
鬥	7220									鬥	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪	鬪	
鬯	7220																鬯
鬲	7220																鬲
鬼	7230	魄	魃	魏	魃	魃	魃	魃	魃								
魚	7230								魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴
	7240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	7260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
鳥	7260											鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7270	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7320	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7330	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7340	鳧	鳧	鳧													
鹵	7340			鹵	鹵	鹵											
鹿	7340					鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
麦	7340															麦	麦
	7350	麦	麦	麦													
麻	7350			麻													
黄	7350					黄											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黍	7350					黎	黏	穉									
黒	7350									黔	黜	黠	黝	黠	黠	黨	黠
	7360	黠	麤	黠													
菑	7360			菑		黠	黠										
黽	7360					黽	黽			黽							
鼓	7360									鼓	鼗						
鼠	7360											鼠		鼠			
鼻	7360													鼻			
齊	7360															齊	
齒	7360																齒
	7370	齒	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶				
龍	7370													龍			
龜	7370													龜			
龠	7370															龠	
その他漢字	7420	堯	楨	遙		瑤	凜	熙									

付-6 記号類一覽表

項目	記 号								項目	記 号										
数字	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	上付文字	0	1	2	3	4	5	6	7			
	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13		8	9	-	+	(	)	a	b			
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII		c	x	y	z	α	β	γ				
	IX	X								下付文字	0	1	2	3	4	5	6	7		
	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii			8	9	-	+	(	)	a	b		
	ix	x									c	x	y	z	α	β	γ			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			電設①	♂	♂	⊥	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				⊕	○	○	⊗	⊗	●	●	⊙	
	⑰	⑱	⑲	⑳								⊗	⊗	⊙	⊙	⊕	⊕	⊕	⊕	
	英字丸囲い	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)				(H)	⊕	▣	▣	▣	▣	▣	⊕	
単位	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	電設②			⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)				⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
	(Y)	(Z)										電設③	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	事務記号	mm	cm	km	mm <sup>2</sup>	cm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	km <sup>2</sup>		ha			⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
		mm <sup>3</sup>	cm <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	cc	ml	dl	l		mg			⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
		kg	Å	°C	°K	cal	mV	kV		mA			⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
		ns	μs	ms	mW	kW	VA	Ω		kΩ	⊕		⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
		pF	nF	μF	Hz	kHz	MHz	GHz		dB	⊕		⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
		No.	KK	TEL	FAX	(株)	(有)	(代)			筆記体		a	b	c	d	e	f	g	h
	ギリシャ文字	A	B	Γ	Δ	E	Z	H		Θ			i	j	k	l	m	n	o	p
I		K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	q	r			s	t	u	v	w	x		
P		Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω	y	z										
a		β	γ	δ	ε	ζ	η	θ												
ι		κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π												
ρ		σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω												

---

メモ

●修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8108(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8141(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-1-15	TEL(076)240-1871(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

ホームページアドレス：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

## 使い方のお問い合わせ

---

ホームページアドレス：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：0120-510-200

[月～金曜日(祝祭日、当社休業日除く)午前9時～午後6時]